

中野区立小中学校の再編の検証結果について

区は、これまで、学校再編の完了に伴いその効果の検証を行ってきたが、この度、検証結果についてまとめたので報告する。

1 検証項目

再編計画における3つの基本的な考え方（「1. 充実した学校教育のため、望ましい規模の学校をつくります」、「2. 小学校と中学校の通学区域の整合性を可能な限り図ります」、「3. 施設・設備等の整備を進めます」）に基づく主な取組の達成状況や効果について、以下の項目により検証した。

（1）データ等による検証

- ① 小学校と中学校の通学区域の整合性について
- ② 小規模校の解消と適正な学校規模の確保について
- ③ 通学の安全対策について
- ④ 通学距離について
- ⑤ 新校舎整備による教育環境の向上について
- ⑥ 学校再編に係るコスト分析について
- ⑦ 学校活動への影響を考慮した移転について
- ⑧ 統合新校の名称について
- ⑨ 放課後の子どもの居場所の確保について
- ⑩ 統合に向けた関係者協議について
- ⑪ 統合前の交流事業について

（2）アンケート等による検証

- ① 統合への満足度
- ② 学校規模（人数・学級数）について
- ③ 教育面への効果
- ④ 学校運営に関する効果
- ⑤ 学校施設に関する効果

2 検証結果

再編計画における3つの基本的な考え方に対する検証結果は以下のとおり。

（1）充実した学校教育のため、望ましい規模の学校をつくる

再編前の平成16年度では、学級数が小学校で11学級以下、中学校で8学級以下の小規模校は、小学校で全29校中12校、中学校で全14校中7校あったが、再編が完了した令和6年度では、小学校・中学校ともに0校となり、小規模校の解消という目的は達成した。

一方で、一部の学校においては、中野駅周辺地区等で大規模集合住宅の建設が進んだ

影響等により当時の推計以上に児童生徒数が増加したため、学級数が小学校で19学級以上、中学校で16学級以上の大規模化した学校が小学校で9校（塔山小学校、江古田小学校、桃花小学校、平和の森小学校、みなみの小学校、美鳩小学校、中野第一小学校、令和小学校、鷺の杜小学校）生じた。しかし、アンケートでは、「今の学級数・人数で満足している」という回答が全体で約7割と多く、「もっと少ない方が良い」は約1割程度であったことから、現在の学校規模への満足度は高く、一定程度、適正な学校規模の確保という目的は達成できたといえる。（各対象者の回答は「参考資料2 中野区立小中学校の学校再編に関するアンケート報告書」②のとおり）

【関連検証項目】

② 小規模校の解消と適正な学校規模の確保について

（2）小学校と中学校の通学区域の整合性を可能な限り図る

再編前の平成16年度の時点では、通学区域上、小学校児童が中学校に進学する際、2校から3校に分かれ中学校に進学することとなる小学校は、全29校中13校であった。

再編により統合及び通学区域の変更を行った結果、再編完了後の令和6年度時点において小学校は全20校中3校（平和の森小学校、桃園第二小学校、・白桜小学校）は2校の中学校に進学する状況となっている。よって、小学校と中学校の通学区域の整合性を可能な限り図る取組は、おおむね達成できている。

【関連検証項目】

① 小学校と中学校の通学区域の整合性について

（3）施設・設備等の整備を進める

第1次再編計画では中野中学校を、第2次再編計画では8つの統合校を統合に合わせて新校舎として整備している（うち明和中学校、南台小学校は令和7年度より新校舎の運用開始）。また、新校舎は、教室面積の拡大やユニバーサルデザインへの配慮など、児童生徒の学校生活の質の向上や様々な来校者に配慮した整備されており、再編に伴い学校施設・設備を進める取組は達成できている。

【関連検証項目】

⑤ 新校舎整備による教育環境の向上について

3 再編による課題について

（1）大規模校の出現

再編により小学校において学級数が19学級以上の大規模校が9校発生しており、学校規模や教育環境の維持改善に必要な取組を検討し実施していく必要がある。

（2）通学路の長距離化

通学区域の拡大に伴い通学距離が長距離化している。通学時の安全を確保するため、引き続き見守りなどの安全対策を継続させるとともに、改めて通学路における危険を把握し、危険と判断される区域に対する安全対策等を講じていく必要がある。

4 検証報告書

（1）中野区立小中学校の再編に係る検証報告書

（2）参考資料1 児童生徒数・学級数の推移

（3）参考資料2 中野区立小中学校の学校再編に関するアンケート報告書

中野区立小中学校の再編に係る 検証報告書

中野区教育委員会

令和7年（2025年）2月

目次

1. 学校再編の概要	1
2. 検証の概要	4
3. 検証結果	6
(1) データ等による検証結果	
① 小学校と中学校の通学区域の整合性について	6
② 小規模校の解消と適正な学校規模の確保について	8
③ 通学の安全対策について	10
④ 通学距離について	11
⑤ 新校舎整備による教育環境の向上について	13
⑥ 学校再編に係るコスト分析について	17
⑦ 学校活動への影響を考慮した移転について	18
⑧ 統合新校の名称について	19
⑨ 放課後の子どもの居場所の確保について	20
⑩ 統合に向けた関係者協議について	21
⑪ 統合前の交流事業について	21
(2) アンケート結果より	
① 統合への満足度	22
② 学校規模（人数・学級数）について	27
③ 教育面への効果の視点	28
④ 学校運営に関する効果の視点	30
⑤ 学校施設に関する効果の視点	32
4. 再編後の課題	33

参考資料1 児童生徒数・学級数の推移

参考資料2 中野区立小中学校の学校再編に関するアンケート報告書

1. 学校再編の概要

(1) 再編計画策定の経緯

学校で行事や集団活動が活発に行われ、子ども同士のふれあいや友人関係ができる環境をつくるためには、一定の集団規模や学級数の確保が必要となります。また、個に応じた指導の充実や多様な学習展開などのためには、一定規模の教員数を確保できる学級数が必要です。しかし、中野区立小中学校では、少子化に伴う児童生徒数の減少と学校の小規模化が続き、加えて校舎の老朽化による改築の問題もあったことから、子どもたちによりよい教育環境を提供することを目指して、平成 17 年 9 月に「中野区立小中学校再編計画」(以下、「第 1 次計画」という)、さらに平成 25 年 3 月に同計画を改定し新たな課題への対応を盛り込んだ「中野区立小中学校再編計画(第 2 次)」(以下、「第 2 次計画」という)を策定し、以下の基本的な考え方のもと、学校の再編を実施しました。

《再編の基本的な考え方》

- 充実した学校教育のため、望ましい規模の学校をつくる
- 小学校と中学校の通学区域の整合性を可能な限り図る
- 施設・設備等の整備を進める

(2) 学校再編の経過

これまでに行われた学校再編の経緯は次の表のとおりです。

◆第1次計画に基づく再編の経過

		2005年度 (平成17年度)	2006年度 (平成18年度)	2007年度 (平成19年度)	2008年度 (平成20年度)	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)	2012年度 (平成24年度)
中野中学校区	桃花小学校 (桃園第三小学校・仲町小学校・桃丘小学校)		統合の準備 (改修)		統合 (桃園第三小学校の位置)				
緑野中学校区	緑野中学校 (第六中学校・第十一中学校)		統合の準備 (改修)		統合 (第十一中学校の位置)				
第五中学校・中野東中学校区	白桜小学校 (中野昭和小学校・東中野小学校)			統合の準備 (改修)	統合 (中野昭和小学校の位置)				
南中野中学校区	南中野中学校 (第一中学校・中野富士見中学校)			統合の準備 (改修)	統合 (第一中学校の位置)				
中緑野中学校区・緑野中学校区	平和の森小学校 (野方小学校・沼袋小学校)		統合の準備 〈野方小学校校舎〉基本設計 → 実施設計 → 工事 野方小の仮校舎移転 (旧第六中の位置)					統合 (野方小学校の位置) 移転	
緑野中学校区	緑野小学校 (丸山小学校・沼袋小学校)					統合の準備 設計 → 増築工事 (改修)	統合 (丸山小学校の位置)		
中野中学校区	中野中学校 (第九中学校・中央中学校)			統合の準備 基本設計 → 実施設計 用地取得 → 校舎新築工事 (警察大学校等移転跡地・その周辺地区)					統合 移転

◆第2次計画に基づく再編の経過

		2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)
通学区域の変更			北原小と大和小	第二中と第十中	谷戸小と桃花小 若宮小と上霧宮小 第四中と緑野中 第五中と中野中 第八中と北中野中						
南中野中通学区	みなみの小学校 (中野神明小学校・ 新山小学校)	統合の準備 旧新山小学校舎 改修工事	統合 (旧新山小の位置)			移転 (旧中野神明小の位置)					
	南台小学校 (多田小学校・ 新山小学校)	統合の準備 旧多田小学校舎 改修工事	統合 (旧多田小の位置)			移転 (旧新山小の位置)				移転 (旧多田小の位置)	
中野東中通学区	中野東中学校 (第三中学校・ 第十中学校)	統合の準備 旧第三中学校舎改修工事	統合 (旧第三中の位置)			移転 (旧第十中の位置)					
第二中通学区	中野第一小学校 (桃園小学校・ 向台小学校)	統合の準備 旧向台小学校舎改修工事	統合 (旧向台小の位置)			移転 (旧桃園小の位置)					
第五中通学区	令和小学校 (上高田小学校・ 新井小学校)	統合の準備 旧上高田小学校舎改修工事	統合 (旧上高田小の位置)			移転 (旧新井小の位置)					
明和南通学区	明和中学校 (第四中学校・ 第八中学校)			統合の準備 旧第四中学校舎改修工事		統合 (旧第四中の位置)				移転 (旧若宮小の位置)	
	美鳩小学校 (大和小学校・ 若宮小学校)	統合の準備 旧若宮小学校舎改修工事	統合 (旧若宮小の位置)			移転 (旧大和小の位置)					
	鷺の杜小学校 (鷺宮小学校・ 西中野小学校)			統合の準備						統合 (旧第八中の位置)	

2. 検証の概要

(1) 目的

区がよりよい教育環境を目指して再編計画において示した3つの基本的な考え方である「1. 充実した学校教育のため、望ましい規模の学校をつくります」、「2. 小学校と中学校の通学区域の整合性を可能な限り図ります」、「3. 施設・設備等の整備を進めます」を中心とした取組について、達成状況及び教育効果、学校運営などの視点から効果を検証し、成果と課題を明らかにすることを目的として実施します。

(2) 調査の方法

教育効果、学校運営に関する効果、学校施設に関する効果などを中心とした再編による効果を測るため、データによる分析とアンケートやヒアリング調査による分析を行いました。

① データによる分析

再編の基本的な考え方に基づく再編前後のデータ（下記参照）を整理・分析し、計画の達成度と取組による効果を検証・整理しました。

② アンケート調査

Google フォームによりインターネット上でアンケートを実施しました。周知にあたっては、児童生徒、保護者、教員に対しては、学校が利用している教育用ネットワーク等を用いて各校に案内し、区民に対しては、元統合委員会委員及び学校運営協議会委員へ回答を依頼したほか、区ホームページや町会・自治会の回覧板等で回答を呼びかけました。

③ ヒアリング

統合校の学校長（経験者含む）にヒアリングを行いました。

(3) 把握分析資料

a. 児童生徒数・学級数の変化

児童生徒数・学級数の推移と将来推計（1974～2044）年

区全体の児童生徒数・学級数（普通学級）の推移

中学校区別の児童生徒数の推移

中学校区別 学校別 学級数推計

b. 通学区域と建替えローテーション

5年ごと、20年間の通学区域の変遷

学校再編による通学区域の変化

新校舎整備に向けた施設整備の変遷

c. 諸室構成の変化

再編対象校と統合新校の校舎配置について

再編対象校と統合新校の諸室配置について

再編対象校と統合新校の教室構成について

d. 学校に係る総コスト

把握対象の明確化

学校に係るコスト比較

e. アンケート調査

・調査期間

令和6年10月31日から11月21日（区民のみ11月8日から28日）

・アンケート質問項目

教育効果、学校運営に関する効果、学校施設に関する効果、学校の統合経験者には統合に関する内容を加えた15～20問

・アンケート回答者数

小学生（1～3年生）：2,786人（回答率50.3%）

小学生（4～6年生）：2,364人（回答率44.0%）

中学生：1,210人（回答率34.0%）

保護者（小学生）：4,882人（回答率44.7%）

保護者（中学生）：1,403人（回答率39.5%）

教員：406人（回答率47.5%）

区民一般：193人（対象人数が不特定のため回答率なし）

3. 検証結果

(1) データによる検証

① 小学校と中学校の通学区域の整合性について

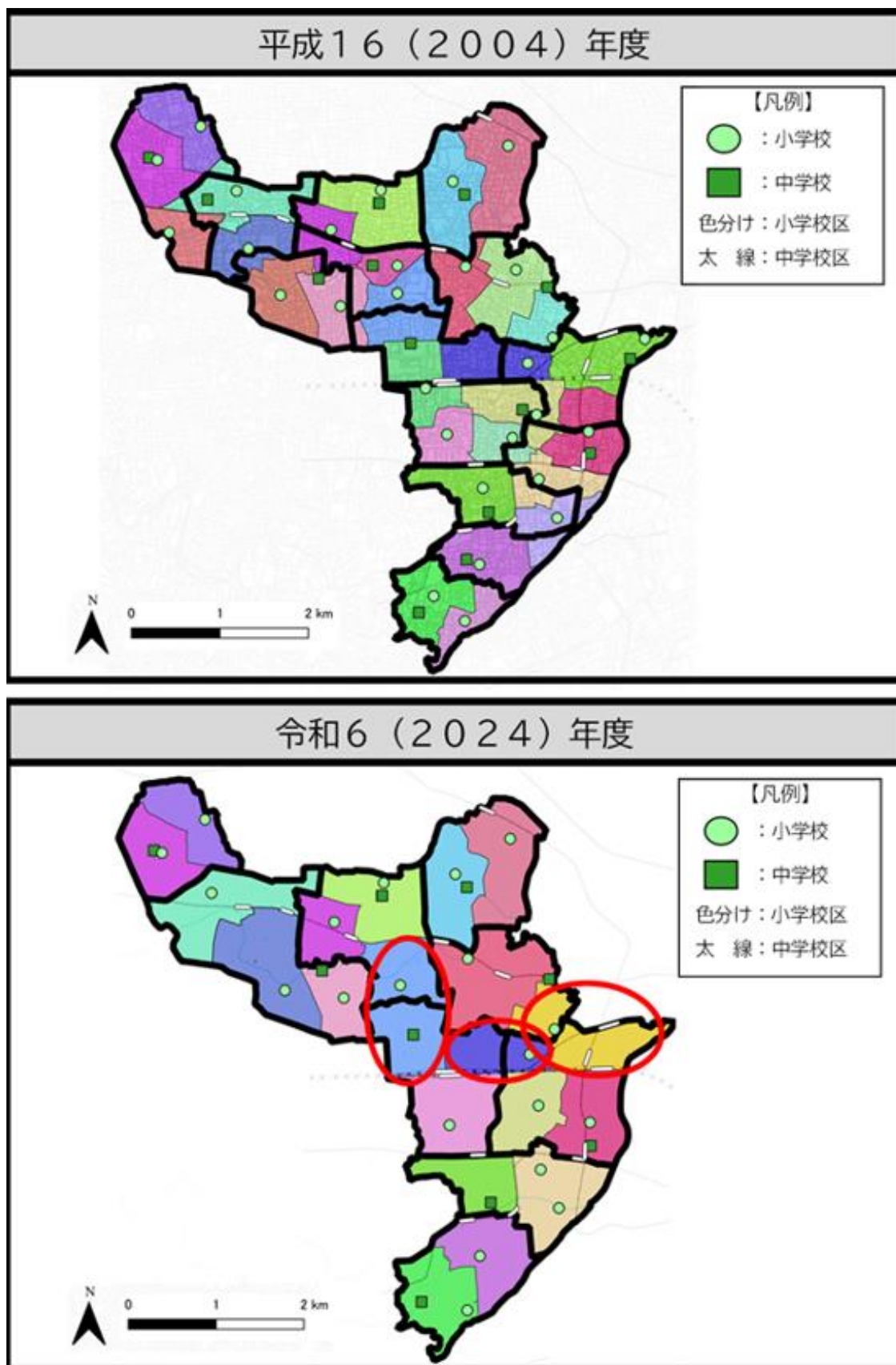
第2次計画より、区立小中学校の小規模化の解消に加えて、小中学校の連携、学校と地域・家庭との連携推進を目的に、小学校児童が中学校に進学する際、別々の中学校に進学することがないように、小学校と中学校の通学区域の整合性を図ることを目指しました。統合する学校のほか、平成29年度に北原小学校、平成30年度に第二中学校、令和元年度に谷戸小学校・上鷺宮小学校・第五中学校・北中野中学校で通学区域の変更が行われ、平成16年度には全29校の小学校のうち、13校の児童が別々の中学校に進学しなければならなかったのに対し、令和6年度には、全20校の小学校のうち、別々の中学校に進学しなければならない児童がいる小学校は3校となりました（図表1・2参照）。

図表1 小学校と中学校の通学区域の整合性が取れていない小学校

再編前 平成16（2004）年度	第1次計画に基づく再編後 平成24年（2012）年度	第2次計画に基づく再編後 令和6（2024）年度
・鷺宮小学校 ・西中野小学校 ・北原小学校 ・若宮小学校 ・啓明小学校 ・野方小学校 ・桃丘小学校 ・桃園第二小学校 ・塔山小学校 ・谷戸小学校 ・仲町小学校 ・桃園小学校 ・向台小学校 13校（全29校）	・鷺宮小学校 ・西中野小学校 ・北原小学校 ・若宮小学校 ・啓明小学校 ・平和の森小学校 ・桃園第二小学校 ・白桜小学校 ・桃花小学校 ・塔山小学校 ・谷戸小学校 ・桃園小学校 ・向台小学校 13校（全25校）	・平和の森小学校 ・桃園第二小学校 ・白桜小学校 3校（全20校）

小学校区と中学校区が異なることによる分散進学に関するアンケートでは、小学生（4～6年生）は82.6%が中学校に進学するときには今の学校の友達と同じ中学校に進学したいと考えており（「ややそう思う」を含む）、分散進学のある3校の児童は79.4%～85.2%が同様の回答をしています。中学生は85.7%が同じ中学校に進学できてよかった（「ややそう思う」を含む）と回答しています。（アンケート報告書④）

図表2 通学区域の変遷図 平成16（2004）年度と令和6（2024）年度



※ ○は令和6年度現在、整合性がとれていない学校

② 小規模校の解消と適正な学校規模の確保について

a. 小規模校の解消

当区の児童生徒数は、ピークの昭和 50 年 3 万 4,503 人から最低となる平成 28 年には 1 万 4,627 人（58%減）と半減しました。

一部の学校では小学校で 1 学年 1 クラスしかない学校や 1 学級の人数が 30 人を割り込むような学校などの小規模校が出現しました。

この状況に対応するため、区は、小規模学校を統合することで適切な学校規模の確保を目指し、2 次にわたる約 20 年間の再編を実施した結果、令和 6 年度現在、小規模学校はゼロとなり、第 2 次計画を経て、29 あった小学校は 20 校に、14 あった中学校は 9 校になりました。

小規模の学校は、クラス替えができないため人間関係の固定化や、習熟度別指導が困難になるなど、教育環境の低下をもたらす可能性があることから、文部科学省は、1 学年 2 学級以上を基準とし、学校規模の適正化を求めています。当区は、再編によりこの基準をクリアしており、統合校の児童生徒へのアンケートでも 70%以上が「学校にたくさんの友達、ともに成長できる仲間がいる」と回答していることから、統合により良好な環境が築けていることがわかります。

一例として、南中野中学校区にある新山小学校は、平成 28 年度の時点で学級数が 6、全校児童 180 人の小規模校となっていました。平成 29 年度に同じ中学校区の多田小学校、中野神明小学校と統合し、南台小学校とみなみの小学校に再編した結果、13 学級と 18 学級の望ましい規模になっています（図表 3）。

緑野中学校区の沼袋小学校の場合は、平成 14 年度から 9 年間も 1 学年 1 学級の小規模校となっていました。平成 23 年度に丸山小学校、野方小学校と統合した結果、その状態は解消しています。このほか、小規模を解消した学校として、平成 20 年度に統合した仲町小学校、桃丘小学校の 2 校や平成 31 年度に統合した上高田小学校などがあります。

また、中学校では、区東部の第十中学校が、平成 12 年度から平成 29 年度まで小規模となり、校区が隣り合う第三中学校も平成 14 年度以降、小規模化する年がありました。そのため平成 30 年度に 2 校を統合して、中野東中学校を新設し、10 学級の中学校としてスタートしました（各学校の学級数の変化は、参考資料 1 のとおり）。

図表3 南中野中学校区の小学校の学級数の変化



(参考資料1より抜粋)

b. 児童生徒数の将来推計と実績値の相違による大規模校の出現

統合により小規模校が解消される一方、大規模校となった例がいくつか見られます。たとえば、平成 29 年度に発足した美鳩小学校や平成 31 年に発足した中野第一小学校などは、令和 6 年度時点で、それぞれ 25 学級となっており、望ましいとしている 18 学級を超えています。ただし、一度大規模校になりながらも、将来推計上では望ましい規模に落ち着く例もあり、今後の推計を注視する必要があります。

統合後に大規模校となった要因の一つは、再編計画の策定期間に実施した児童生徒数の将来推計（2012～2022）が横ばいを見込んでいたにもかかわらず、実際には増加してしまったことです。2012 年から 2022 年の推計と実際の児童生徒数では、1,957 人の相違が生じました。これは、推計時に想定されていなかった中野駅周辺地区などで大規模集合住宅の建設などが進んだ、いわゆる「社会的流入」の発生が主な要因です。また、計画の期間中に小学校の 1 学級の定員が 35 人に引き下げられたことも、学級増につながりました。

児童生徒数の推移や学校の様子を注視し、今後の対応を検討していく必要があります。

③ 通学の安全対策について

統合により通学区域が拡大し最長通学距離が伸びたことから、通学路の交通安全確保に取り組む必要が生じました。各小学校では、平成 27 年度に策定した「中野区通学路交通安全プログラム」に基づき、関係者（PTA 等）や関係機関との通学路交通安全点検を定期的に実施しています。対策が必要な箇所について、学校関係者と区に加えて警察や道路管理者（東京都第三建設事務所）などが集まって検討を行い、道路整備や標識の設置、交通規制や交通安全教育など、ハード・ソフト両面から取り組んでいます。

取組の例として、令和小学校においては、令和 4 年 9 月 6 日に実施した通学路点検の結果、通学路の 4 箇所に対策が必要と分かり、学校・PTA・警察署・道路管理者・区の 5 者で検討し、対策がとられました。（図表 4）

この取組は、全区的に行われているため、アンケートの通学路に対する設問の「大きな道路など危ないと感じる場所が多いか」、「不安な道が多いか」などに対し、40%以上の保護者や教職員が「ややそう思う」を含め、危険を認識している回答をしています。しかし、統合新校において登下校時の見守りスタッフの数を増やすなどといった取組により、「安心して通学できていると思いますか」という設問に対し、小中学生とその保護者、教員すべての 80%以上が「そう思う」、「ややそう思う」と回答しています。（アンケート報告書

⑤）

再編による通学区域の拡大により、学校がこれまでより遠くなる家庭もありますが、ア

ンケートでは、「ややそう思う」を含め、児童生徒・保護者・教員の大半が、学校には安心して通えていると回答しています。これは、日々の見守りや通学路の安全確保の取組によるものと考えられます。

図表4 令和小学校の通学路交通安全点検の結果とその対策の例

対策箇所	通学路の状況	対策内容	事業主体
A	・踏切から左折車見えにくい。 ・大人の影に入ると子どもが見えにくい。 ・右左折車両が減速不足で接触寸前に。 ・午前6時から8時ごろダンプ、トラック等駐車が多く自転車が歩道を通り危険。	トラック・ダンプ等駐車車両については、取り締まりを強化し対応したい。	野方警察署
		今後、通学路に駐車しないとともに、道路の運行に際しても安全第一で行うよう引き続き注意する。	中野区
B	・五叉路の信号赤のとき、子どもが中野通りを渡ってしまう。 ・ゆるい下り坂で自転車の速度が上がる。	新井五差路交差点のゆとりシグナル化。	野方警察署
C	・車の抜け道。 ・歩道や横断歩道がなく危険。	電柱幕の交換を行う。 旧) とまれ とびだし注意 新) 通学路 とびだし注意	中野区
D	・トラックが歩道をふさぐ。 ・向かい側での建て替え工事实施中。 ・横断歩道で不停止車両多数。 ・店舗前の歩道に灰皿があり、受動喫煙、たばこの火が危険。	横断歩道の一部撤去・外側線の引き直し及び延長。	中野区
		地域団体に声をかけ灰皿を少し奥に置いていただけようになった。	PTA

＜対策検討メンバー＞小学校、PTA、野方警察署、東京都第三建設事務所、中野区

④ 通学距離について

通学距離とその時間は、統合校で検証した結果、最も遠いと考えられる場所は、小学校で、距離が最大 800m 伸び、時間は最大 16 分多くかかる結果となりました。一方で、みなみの小学校は最大で約 200m 近くなり、時間にして最大 4 分短くなる結果となりました。中学校の場合、距離は約 200m～1.2km 伸び、時間は 5 分～19 分多くかかる結果となりました（図表5）。

アンケートからは、小学生（1～3年生）の場合、「近い」、「少し近い」と回答する統合新校の児童がやや少なくなることが分かりますが、時間で見ると 20 分未満までの割合は既存校とあまり変わらない傾向が見えます（図表6 中野本郷小学校は校区外の代替校舎使用中）。中学生では、第二中学校と明和中学校で「遠い」、「やや遠い」と回答した生徒が「近い」、「やや近い」と回答した生徒よりも多いですが、20 分未満と回答した生徒の割合は小学生（1～3年生）とほぼ同じで、通学に 30 分以上かかると回答した生徒の割合が 10%を超えたのは中野東中学校だけでした。

また学校長へのヒアリングからは、統合新校での登下校時の見守りスタッフの数を増やすなどした結果、遅刻の数が減り、学習の遅れが起きにくくなったという意見もありました。

図表5 再編前の学校と統合校の通学距離、通学時間の違い

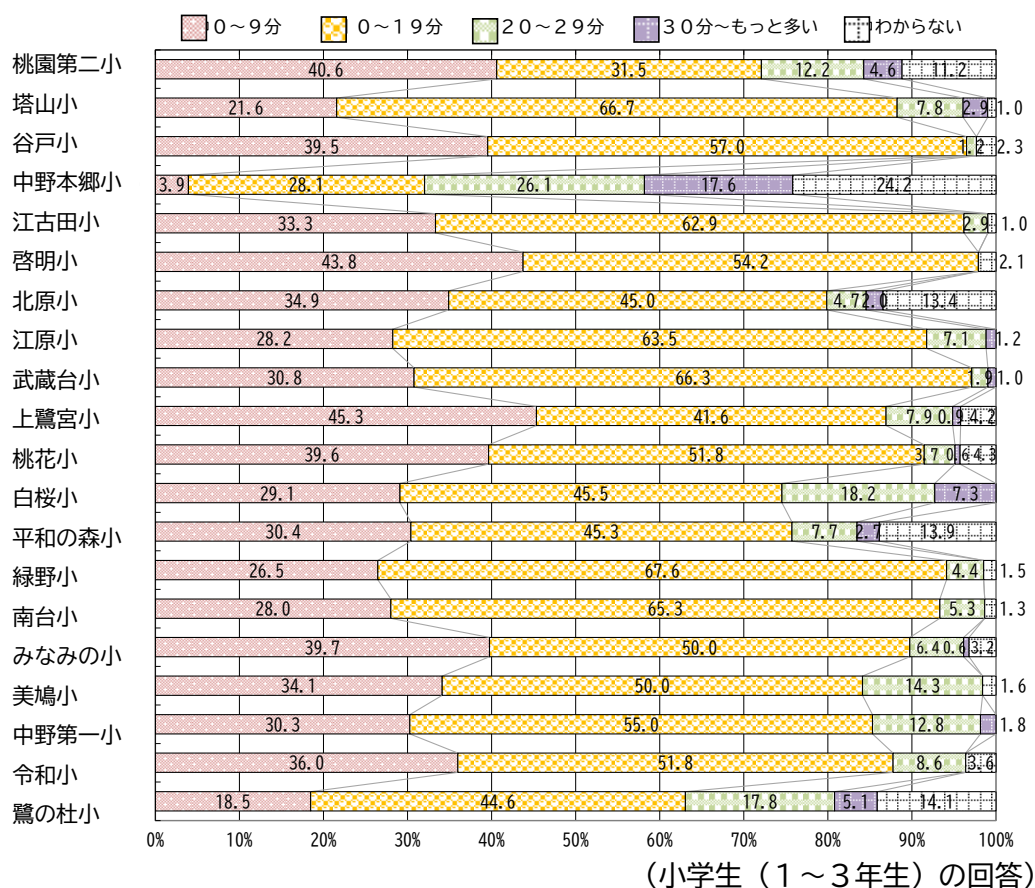
(通学最長距離が平均(小学校:1.1km、中学校1.9km)以上の統合学校を抜粋)

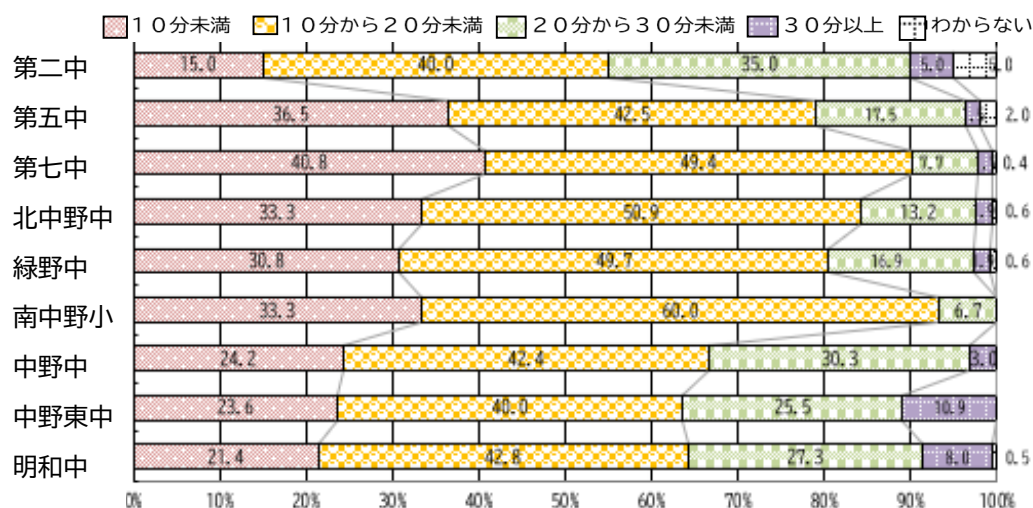
再編前学校	最長通学距離	最長通学時間		統合校	最長通学距離	最長通学時間
桃園第三小	1.2km	24分	▶	桃花小	1.2km	24分
仲町小	0.6km	12分				
桃丘小	1.1km	23分				
中野昭和小	0.7km	15分	▶	白桜小	1.5km	31分
東中野小	1.2km	25分				
野方小	0.9km	19分	▶	平和の森小	1.3km	26分
沼袋小	0.8km	17分				
多田小	0.7km	14分	▶	南台小	1.3km	27分
新山小	0.9km	18分				
大和小	0.9km	18分	▶	美鳩小	1.3km	27分
若宮小	0.9km	17分				
桃園小	0.9km	18分	▶	中野第一小	1.1km	23分
向台小	0.9km	18分				
上高田小	0.8km	16分	▶	令和小	1.2km	25分
新井小	0.8km	16分				
鷺宮小	1.3km	26分	▶	鷺の杜小	1.5km	30分
西中野小	0.8km	16分				

再編前学校	最長通学距離	最長通学時間		統合校	最長通学距離	最長通学時間
第六中	1.3km	19分	▶	緑野中	1.9km	29分
第十一中	1.2km	18分				
第九中	1.5km	22分	▶	中野中	2.1km	31分
中央中	1.2km	17分				
第三中	1.7km	24分	▶	中野東中	1.9km	29分
第十中	1.1km	14分				
第四中	1.1km	15分	▶	明和中	2.3km	34分
第八中	1.2km	17分				

※南台小と明和中は令和7年度から移転する新校舎の位置による検証

図表6 アンケート設問 家から学校までの時間





(中学生の回答)

⑤ 新校舎整備による教育環境の向上について

新校舎を整備した学校の1校当たりの面積の平均は、校舎延床面積と屋内運動場延床面積をあわせて、小学校が、5,450 m²から8,865 m²に、中学校が、6,188 m²から10,299 m²へと拡大しました(図表7)。また、校舎の1人当たり面積は小学校で10.6 m²、中学校で14.4 m²となりました。校舎に関する面積が拡大した一方、校庭面積は小学校が、4,638 m²から3,443 m²に、中学校が、4,693 m²から4,829 m²となり、小学校では縮小、中学校ではほぼ横ばいとなりました。

図表7 再編前の学校と統合校の延床面積一覧

再編前の学校	校舎延床面積	屋内運動場延床面積	校庭面積	校地面積		統合校	校舎延床面積	屋内運動場延床面積	校庭面積	校地面積
新井小	4,943	544	5,059	9,285	⇒	令和小	7,505	989	3,018	9,149
上高田小	4,994	544	3,975	7,756						
鷺宮小	4,199	574	4,688	9,027		鷺の杜小	7,902	972	4,912	12,382
西中野小	4,569	578	4,889	10,428						
桃園小	4,973	617	5,764	10,026		中野第一小	8,285	865	3,329	10,102
向台小	5,223	510	3,444	6,629	⇒					
大和小	5,134	595	5,244	10,277		美鳩小	8,206	783	3,137	10,886
若宮小	5,025	544	5,740	13,283						
中野神明小	5,528	544	3,950	9,269		みなみの小	8,013	805	2,821	9,024
新山小	4,282	575	3,626	8,374						
小学校平均	4,887	562.5	4,638	9,435		小学校平均	7,982	882.8	3,443	10,309
第十中	5,811	720	4,560	10,052	⇒	中野東中	6,639	1,975	4,310	9,970
第三中	4,881	759	4,552	9,006						
中央中	4,549	646	2,529	8,432		中野中	9,178	2,805	5,347	10,785
第九中	5,651	1,735	7,130	10,133						
中学校平均	5,223	965	4,693	9,406		中学校平均	7,909	2,390	4,829	10,378

(公立学校施設台帳より)

の学校跡地に新設校の新校舎がつくられている。

施設の機能向上については、令和3（2021）年 10 月に改定された「中野区立小中学校施設整備計画（改定版）」で示されている教育環境充実のための5つの取組の視点を踏まえ検証しました。（図表8）。

図表8 新校舎の特色一覧

	各室の 面積拡大	少人数指導 に対応した 教室の整備	特別支援教 室の充実	一足制によ る施設整備	ユニバーサル デザインによ る施設整備	環境へ の配慮
みなみの小学校	○	○	○	○	○	○
美鳩小学校	○	○	○	○	○	○
令和小学校	○	○	○	○	○	○
鷺の杜小学校	○	○	○	○	○	○
中野中学校※	○	○	○		○	○
中野東中学校	○	○	○	○	○	○

※中野中学校のみ第1次計画による再編

a. 新校舎による学習環境の向上

●少人数指導に対応した教室の整備

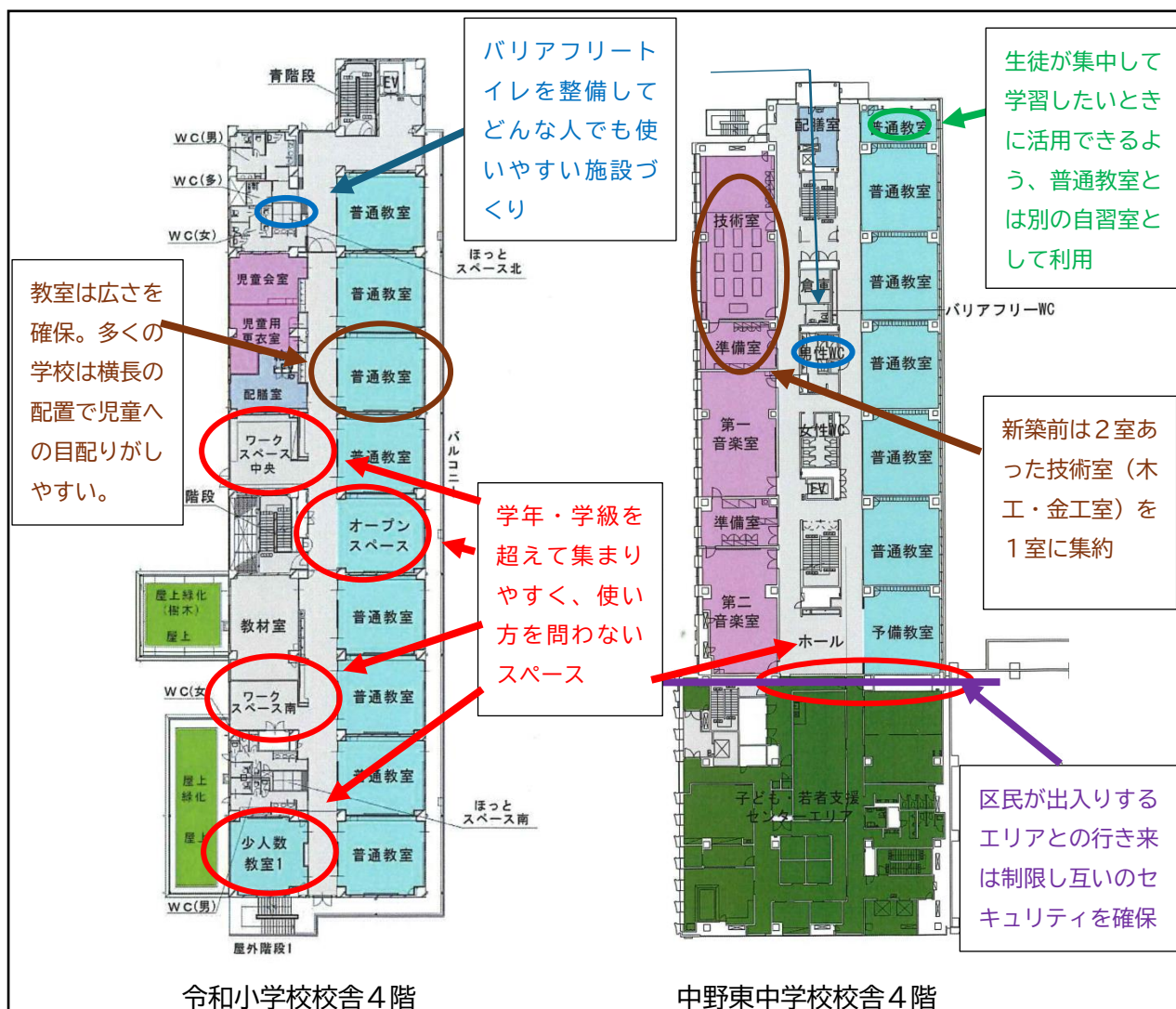
新校舎の普通教室は既存校よりも広い 72 m²以上が確保されています。普通教室以外の特別支援学級、特別支援教室、特別教室、職員室や保健室などの管理諸室なども再編前の学校施設より広い面積で整備されています。

新築前の校舎では、児童数や学級数が減少したことによる余裕教室を様々な学習スペースに転用して教育環境の充実を図っていましたが、新校舎はこれら諸室をあらかじめ普通教室とは別に用意しています。

グループ学習や習熟度別、少人数の学習など、様々な活動が行えるよう、普通教室と同程度の広さのオープンスペースやワークスペース、少人数教室、学年で集まることができる場所などが、限られた施設面積の中で効率よく配置されています（図表9）。

普通教室は前面中央に昇降式ホワイトボード、電子黒板が設置されていますが、電子黒板をキャスター式から壁掛けに仕様を変更するなど、学校現場の使い方から細かな改善が図られています。

図表9 新校舎に見る効率的な学習空間の確保と機能向上



新校舎では、赤い丸のスペースを普通教室と連携しながら活用でき、複数の場所でグループ学習や少人数学習などを同時に展開できる学習環境が整えられました。学習空間の利用効率も向上します。

小学校では、教室とワークスペースを組み合わせる、学年で集まるなど多様な学習集団での活用が見られます。中学校のホールでは、学習だけでなく自分の教室以外の居場所として休み時間に過ごす姿を目にすることができます（校長ヒアリングより）。

●特別支援教育の確保

新築された小学校には、特別支援学級と特別支援教室、プレイルームが整備されています。中学校にも特別支援教室が設置され、中野中学校と中野東中学校は、巡回指導の拠点校になっています。また、日中に出入りのある特別支援教室を特別支援学級と離して配置するなど、利用する児童生徒が落ち着いて学習できる環境となっています。

●一足制による施設整備

第2次計画による統合新校では、校舎新築に合わせて上履きを廃止する一足制を導入しています。これによって昇降口から下駄箱がなくなりましたが、登下校時の利用が集中するエントランスは広い間口を確保して利便性に配慮されています。また、校庭には校舎内に汚れを持ち込まないことや降雨後の利用に配慮して人工芝が敷設されました。靴を履き替えなくなったことで移動時間の短縮と授業時間の確保につながりました。また、校長ヒアリングから、下駄箱の撤去がいたずらの解消につながったことも分かりました。

●ユニバーサルデザインによる施設整備

建築面では段差解消やスロープの設置、設備面ではエレベーター、バリアフリースイッチ、車いす対応机（家庭科室）の整備など、様々な来校者に配慮した設備が充実しました。また、各室並びに屋内運動場には空調設備を整備することで快適性が向上しました。

●環境への配慮

太陽光発電（再生可能エネルギー）システムや屋上緑化などにより環境負荷低減に取り組んでいます。

上記の特色のほか、新校舎では、スペースを最大限に活かすため、諸室の形状を単純化して集約し、校舎屋上を利用してプールを配置するなどの工夫がされています。

また、安全面では、児童生徒、車、地域開放など、それぞれの敷地の動線を分離し、複合化された施設では、専用の出入口を設け非常時を除き施設間の往来を防止できるようにするなど、校舎の安全性を向上させています。

b. 統合に伴う避難所機能の向上

●屋内運動場の避難所機能強化

統合に伴い新築された鷺の杜小学校、令和小学校、中野東中学校、中野第一小学校、美鳩小学校、みなみの小学校の屋内運動場は、断熱化と空調設備の整備をしています。

屋上の水泳プールの水は消防水利だけでなく避難所の生活用水としても利用できるほか、災害発生時には太陽光発電設備を電源にすることができる施設もあるなど、避難所機能が向上しました。また、防災倉庫も近接に置かれて防災機能が強化されました。

保護者に対するアンケートでは、災害時の避難所として、新築された学校施設を「利用しやすくなった」（「ややそう思う」を含む）と回答した方が、小学生の保護者で56.0%、中学生の保護者で68.8%いました。中でも令和小学校児童の保護者は79.0%と高く評価しています（アンケート報告書⑫）。

⑥ 学校再編に係るコスト分析について

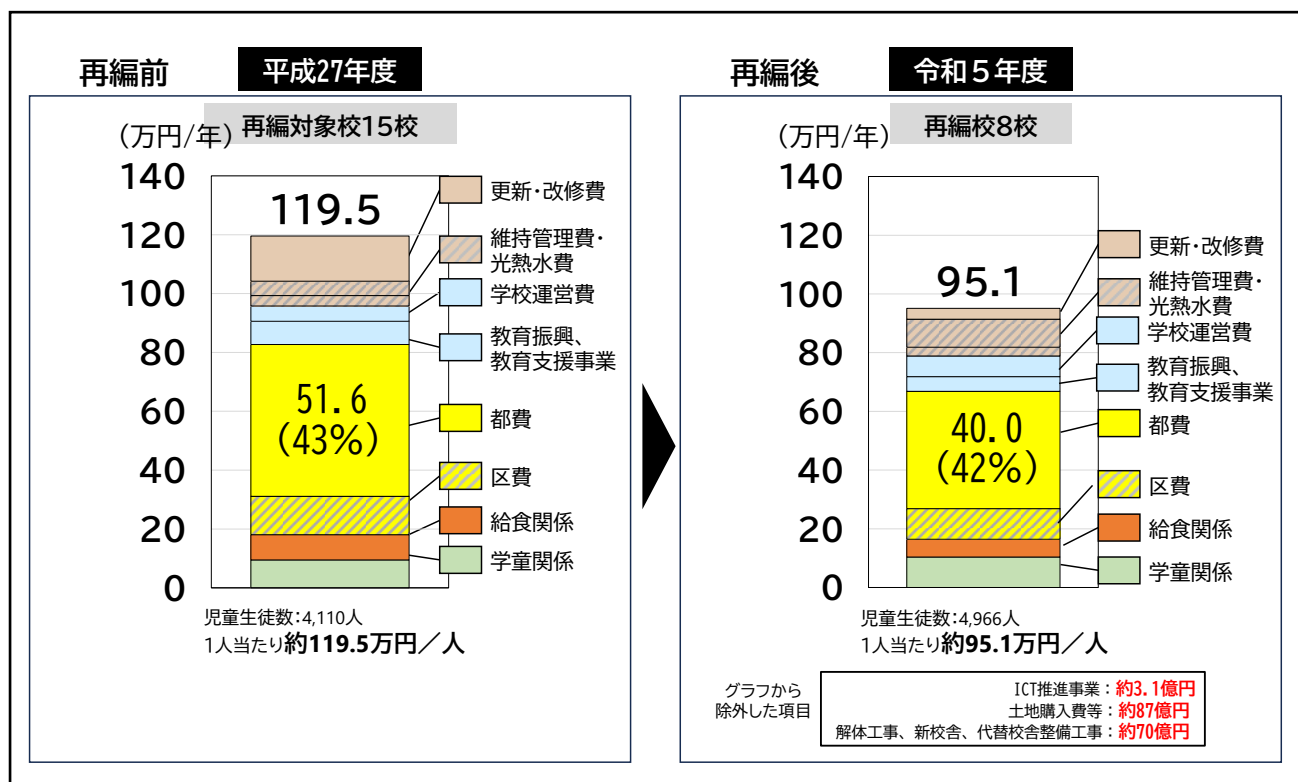
a. 再編後の1人当たりコストは20%減

学校施設・学校運営にかかるコストは、物価上昇や新たな学びを実現する施設機能の高機能化・複合化などにより、増加傾向にあります。

第2次計画による再編前である平成27（2015）年度における統合対象の15校のコストは、15校合計で年間49.1億円でした。これに対して、新規の施策である教育用端末の整備とサポートといった環境整備に取り組むICT推進事業3.1億円を除いた令和5（2023）年度のコストは再編後の8校（令和6（2024）年度新設の鷺の杜小学校は同年分で計算）の合計で年間47.3億円となり、3.6%とわずかではありますがコスト減となりました。これは、教職員人件費を21.2億円から19.8億円に減らすことができたことなどが主な要因です。

全体のコストを児童生徒1人あたりに直すと、再編前の平成27年度は1人当たり119.5万円だったのが、再編後の令和5年度は1人当たり95.1万円に下がっており、20%減少しています（図表10）。この間、中野区では大規模マンションが建設されたことなどにより、区立小中学校に通う児童生徒数が4,110人から4,966人へ20%増加していることも踏まえると、統合のコスト削減効果は高いといえます。

図表10 再編前の小中学校15校と再編後8校の1人当たりコスト比較



個別の統合校のコストでは、上高田小学校と新井小学校が令和2（2020）年度（新校舎は令和4（2022）年度から）に統合してできた令和小学校の場合、統合前の2校の単純合算コストは、平成27年度で年間6.0億円、これに対し平成27年度にはなかったICT推進事業の0.4億円を除いた令和5年度の費用は年間5.9億円とわずかですが減少しています。これも児童1人あたりコストで見ると、統合前の平成27年度の1人あたりコストは年間95.8万円に対して、令和5年度の1人あたりコストはICT推進事業を除いて年間80.5万円で16%減少しました。

第三中学校と第十中学校が平成30（2018）年度（新校舎は令和3（2021）年度から）に統合してできた中野東中学校では、平成27年度は単純合計で5.5億円だったのに対して、令和5年度はICT推進事業0.4億円を除いても、5.9億円と7%増加しています。しかし、これを生徒1人当たりのコストで比較すると、平成27年度は137.2万円でしたが、統合後の令和5年度は127.4万円で7%減少しています。

b. 統合していない学校とのコスト比較

統合対象外である小中学校21校（既存校）の平成27年度の総コストは94.6億円でした。また、令和5年度の総コストを見るとICT推進事業費11.3億円を除いても138.1億円と45%も増えており、児童生徒数の増加もありますが、ほぼすべての費目でコストが上がっています。統合校は児童生徒数が増えても若干のコスト減になっていたため、既存校と統合校を比較する限りでは、統合がコスト抑制効果を生んでいると想定されます。

既存校の1人当たりのコストでは、平成27年度は1人あたり119.7万円と統合校の119.5万円とほぼ同じでしたが、令和5年度は145.9万円になり、21%も増加しています。一方、統合校は95.2万円となり20%減少しているため、統合によるコスト削減効果がみられます。

⑦ 学校活動への影響を考慮した移転について

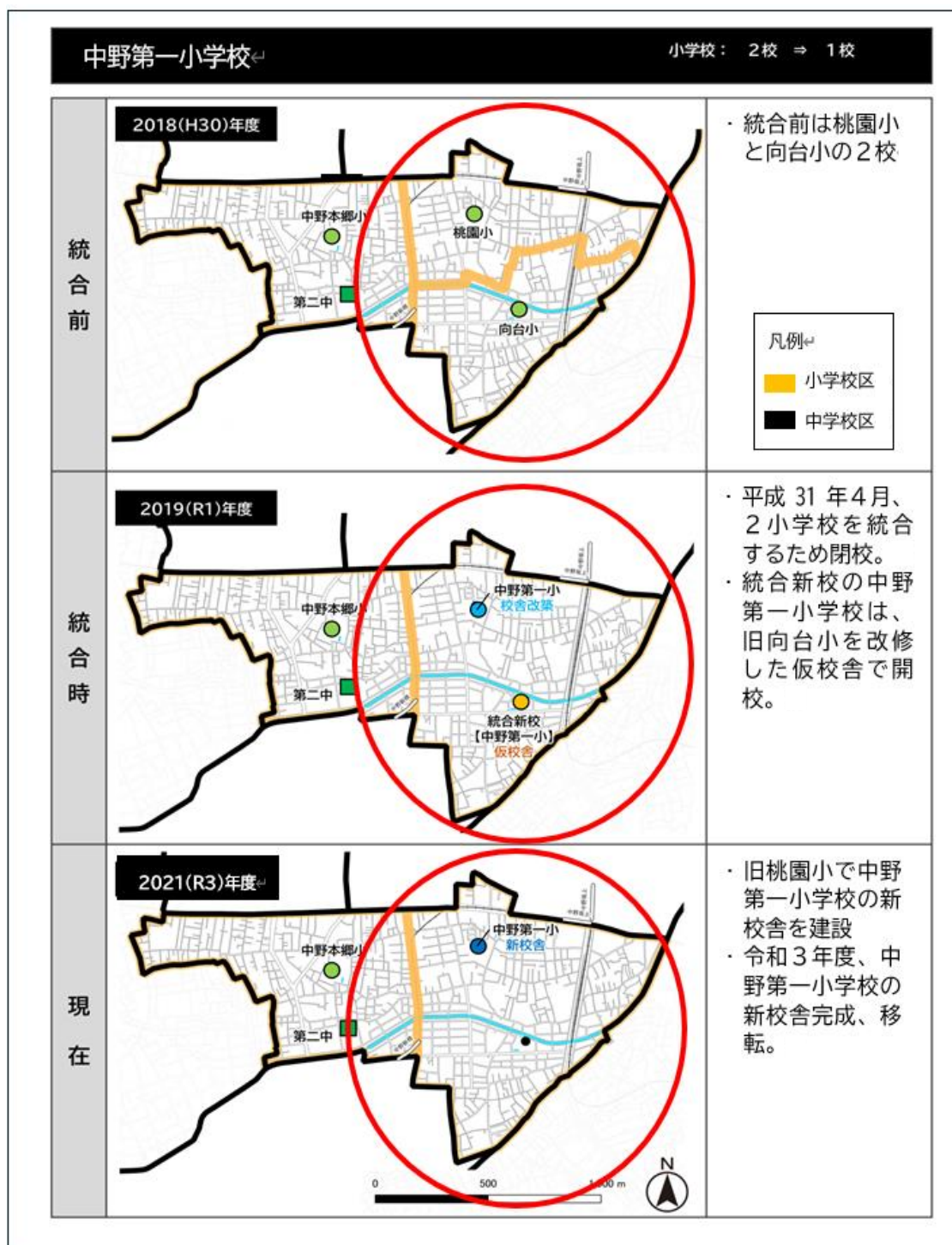
中野区の学校は敷地が狭く、既存校舎を使いながら新校舎を整備すると工事や騒音などが学校の教育活動に影響を及ぼすため、主に以下のローテーションにより整備を進め、教育活動に影響を及ぼさない方法で統合と新校舎整備を行いました（図表11）。

【ローテーションの順序】

①新校舎の建設場所を決める ②統合後に使用しなくなる学校を仮校舎として統合校を開校する ③仮校舎の期間中に新築工事を行う ④新校舎完成後に移転する

（鷺の杜小学校と明和中学校は、統合前の2校の中心に近い旧第八中学校と旧若宮小学校の跡地で新校舎を整備）

図表 11 桃園小学校と向台小学校の統合と中野第一小学校の開校・新校舎完成までの経緯



⑧ 統合新校の名称について

統合新校の名称を決める際、各学校統合委員会では、元の学校をイメージしてしまう学校名を避けた検討が行われました。学校名の案は、公募によりアイデアが集められ、各学校統合委員会の協議を経て、学校名が決定しました（図表 12）。

図表 12 統合前後の学校名

小学校		中学校	
新校名	統合前の校名	新校名	統合前の校名
桃花	桃園第三・仲町・桃丘	緑野	第六・第十一
白桜	中野昭和・東中野	南中野	第一・中野富士見
平和の森	野方・沼袋	中野	第九・中央
緑野	丸山・沼袋	中野東	第三・第十
南台	多田・新山	明和	第四・第八
みなみの	中野神明・新山		
美鳩	大和・若宮		
中野第一	桃園・向台		
令和	上高田・新井		
鷺の杜	鷺宮・西中野		

⑨ 放課後の子どもの居場所の確保について

区は、児童の放課後の安全で安心な遊び場を整備するため、各校にキッズ・プラザの設置を進めており、すべての統合新校の新校舎に専用室を整備しました（図表 13）。キッズ・プラザは、日々の施設管理を含め民間事業者へ運営を委託しています。学校や地域住民の協力を得て、校庭や体育館を活用した遊びのほか、様々なイベント等を実施し、子どもたちが豊かな体験ができる居場所となっています。

アンケートによると、キッズ・プラザを利用したことがある小学生（４～６年生）は、全体で 60.0%になりますが、キッズ・プラザを校内に設置している小学校（14 校）に限定すると利用経験者の割合は 64.1%～94.4%まで上昇し、「放課後の遊び場確保」として成果を上げていると捉えられます。（アンケート報告書③）

図表 13 キッズ・プラザ開設校一覧

名称	開設時期	設置場所	名称	開設時期	設置場所
キッズ・プラザ塔山	平成20年10月	中央1-49-1 塔山小学校内	キッズ・プラザ谷戸	平成25年10月	中野1-26-1 谷戸小学校内
キッズ・プラザ白桜	平成21年10月	上高田1-2-28 白桜小学校内	キッズ・プラザ江原	平成31年4月	江原町1-39-1 江原小学校内
キッズ・プラザ新山	平成21年10月	南台4-4-1 南台小学校内	キッズ・プラザみなみの	令和2年9月	弥生町4-27-11 みなみの小学校内
キッズ・プラザ江古田	平成22年4月	江古田2-13-28 江古田小学校内	キッズ・プラザ美鳩	令和2年9月	大和町4-26-5 美鳩小学校内
キッズ・プラザ武蔵台	平成23年4月	上鷺宮5-1-1 武蔵台小学校内	キッズ・プラザ中野第一	令和3年4月	本町3-16-1 中野第一小学校内
キッズ・プラザ桃花	平成23年4月	中央5-43-1 桃花小学校内	キッズ・プラザ令和	令和4年4月	新井4-19-26 令和小学校内
キッズ・プラザ緑野	平成23年11月	丸山1-17-1 緑野小学校内	キッズ・プラザ鷺の杜	令和6年4月	鷺宮4-7-3 鷺の杜小学校内

第2次計画による統合新校の新校舎に整備されたキッズ・プラザ

⑩ 統合に向けた関係者協議について

統合にあたっては、校名や校章など統合新校の様々な事柄について検討を行うため、統合対象の学校関係者で構成する学校統合委員会を設置しました。第2次計画では、設置時期を概ね2年半前、学校改築を伴う場合には工事予定の3年前と定めていましたが、これは、第1次計画では十分な協議期間をとれていなかったという課題を踏まえ、設置時期を早めたものです。その結果、第1次計画の統合では、開校の約2年前に第1回を開催し、平均13.8回開催していましたが、第2次計画の統合では、開校の約3年前から始められ、平均15.4回と、より時間をかけて検討されました（図表14）。

図表14 学校統合委員会開催結果

学校統合委員会	開催回数	開催期間
第1次計画の 学校統合委員会	10回～17回 (13.8回)	1年6か月～3年8か月
第2次計画の 学校統合委員※	13回～22回 (15.4回)	2年3か月～3年9か月

※第2次計画にて統合の1年延期があった鷺の杜小学校の学校統合委員会の休会期間（1年10か月）を除く。開催回数・開催期間の（ ）は平均値

⑪ 統合前の交流事業について

第2次計画による再編の実施に伴い、円滑な学校統合のため、平成25年11月に区は、「円滑な再編のための取組について」を取りまとめました。これを踏まえ、統合の2年前から児童同士の交流活動（使用校舎の見学、スポーツや芸術の講演会と体験教室の合同実施など）などが行われました（図表15）。

統合前の交流事業により、小学生の43.2%、中学生の31.8%、教職員の35.3%は、統合に対する「不安が少なくなった」と回答しています。（アンケート報告書⑪）

図表15 交流事業の例（令和小学校）

3年以上前	・学校紹介パンフレット作成 (平成26・28年度：上高田小、平成28年度：新井小) ・児童間の交流活動 (レクリエーション大会、学校探検会：新井小)
開校2年前 (平成30年度)	・合同体育教室 ・学校探検会等交流事業 ・学校紹介パンフレット作成（上高田小）
開校1年前 (平成31(令和元)年度)	・合同体育教室

(2) アンケート結果より

① 統合への満足度

統合を経験した児童生徒、保護者、教員を対象に、「他の学校と一緒にになったことについて、どのように感じていますか。」という満足度について聞きました。(アンケート報告書⑧)

回答は以下のとおりです。

●小学生（１～３年生）

鷺の杜小学校の児童が回答しています。79.7%の児童が他の学校と一緒にになったことを「良かった」と回答し、「やや良かった」と回答した 18.9%を足すと 98.6%が統合を肯定的に受け止めています。

●小学生（４～６年生）

令和小学校と鷺の杜小学校の児童が回答しています。「良かった」と回答した児童は 57.6%にのぼり、31.0%の「やや良かった」を加えた肯定的な回答は 88.6%を占めました。

●中学生

みなみの小学校、南台小学校、美鳩小学校、中野第一小学校、令和小学校の卒業生が小学校の頃を振り返り回答しています。統合を 45.7%が「良かった」と回答し、36.4%が「やや良かった」と回答しています。「良かった」の回答は小学生と比べると下がりますが、「やや良かった」を含めた統合についての肯定的な回答は 82.1%となり、小学生とほぼ同じ満足度を示しています。

●保護者（小学生）

保護者（小学生）は、「良かった」（23.6%）と「やや良かった」（32.4%）の合計が 56.0%と子どもに比べれば低いですが、半数以上が統合を肯定的に受け止めています。統合を「良くなかった」「あまり良くなかった」と回答した合計は 31.2%になり、「わからない」と回答した保護者が 12.7%います。

●保護者（中学生）

「やや良かった」の回答が多いなど、傾向は小学生の保護者に近いですが、「良かった」との合計も 54.0%と過半数を占めています。ただし、「わからない」の回答が 23.2%を占めました。これは、「やや良かった」に次ぐ２番目に大きな割合を占めています。学校別に見ると、統合前の学校規模が小さかった学校（旧大和小学校、旧向台小学校、旧上高田小学校）の保護者の回答が満足度の高い結果になっています。

●教員

「良かった」の回答の割合が全ての属性で最も少ない8.8%にとどまっています。「やや良かった」を含めても29.4%にとどまり、最も多い回答は「分からない」の26.5%でした。統合を経験している教員からの回答数が34と少ないのですが、その中で回答数が多かった令和6（2024）年4月統合の鷺の杜小学校の教員からは、統合を「良かった」「やや良かった」とする比率が27.3%、「あまり良くなかった」「良くなかった」とする比率が45.5%、と統合への評価が低く出ました

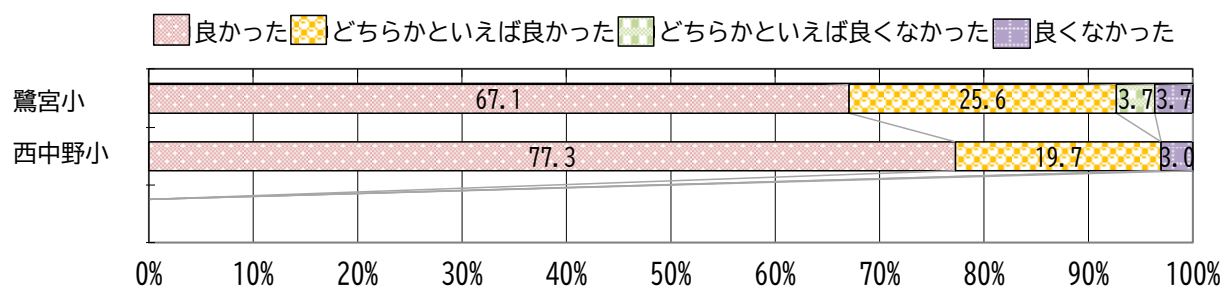
●区民一般

回答数が少ないですが、肯定的な回答と否定的な回答で半分に割れました。

この回答結果からは、統合への満足度が高い子どもたち、半数以上が満足度の高い回答を示した保護者と区民一般、肯定的な回答の低い教員に分かれました。教員の回答については、ヒアリングから「統合直後は新しい友人との間で衝突が起こりやすい」などの声があり、教員の負担が著しく増加していることも要因の一つと思われます。統合5年目の令和小学校の学校長は「5年ぐらいすると落ち着いて学校本来の活動に集中できるようになる」、統合7年目の中野東中学校の学校長経験者は「時間とともに統合に不満をもつ教員はいなくなった」との声もあり、統合から一定の時間を経ると教員の統合に対する評価が変わることがわかります。

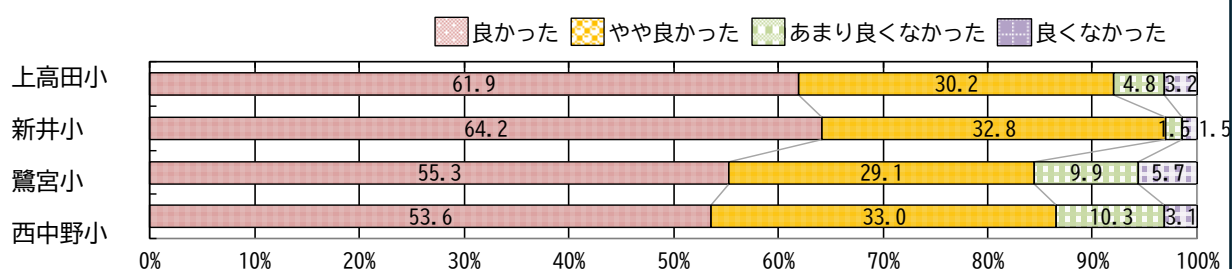
図表１６ アンケート設問 他の学校と統合したことについて、どのように感じていますか

(再編前の在籍校ごとに回答を整理)



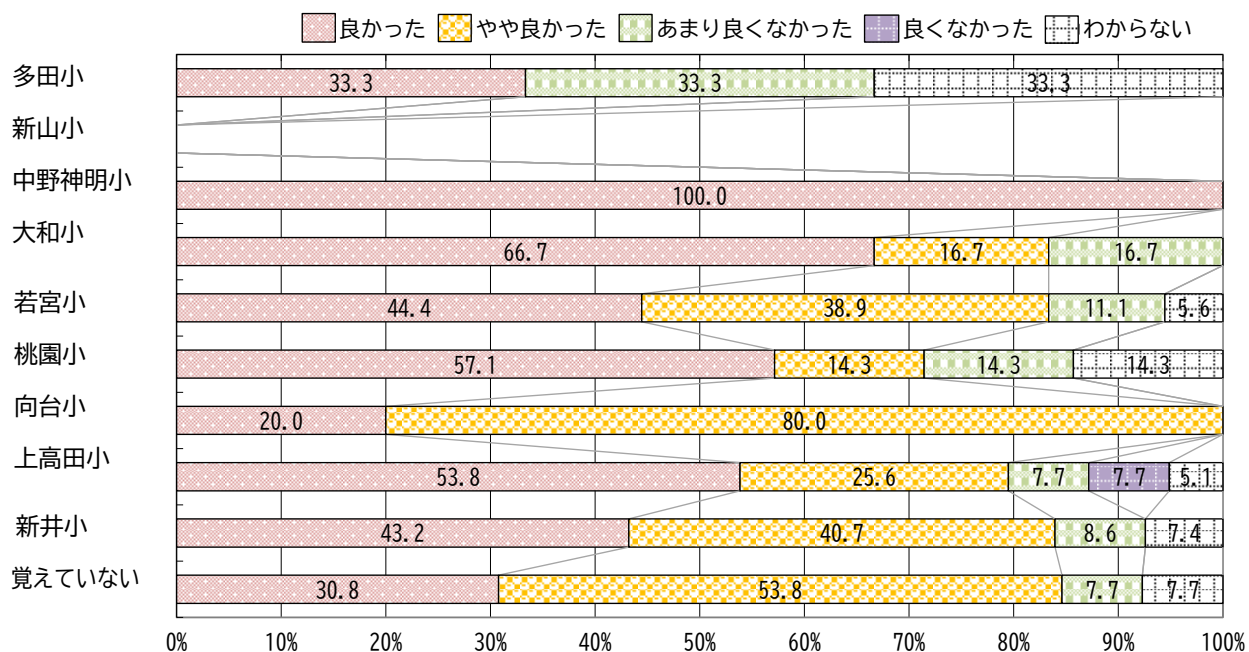
小学生（１～３年生）回答

(鷺宮小、西中野小の統合新校が鷺宮小)



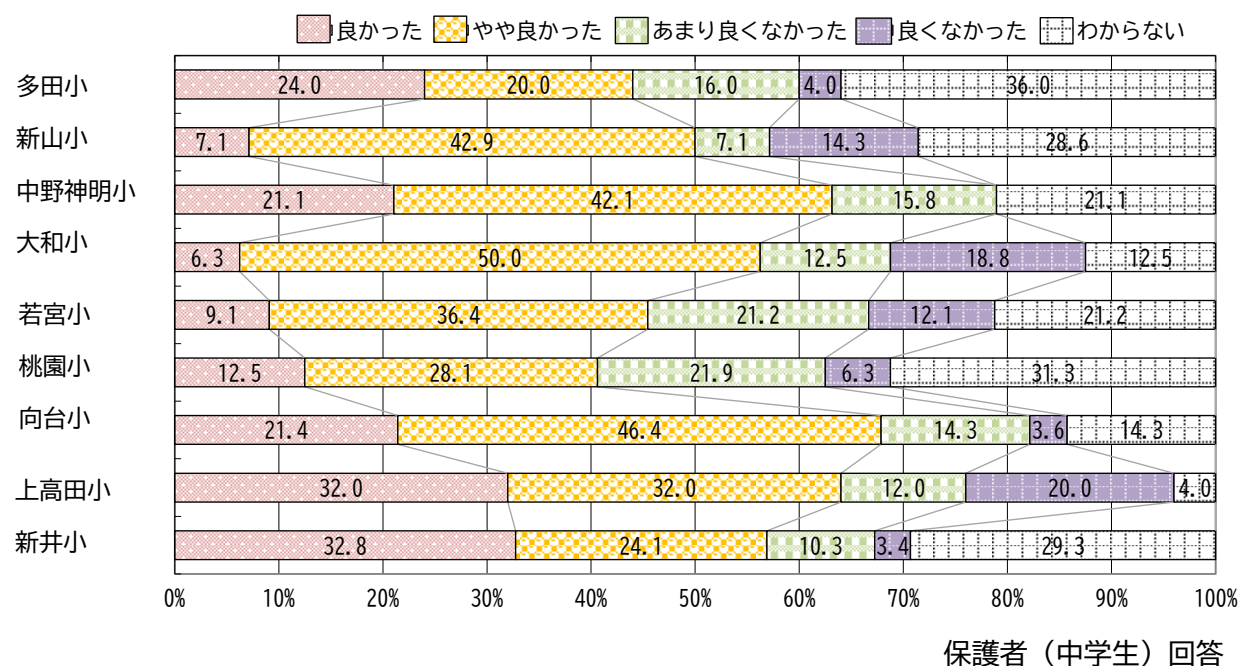
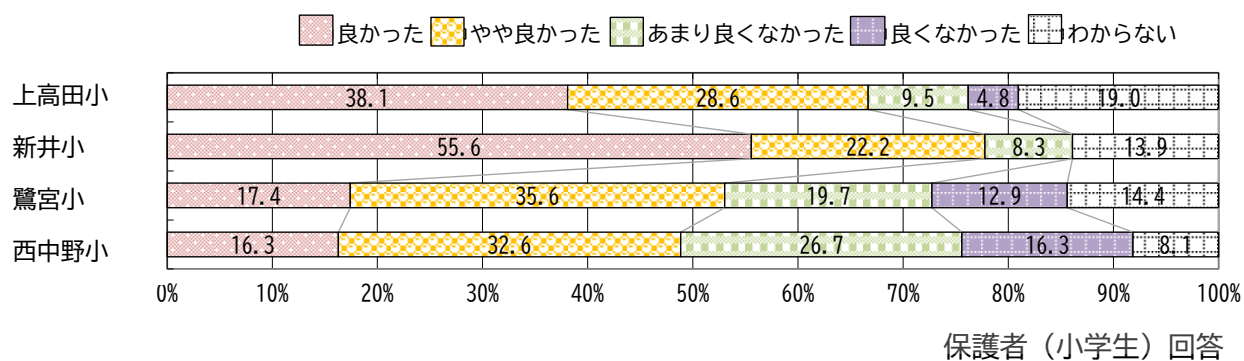
小学生（４～６年生）回答

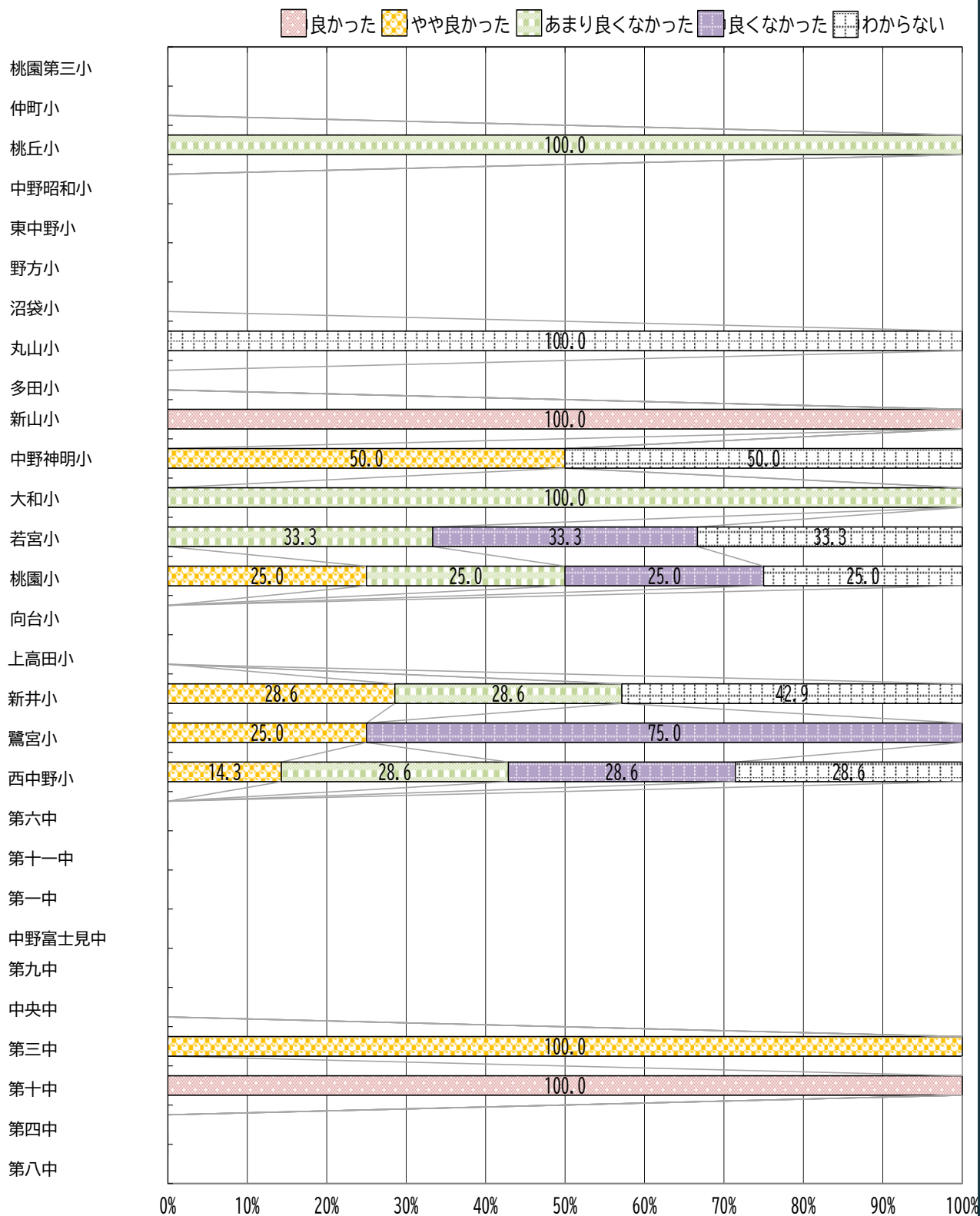
(上高田小、新井小の統合新校が令和小)



中学生回答

(多田小、新山小、中野神明小の統合新校がみなみの小、南台小／大和小、若宮小の統合新校が美鳩小／桃園小、向台小の統合新校が中野第一小)





教員回答

(桃園第三小、仲町小、桃丘小の統合新校が桃花小／中野昭和、東中野小の統合新校が白桜小／野方小、沼袋小の統合新校が平和の森小／丸山小、沼袋小の統合新校が緑野小／第六中、第十一中の統合新校が緑野中／第一中、中野富士見中の統合新校が南中野中／第九中、中央中の統合新校が中野中／第三中、第十中の統合新校が中野東中／第四中、第八中の統合新校が明和中)

② 学校規模（人数・学級数）について

全区立小中学校を対象に、以下の項目について、現在通っている学校の人数・学級数に対する考えを聞きました。（アンケート報告書②）

- ①たくさんの友達と話し、知り合いになれている。
- ②勉強や運動で頑張りあい、高め合える友達ができている。
- ③運動会や発表会などの学校行事の内容は、充実している。
- ④部活動は活発に行われている（中学生と中学生の保護者のみ）。

回答は以下のとおりです。

●小学生（4～6年生）

全体では、①～③を 70%以上が「そう思う」、②・③は 14%が「もっと少ない方がいい」と回答しています。学校別に見ると、全校で「そう思う」が最も多く、統合校・既存校にかかわらずほとんどの学校で「もっと多い方がいい」が2番目になっています。

●中学生

全体では、①～③を 75%以上が「そう思う」、④は 68.4%が「そう思う」と回答しています。学校別に見ると、4つの設問すべてで、全校「そう思う」が最も多く、統合校・既存校にかかわらずほとんどの学校で「もっと多い方がいい」が2番目になっています。

●保護者（小学生）

全体では、①～③を 65%以上が「そう思う」と回答する反面、10%以上が「もっと少ない方がいい」と回答しています。学校別に見ると、「そう思う」の上位は統合していない学校の保護者で、「もっと少ない方がいい」の上位は統合校の保護者の割合が多く、児童とは見方が異なることが分かります。

●保護者（中学生）

全体では、①～③を 66%以上が「そう思う」、④は 56.5%が「そう思う」20.2%が「もっと多い方がいい」と回答しています。学校別では統合による違いは見られませんでした。

●教員

全体では、①～③を 55%以上が「そう思う」、28%以上が「もっと少ない方がいい」と回答しています。中学校教員は全体的に「そう思う」の割合が高く、小学校教員は統合にかかわらず「そう思う」よりも「もっと少ない方がいい」の回答が多い学校がありました。この傾向は統合校の場合、鷺の杜小学校、令和小学校、中野第一小学校など、比較的新しい学校において大きくなっています。

アンケートの結果から、多くの児童生徒は学校が統合して規模が大きくなったことを好

意的に捉えている一方、保護者や教員の中には、児童生徒数・学級数が増えたことを課題と受け止める回答が児童生徒の回答より多く、特に統合後間もない小中学校でより多くその傾向が顕著に見られることがわかりました。

③ 教育面への効果の視点

統合経験者を対象に、教育面への効果の視点から学校生活や教育活動における変化に関する以下の3つの質問について聞きました。(アンケート報告書⑦)

- ① 新しい友だちができたか(友達が増えて良かったか(小学生(1～3年生)))
- ② 運動会や校外活動がもっと楽しくなったか
- ③ 授業が楽しくなったか

回答は以下のとおりです。

●小学生(1～3年生)

①を「良かった」と79.7%が回答し、「どちらかといえば良かった」との合計は98.6%になりました。②は、70.3%が「もっと楽しくなった」と回答し、「どちらかといえばもっと楽しくなった」との合計は93.3%です。③は60.8%が「もっと楽しくなった」と回答し、「どちらかといえばもっと楽しくなった」との合計は93.2%となります。

●小学生(4～6年生)

①は1～3年生よりも高い82.6%が「そう思う」と回答し、「ややそう思う」と合わせた肯定的な回答は90.5%となりました。②は、54.1%が「そう思う」と回答し、「ややそう思う」との合計は76.9%です。③を「そう思う」と回答した児童は48.4%ですが、「ややそう思う」(25.8%)との合計は74.2%になりました。

●中学生

①は75.7%が「そう思う」と回答し、「ややそう思う」との合計は90.7%になりました。②は78.0%が「そう思う」(54.3%)「ややそう思う」(23.7%)と回答しています。③を「そう思う」と回答した生徒は39.3%で、「ややそう思う」の回答との合計は65.9%となりました。

●保護者(小学生)

統合後の子どもの学校での様子について、①では60.7%の保護者が「そう思う」と回答し、「ややそう思う」との合計は88.3%になります。②は、「そう思う」が23.3%、「ややそう思う」が20.4%で合計は43.7%です。「あまりそう思わない」の回答が30.9%、「そう思わない」は20.4%あり、否定的な回答の合計は51.3%になりました。③は「そう思う」(17.1%)「ややそう思う」(27.6%)の合計が44.7%、「あまりそう思わない」

(27.6%)、「そう思わない」(16.4%)の合計は44.0%でほぼ同数となりました。

●保護者（中学生）

小学生の保護者同様、統合後の子どもの学校での様子について聞きました。①では44.0%の保護者が「そう思う」と回答し、「ややそう思う」(34.0%)との合計は78.0%になります。②については、「そう思う」が26.8%、「ややそう思う」が27.2%で合計は54.0%です。子ども（中学生）に比べると低いですが、保護者（小学生）よりは満足度が高いことがわかりました。③は「そう思う」(10.4%)「ややそう思う」(27.6%)の合計は38.0%で、「あまりそう思わない」(27.6%)、「そう思わない」(15.6%)の合計の方が43.2%で高い結果となりました。

●教員

①は子ども同士の交流が多くなったかを聞きました。「そう思う」と回答した教員は8.8%ですが、「ややそう思う」と回答した38.2%を合わせると、肯定的な回答の合計は47.0%となりました。②と③は、統合により活性化したかを聞いています。ともに肯定的に回答した教員は29.4%となり、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した教員が50.0%となりました。

統合新校の教員は、異動で経験者が減っていることもあり回答数が少ないことを考慮する必要があります。また、学校長へのヒアリングからは「固定した人間関係に悩んでいる児童は必ずいるので、クラス替えができる規模になった効果はある」との意見や、「統合に際して運動会・学芸会の内容見直しを行うなど、新しい学校として進むための良い機会になった」という意見もありました。

●区民一般

回答対象者は区立小中学校の統合を経験した区民であり、限定されたことで回答者が6人と少ないですが、肯定的な回答が①は100%、②は50%、③は83.4%と在籍時を振り返っています。

児童生徒においては、「①新しい友達ができたと思う」に対し「そう思う」、「ややそう思う」の回答数が多く、統合が、新たな友人などの人間関係をつくるきっかけとなったことがわかります。また、「②運動会や校外活動がもっと楽しくなったか」や「③授業が楽しくなったか」も同様に肯定的回答が多数を占めることから、児童生徒は、統合をポジティブな出来事としてとらえていることがわかります。一方、保護者は児童生徒に比べ肯定的な回答が少なく、教員に至っては、「子ども同士のトラブルが増えた」という質問に対し、「そう思う」の回答が多いなど、人間関係をつくる機会が増えるなかでトラブルにもつながっていることを憂慮していることがうかがえます。

④ 学校運営に関する効果の視点

通学環境について

全区立小中学校を対象とした、「安心して通学できていますか」という設問に対しては、小学生、中学生、保護者、教員のすべてで80%以上が「そう思う」、「ややそう思う」と回答しています。（詳細はP10（1）データ等による検証結果③通学の安全対策について アンケート報告書⑤）

統合後の学校運営・指導方法等について

統合により教員集団も一定規模が確保されたことから、統合による学校運営・指導方法の変化について教員に聞きました。（アンケート報告書⑩）

良くなった点の選択肢として、

- ①新しい設備による指導方法の改善
- ②人間関係や児童生徒の特性などに配慮した学級編成のしやすさ
- ③多様な指導方法の展開
- ④校務や行事の負担軽減
- ⑤自己研鑽の時間の確保
- ⑥教員間の指導技術の継承
- ⑦様々な課題への組織的な対応
- ⑧免許外指導の教科の減少
- ⑨クラブ活動・部活動の指導者確保
- ⑩該当なし

悪くなった点の選択肢としては

- ①新しい設備による指導方法の改善
- ②人間関係や児童生徒の特性などに配慮した学級編成のしやすさ
- ④校務や行事の負担軽減
- ⑩該当なし
- ⑪個々の児童生徒に対するサポートへの難しさ
- ⑫職場の人間関係
- ⑬異なる学校の教育方針や文化を統一する調整の難しさ
- ⑭通学区域の広がりによる通学時の対応

について聞きました。

良かったことでは、「①新しい設備による指導方法の改善」について 38.2%の教員が感じています。「⑩該当なし」が35.3%で続き、「②人間関係や児童生徒の特性などに配慮し

た学級編成のしやすさ」「④校務や行事の負担軽減」を感じている回答が約 20%あります。その一方で、統合により悪くなったと感じている回答では、「⑪個々の児童生徒に対するサポートへの難しさ」に、50%以上の回答がありました。統合間もない統合新校は様々な業務があり教員の負担が大きいことは既に触れましたが、その影響もあってか、教員は、教育的効果の視点も含め、児童生徒などに比べると統合に対し肯定的にとらえる者が少ないことがわかります。

保護者や地域住民との関わりについて

保護者と区民に対して、学校との連携や関わりが強くなったかについて聞きました。保護者には、統合を通して活動がよくなったかを聞きました。(アンケート報告書⑨)

●保護者（小学生）

保護者の活動が「良くなった」と回答した保護者は9.5%、「やや良くなった」と回答した保護者が 14.5%となり、合計は 24.0%です。「あまり良くならなかった」が 15.6%で「良くならなかった」は 16.4%となりましたが、最も多い回答は「わからない」の 40.4%です。

●保護者（中学生）

保護者の活動が「良くなった」と回答した保護者は6.0%、「やや良くなった」と回答した保護者が 11.2%となり、合計は 17.2%と小学生の保護者よりも肯定的な回答が低くなりました。「あまり良くならなかった」が 18.8%で「良くならなかった」は 14.0%となりました。最も多い回答は小学生の保護者同様「わからない」で 46.4%でした。

●教員

全体として肯定的な回答が少なく、保護者との連携が強くなったことを「そう思う」と回答した教員は2.9%、「まあそう思う」の回答が8.8%で合計は11.7%と保護者よりも低い結果となりました。「あまりそう思わない」が最も多くて38.2%となり、「思わない」と「わからない」の回答が23.5%と同じ回答数になっています。

また、区民に対しても学校とのかかわりの変化を聞きました。

●区民一般

「良くなった」が15.0%、「やや良くなった」が11.9%で26.9%が肯定的に回答しています。「あまり良くならなかった」と「良くならなかった」の合計は31.0%で、「わからない」と回答した区民が35.2%と最も多い結果となりました。

保護者、教員、区民一般のすべてで肯定的な回答が少ない理由としては、統合間もない時期であったことや、ヒアリングから新型コロナウイルス感染予防が重なり、様々な活動

を自粛していたことの影響が強いという指摘がありました。今後、保護者や地域との連携関係を築くための取り組みを進めていく必要があります。

⑤ 学校施設に関する効果の視点

全区立小中学校を対象に、それぞれの場所の満足度を聞いた設問では、小学生（１～３年生）、小学生（４～６年生）、中学生は80%以上が教室・体育館・プール・トイレなどを「気に入っている」「まあまあ気に入っている」と回答しています。（アンケート報告書⑥）

また、統合経験者を対象に、新校舎になって学校の施設が良くなったかを聞いた設問では、保護者（小学生・中学生）、教員の約 80%が新校舎になって学校の環境が良くなったと感じています。特に、「ユニバーサルデザインが向上した」、「スペースに余裕ができた」、「施設全体の機能が向上した」、「学校にキッズ・プラザや学童クラブができた」、「靴を履き替えずに学校に入れるようになって良かった」という設問については多くの方が「そう思う」、「ややそう思う」と回答しています。（アンケート報告書⑫）

以上のことから、学校施設が新しくなり、多くの方が機能の向上を実感し、環境が良くなったととらえていることがわかります。

4. 再編後の課題

検証の結果、学校の再編により小規模校の解消、小中学校の通学区域の可能な限りの整合、学校施設の整備による学習環境の向上が図れたことが明らかになりました。また、アンケート調査も併せた検証の結果、再編が新たな友人関係ができる機会となっていることなどの教育効果、新しい設備による指導方法の改善などの学校運営に関する効果、ユニバーサルデザインなどによる施設全般における利便性の向上といった学校施設に関する効果も明らかとなりました。一方、再編を進める中で、以下のように新たに生じた課題もあり、今後、児童数の推移や区のまちづくりの進展などを正確に把握しつつ対応していく必要があります。

●大規模校の出現

統合によって望ましい規模を超えてしまった大規模化が出現しました。令和6年度現在、19学級以上の小学校が9校あり、このうち7校が統合新校です。これは、再編計画の時期に推計した児童生徒数の将来推計（2012～2022）が横ばいを見込んでいたにもかかわらず、実際には大規模マンションの新設などにより社会的流入で増加したこと、さらには計画の期間中に小学校の1学級の定員が35人に引き下げられたことなどが主な要因です。

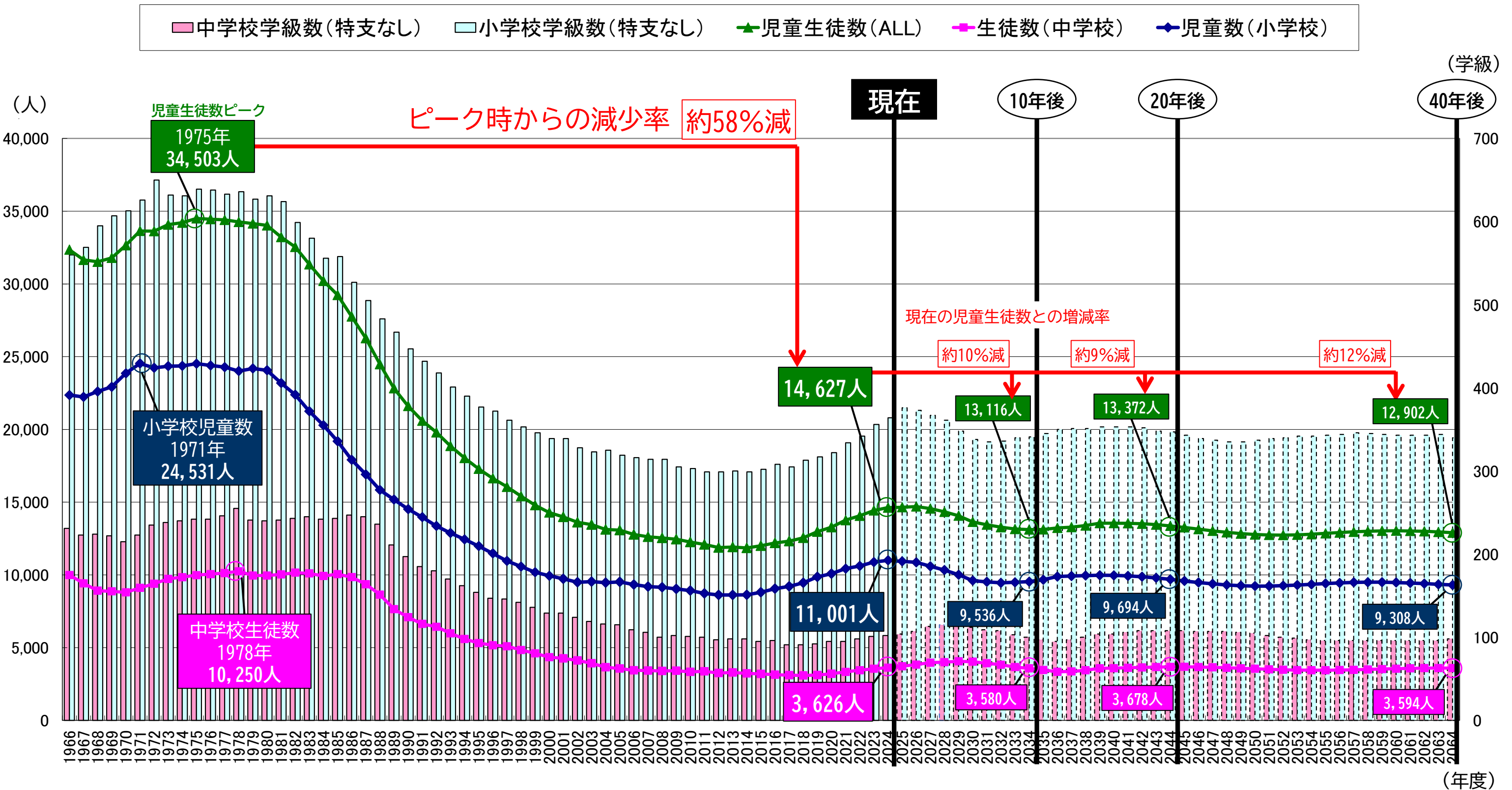
どの学校も過大規模化までには至っていないこと、将来推計では落ち着いていく学校もあることから、今後の推移を注視する必要があります。中長期的な将来推計では児童生徒数の横ばい状態が続くとなっていますが、これも上振れ、下振れに備える必要があります。

●通学路の長距離化

学校の統合によって通学区域が広がり、一部の児童生徒は自宅から学校までの通学路がより遠くなり、通学時間がより長くなりました。再編前の小学校と比べた場合、学校から最も遠いと考えられる場所は、距離にして最大800m、時間にして最大16分多くかかるようになりました。アンケートからは、「近い」「少し近い」と回答する児童が、新しい学校になるほど少なくなることが分かりますが、時間で見ると通学時間30分までの割合は既存校とあまり変わらない傾向が見えます。またアンケートからは、小学生・中学生・保護者・教職員のすべてが「安心して通学できる」に肯定的な回答を寄せています（「まあそう思う」を含む）。これは、通学路の見守り体制の充実などが影響していると考えられ、今後も通学路の安全対策として、ハード面の取組はもちろん、日々のソフト面の取組を継続していくことが必要といえます。

参考資料1 児童生徒数・学級数の推移

区全体の児童生徒数・学級数（普通学級）の推移と将来推計



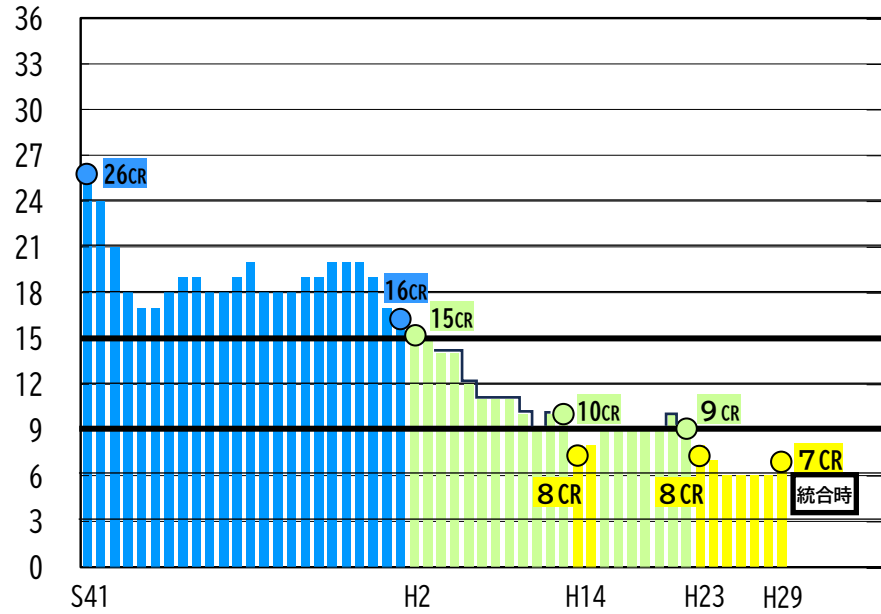
- 児童生徒数合計のピークは1975年度の34,503人、小学校は1971年度の24,531人、中学校は1978年度の10,250人となっている。
- 2024年度は14,627人でピーク時から約58%減少している。
- 今後は増加傾向で推移する見込みであり、今後10年間で約10%減少、20年間で約9%減少、40年間で約12%減少予測となっている。

①南側エリア 中野東中学校区

中学校

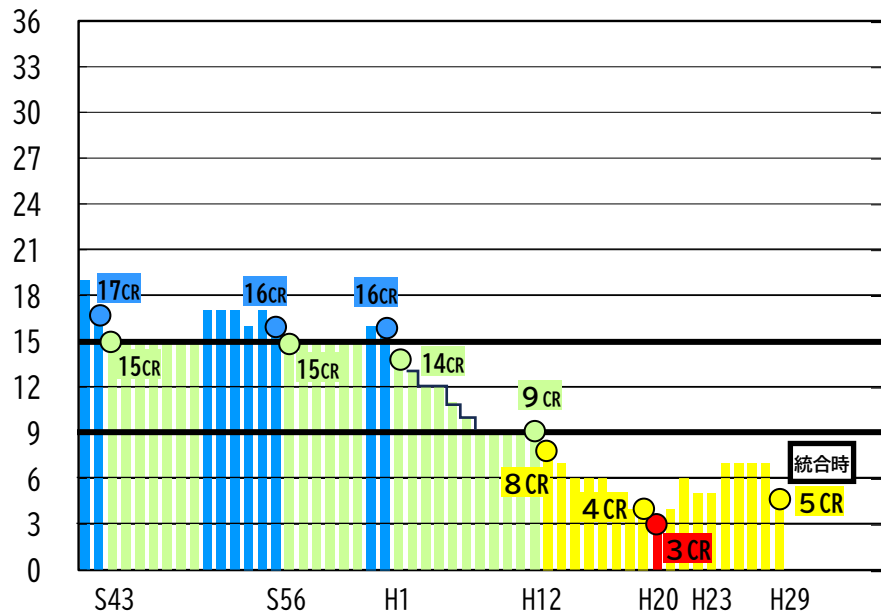
第三中学校

(学級数)



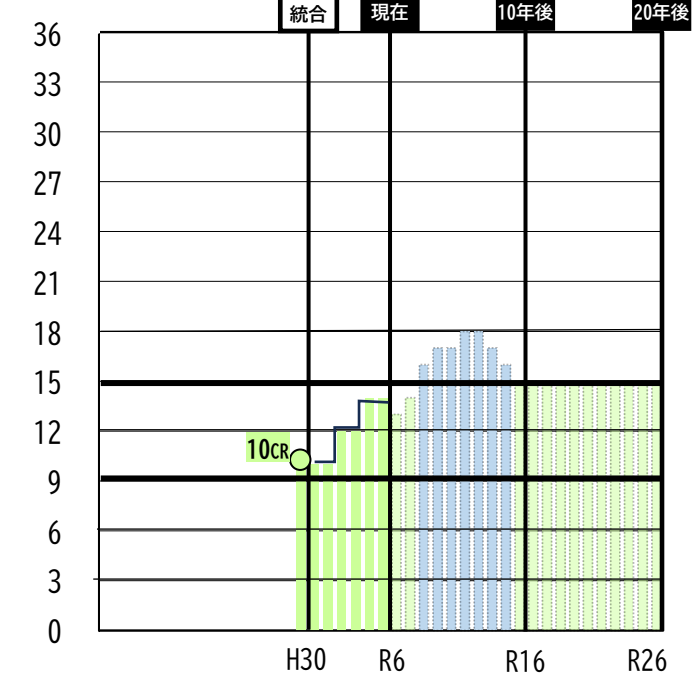
第十中学校

(学級数)



中野東中学校

(学級数)



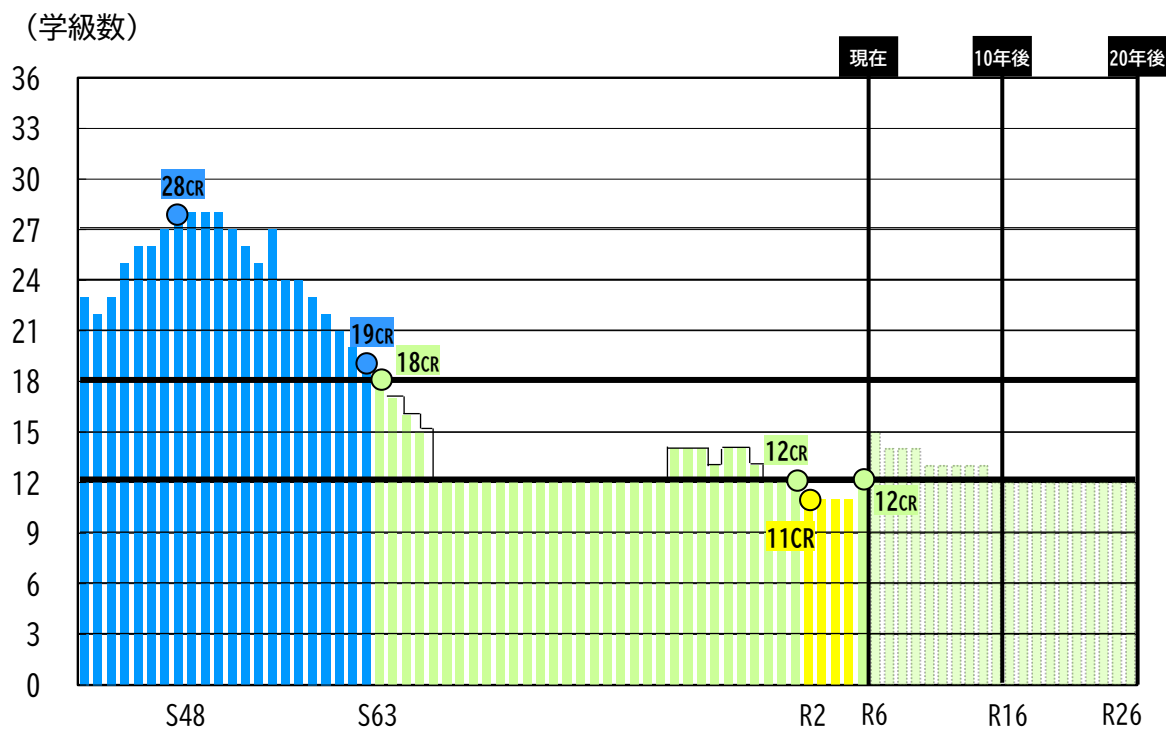
凡例

- 統合前の小・中学校
- 統合後の中学校
- 再編を行っていない学校
- 統合後の小学校
- 小学校：19学級以上
中学校：16学級以上 : 大規模化
- 小学校：12～18学級
中学校：9～15学級 : 望ましい規模
- 小学校：11学級以下
中学校：8学級以下 : 小規模化
- 小学校：6学級以下
中学校：3学級以下 : 過小規模化

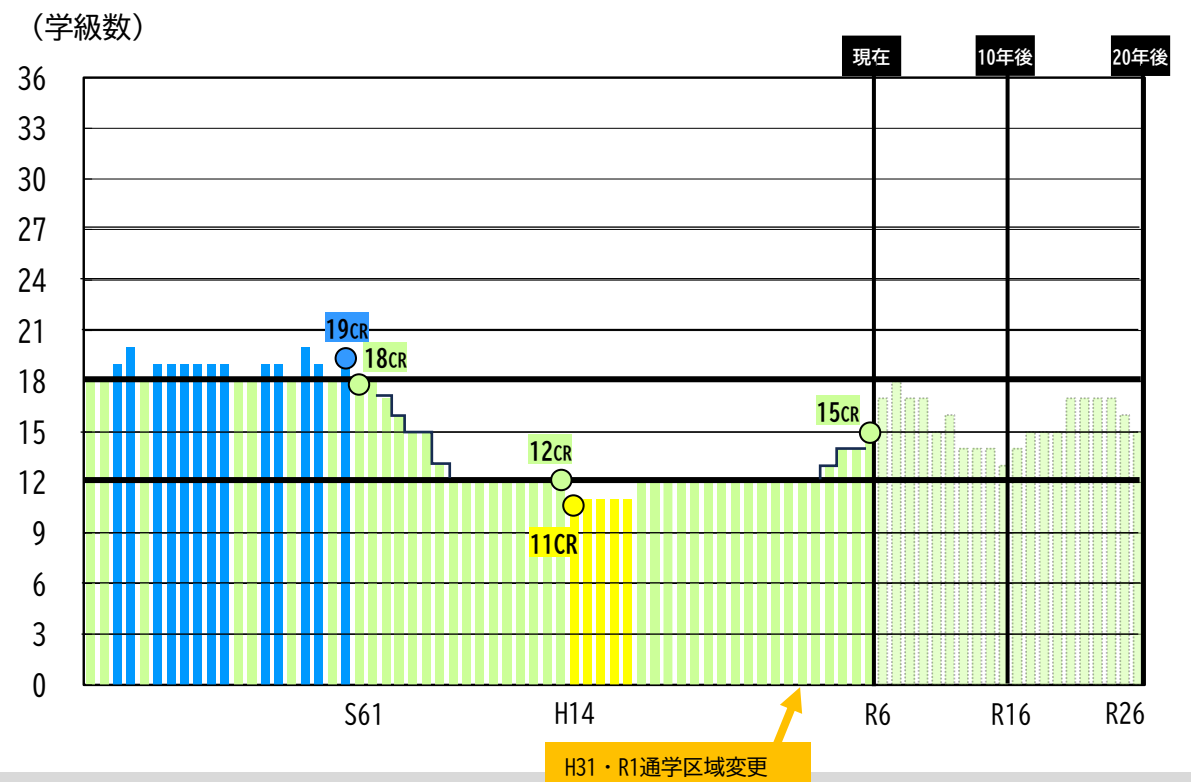
①南側エリア 中野東中学校区

小学校

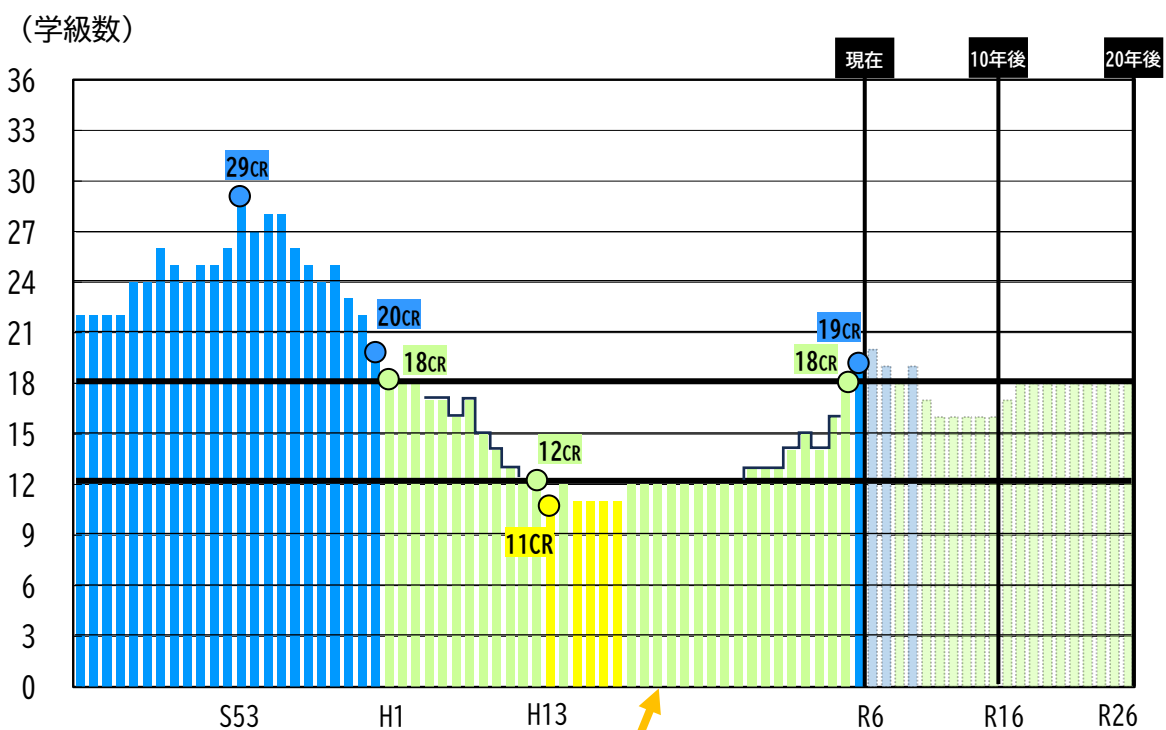
桃園第二小学校



谷戸小学校



塔山小学校



凡例

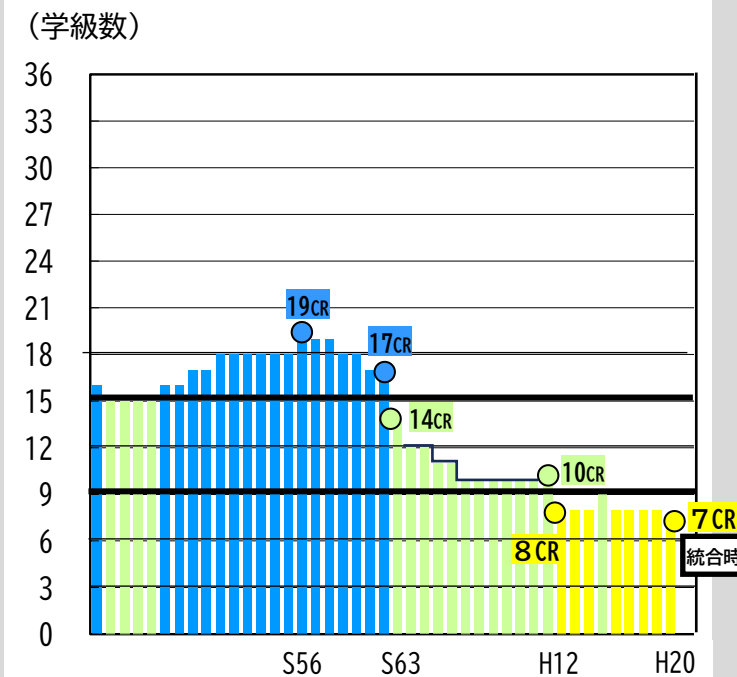
- | | | |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 統合前の小・中学校 統合後の中学校 再編を行っていない学校 統合後の小学校 | <ul style="list-style-type: none"> 小学校：19学級以上
中学校：16学級以上 小学校：12～18学級
中学校：9～15学級 小学校：11学級以下
中学校：8学級以下 小学校：6学級以下
中学校：3学級以下 | <ul style="list-style-type: none"> 大規模化 望ましい規模 小規模化 過小規模化 |
|--|--|---|

②北側エリア

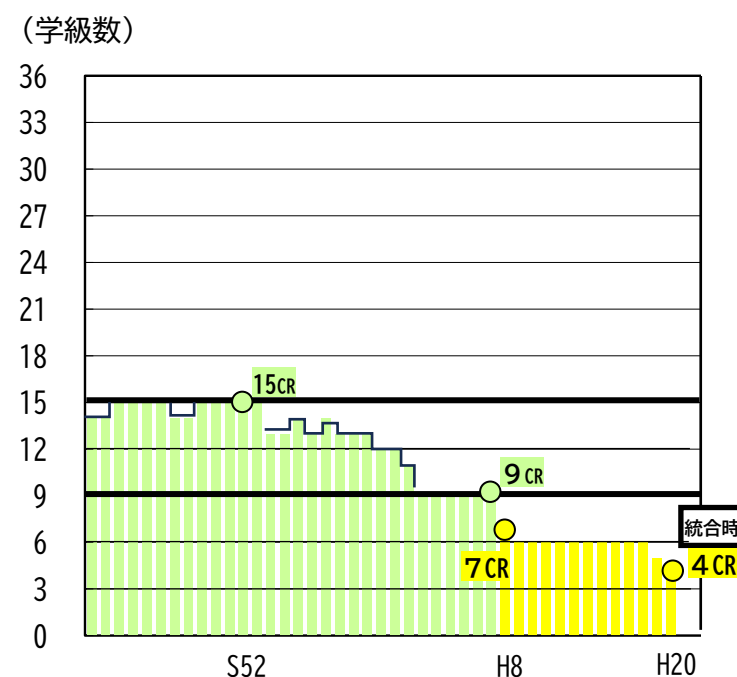
①南側エリア 南中野中学校区

中学校

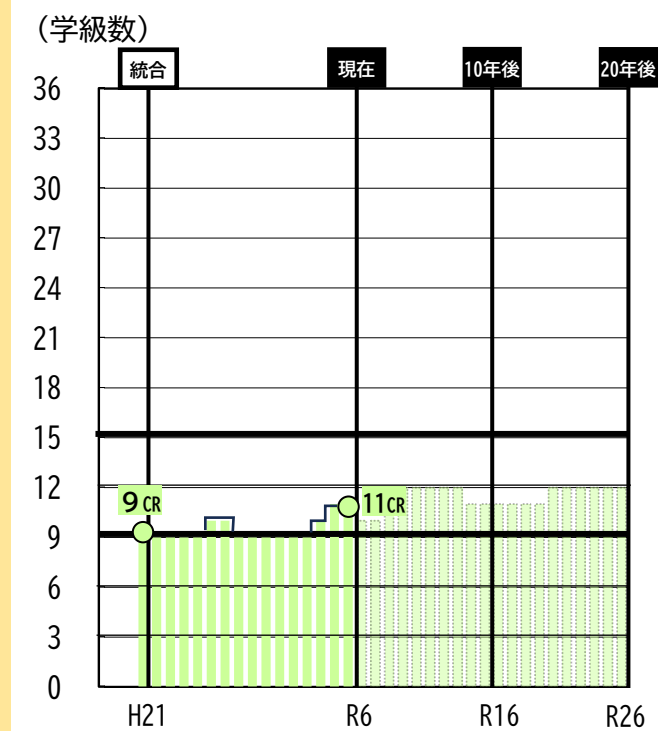
第一中学校



中野富士見中学校



南中野中学校



凡例

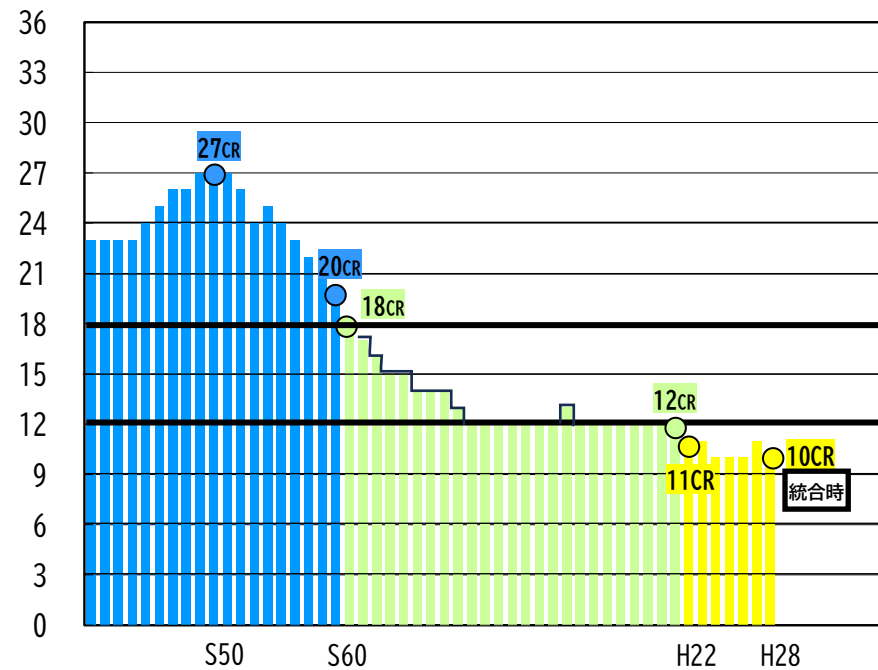
- : 統合前の小・中学校
- : 統合後の中学校
- : 再編を行っていない学校
- : 統合後の小学校
- : 小学校：19学級以上
中学校：16学級以上 : 大規模化
- : 小学校：12～18学級
中学校：9～15学級 : 望ましい規模
- : 小学校：11学級以下
中学校：8学級以下 : 小規模化
- : 小学校：6学級以下
中学校：3学級以下 : 過小規模化

①南側エリア 南中野中学校区

小学校

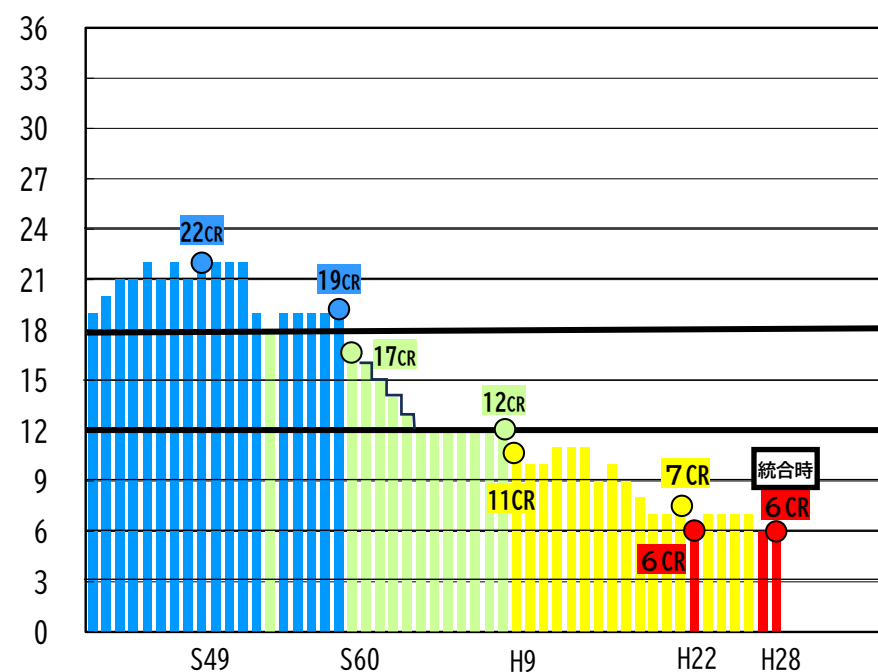
多田小学校

(学級数)



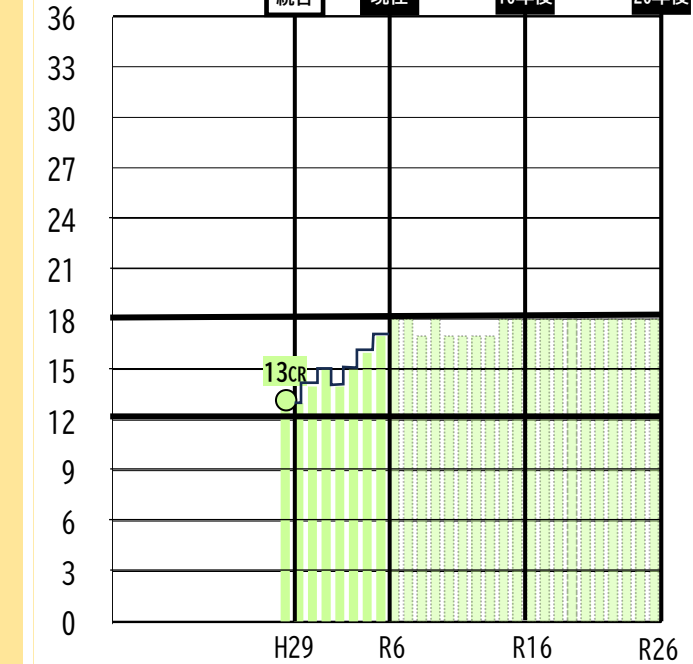
新山小学校

(学級数)



南台小学校

(学級数)



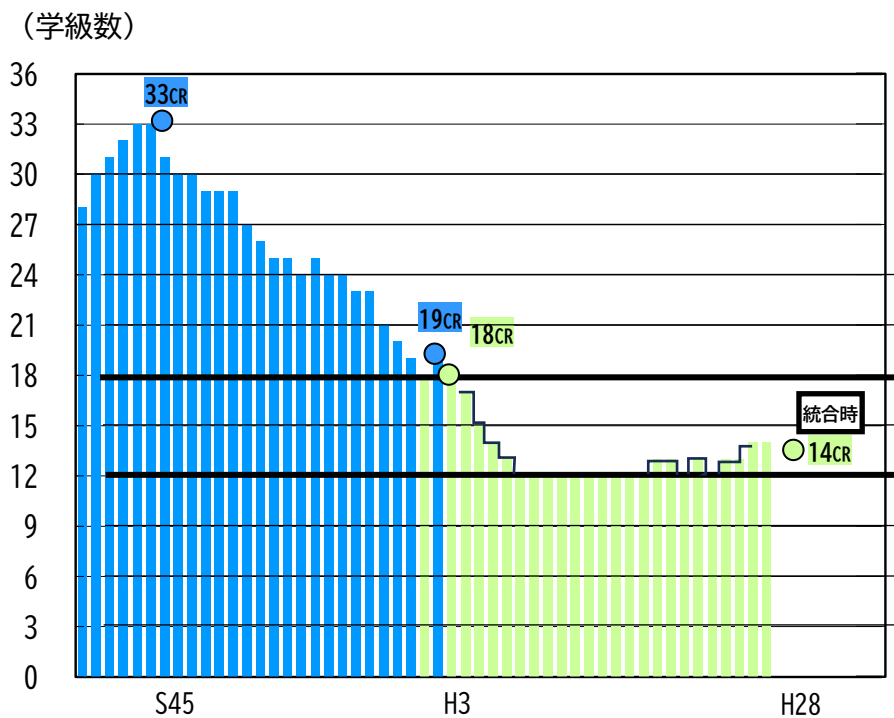
凡例

- : 統合前の小・中学校
- : 統合後の中学校
- : 再編を行っていない学校
- : 統合後の小学校
- 小学校: 19学級以上
中学校: 16学級以上 : 大規模化
- 小学校: 12~18学級
中学校: 9~15学級 : 望ましい規模
- 小学校: 11学級以下
中学校: 8学級以下 : 小規模化
- 小学校: 6学級以下
中学校: 3学級以下 : 過小規模化

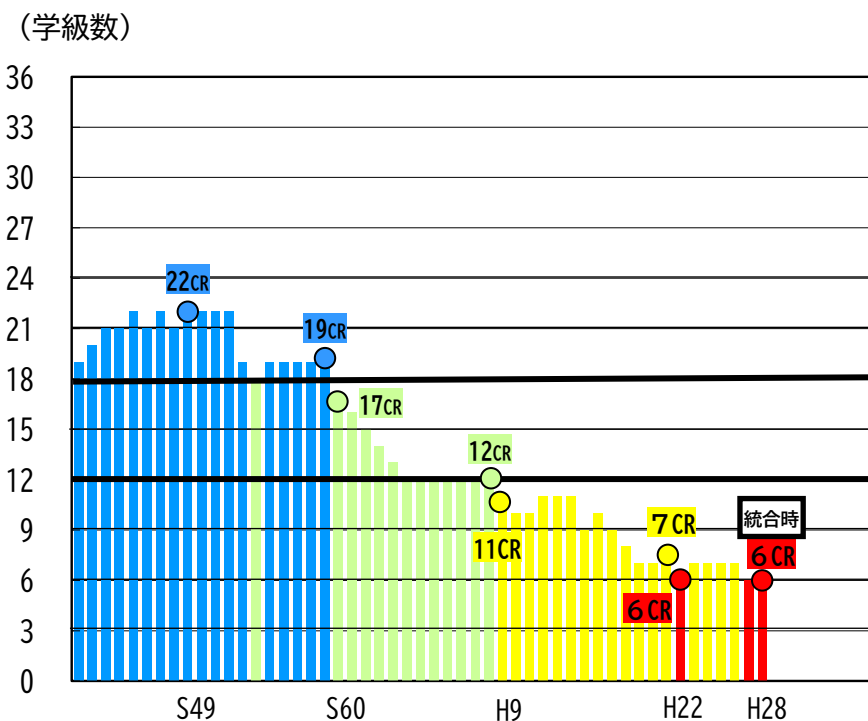
①南側エリア 南中野中学校区

小学校

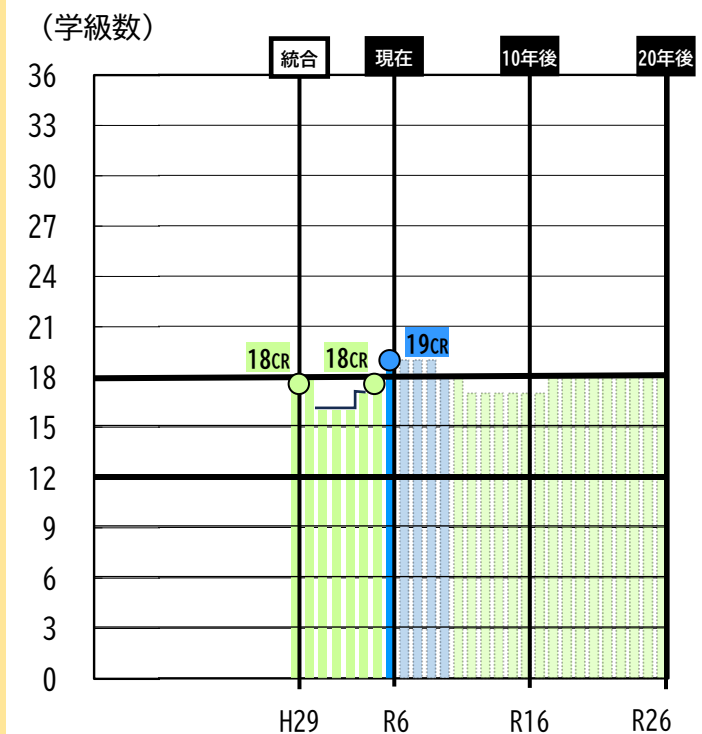
中野神明小学校



新山小学校



みなみの小学校



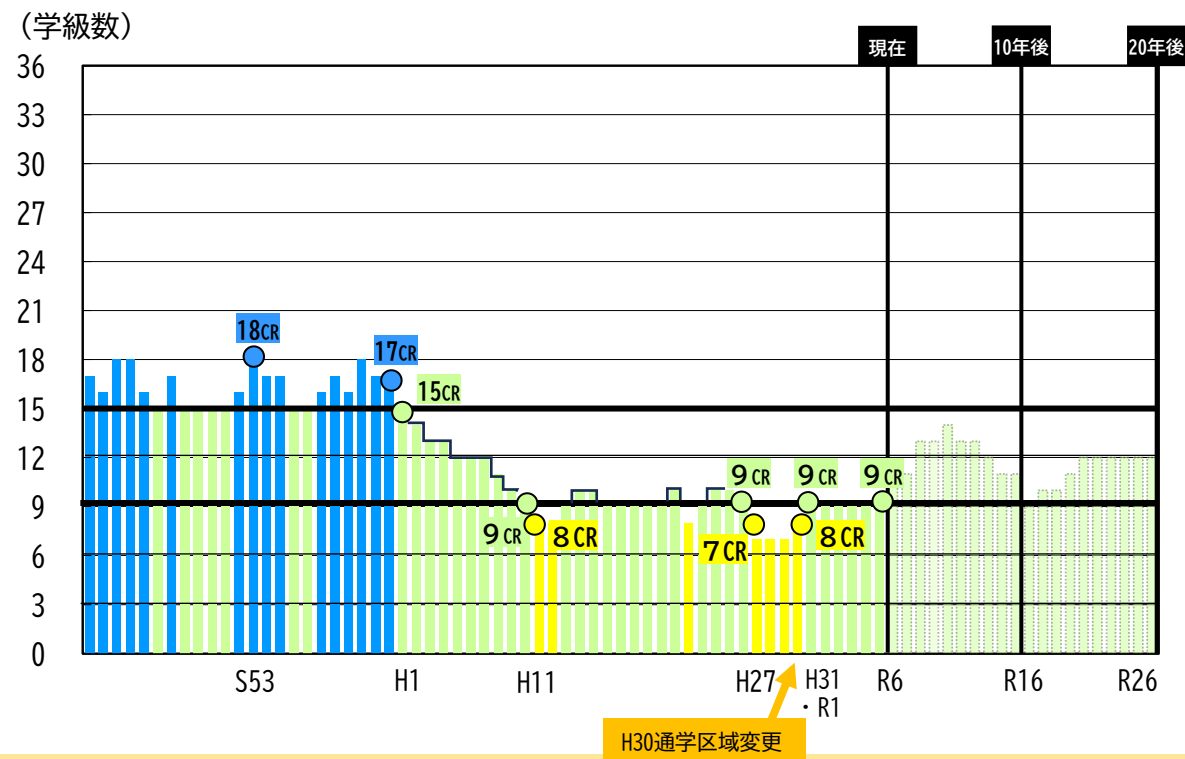
凡例

- 統合前の小・中学校
- 統合後の中学校
- 再編を行っていない学校
- 統合後の小学校
- 小学校：19学級以上
中学校：16学級以上 : 大規模化
- 小学校：12～18学級
中学校：9～15学級 : 望ましい規模
- 小学校：11学級以下
中学校：8学級以下 : 小規模化
- 小学校：6学級以下
中学校：3学級以下 : 過小規模化

①南側エリア 第二中学校区

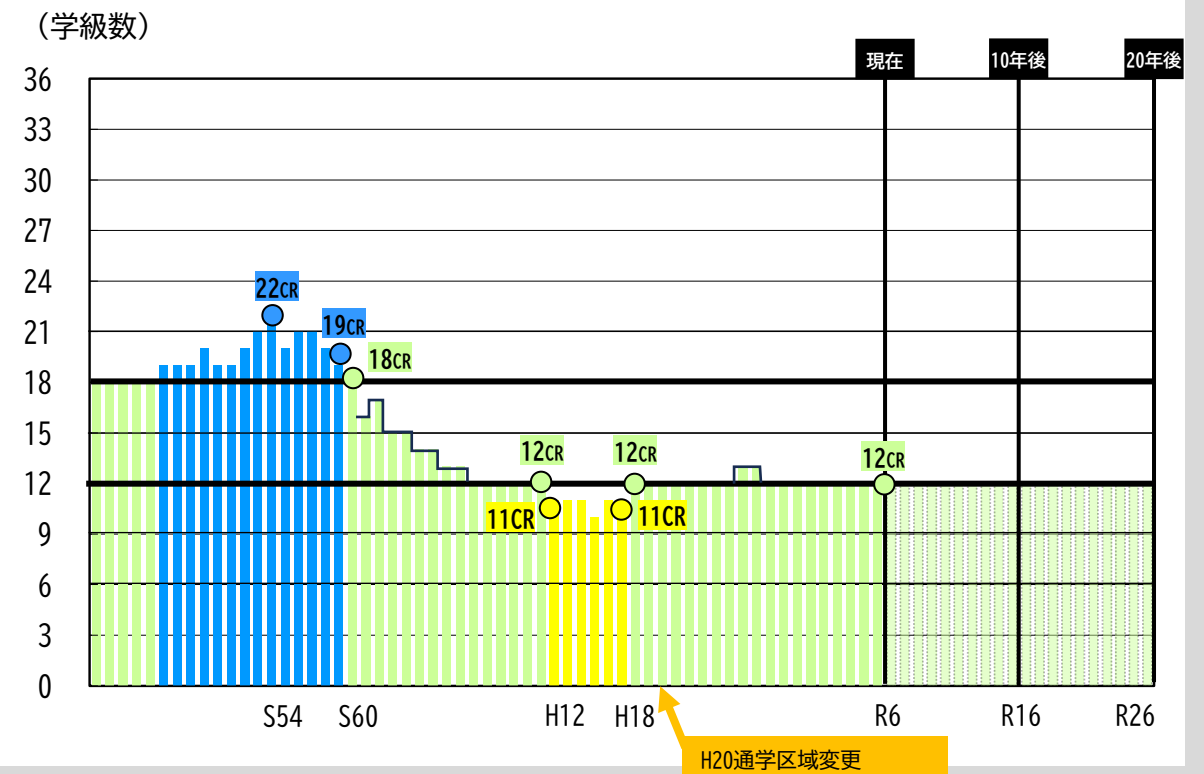
中学校

第二中学校



小学校

中野本郷小学校



凡例

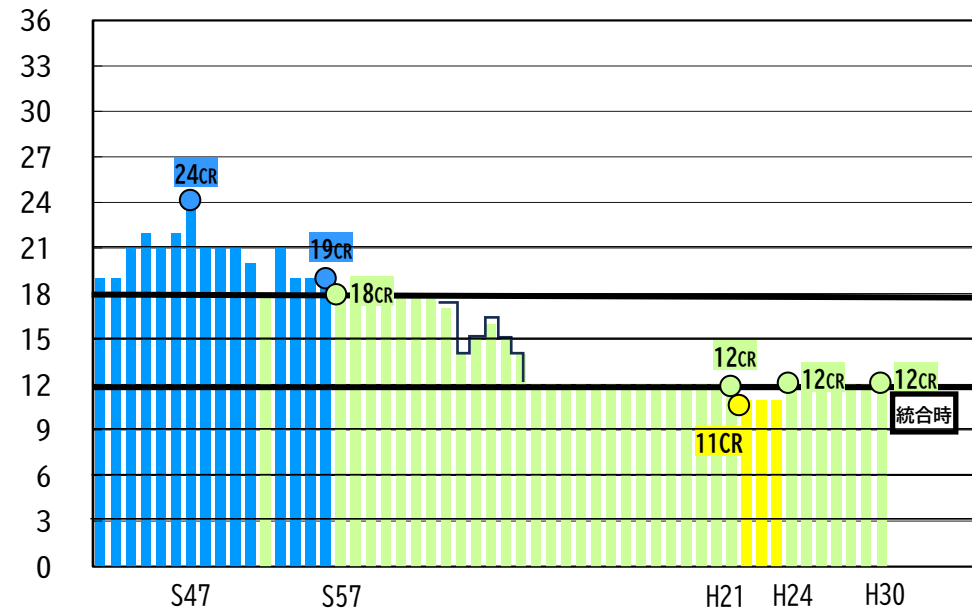
- | | |
|-----------------|--|
| ■ : 統合前の小・中学校 | ● 小学校 : 19学級以上
中学校 : 16学級以上 : 大規模化 |
| ■ : 統合後の中学校 | ● 小学校 : 12~18学級
中学校 : 9~15学級 : 望ましい規模 |
| ■ : 再編を行っていない学校 | ● 小学校 : 11学級以下
中学校 : 8学級以下 : 小規模化 |
| ■ : 統合後の小学校 | ● 小学校 : 6学級以下
中学校 : 3学級以下 : 過小規模化 |

①南側エリア 第二中学校区

小学校

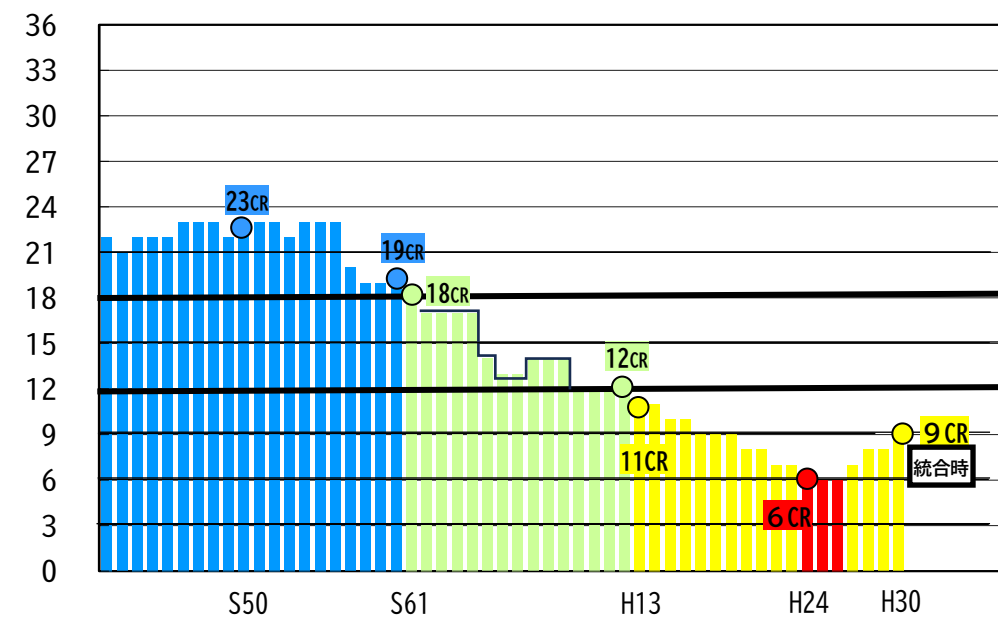
桃園小学校

(学級数)



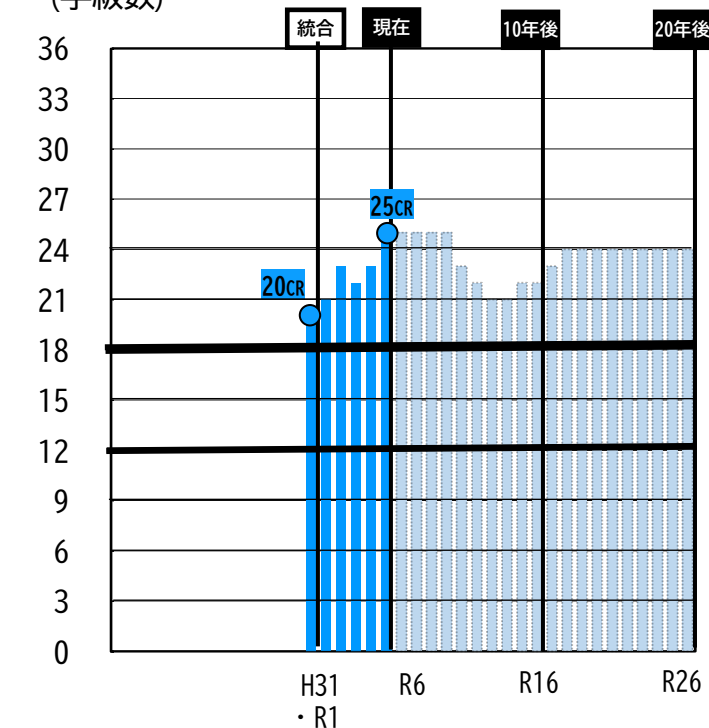
向台小学校

(学級数)



中野第一小学校

(学級数)



凡例

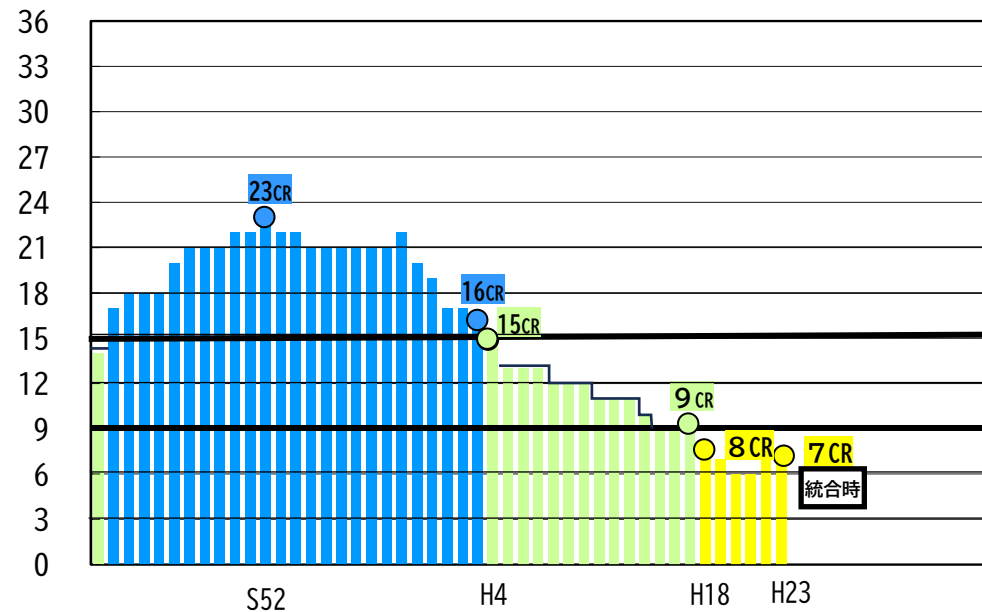
- : 統合前の小・中学校
- : 統合後の中学校
- : 再編を行っていない学校
- : 統合後の小学校
- : 小学校: 19学級以上
中学校: 16学級以上 : 大規模化
- : 小学校: 12~18学級
中学校: 9~15学級 : 望ましい規模
- : 小学校: 11学級以下
中学校: 8学級以下 : 小規模化
- : 小学校: 6学級以下
中学校: 3学級以下 : 過小規模化

②北側エリア 中野中学校区

中学校

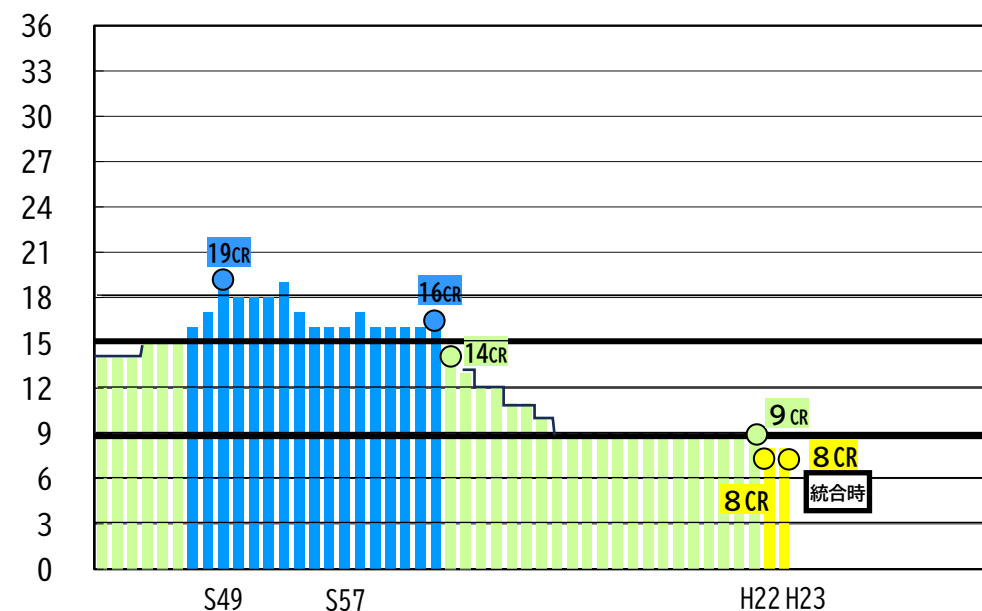
第九中学校

(学級数)



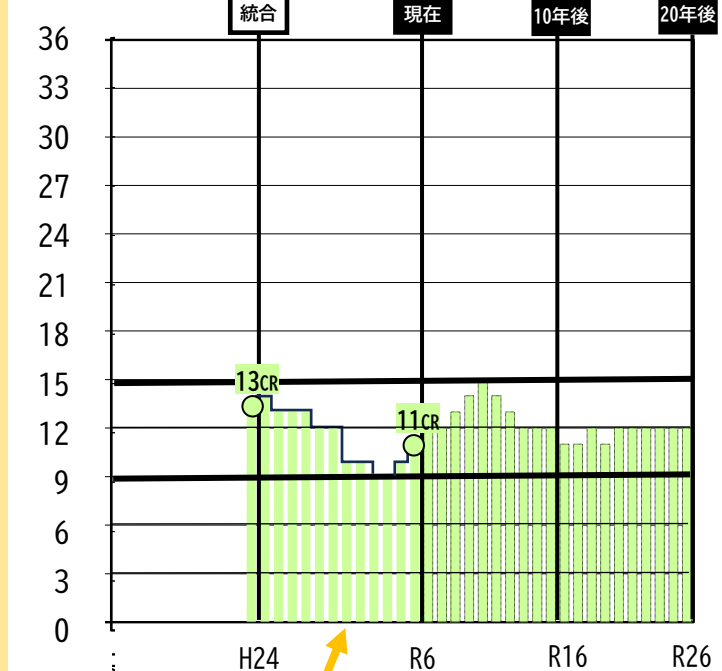
中央中学校

(学級数)



中野中学校

(学級数)



H31・R1通学区域変更

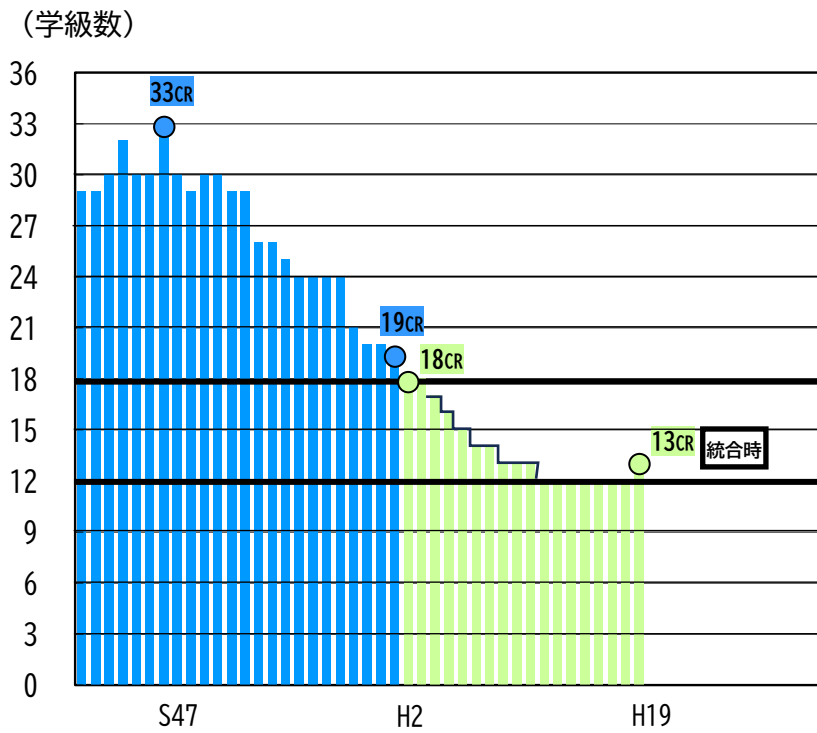
凡例

- 統合前の小・中学校
- 統合後の中学校
- 再編を行っていない学校
- 統合後の小学校
- 小学校：19学級以上
中学校：16学級以上 : 大規模化
- 小学校：12～18学級
中学校：9～15学級 : 望ましい規模
- 小学校：11学級以下
中学校：8学級以下 : 小規模化
- 小学校：6学級以下
中学校：3学級以下 : 過小規模化

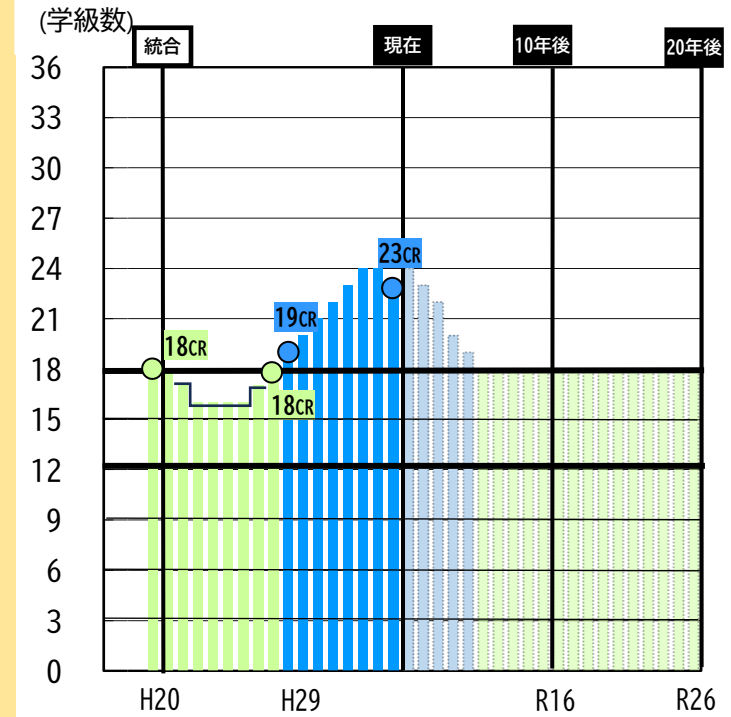
②北側エリア 中野中学校区

小学校

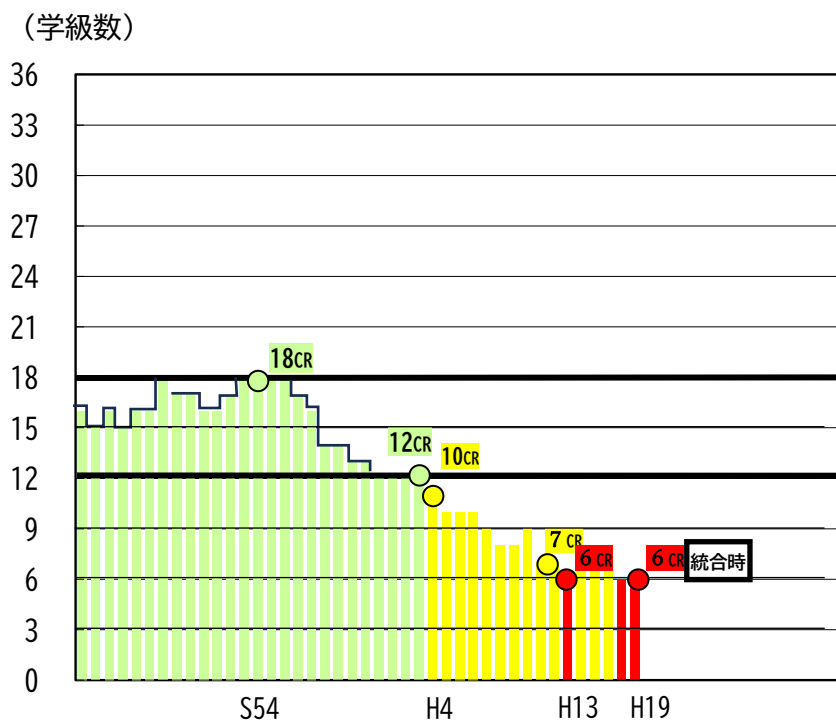
桃園第三小学校



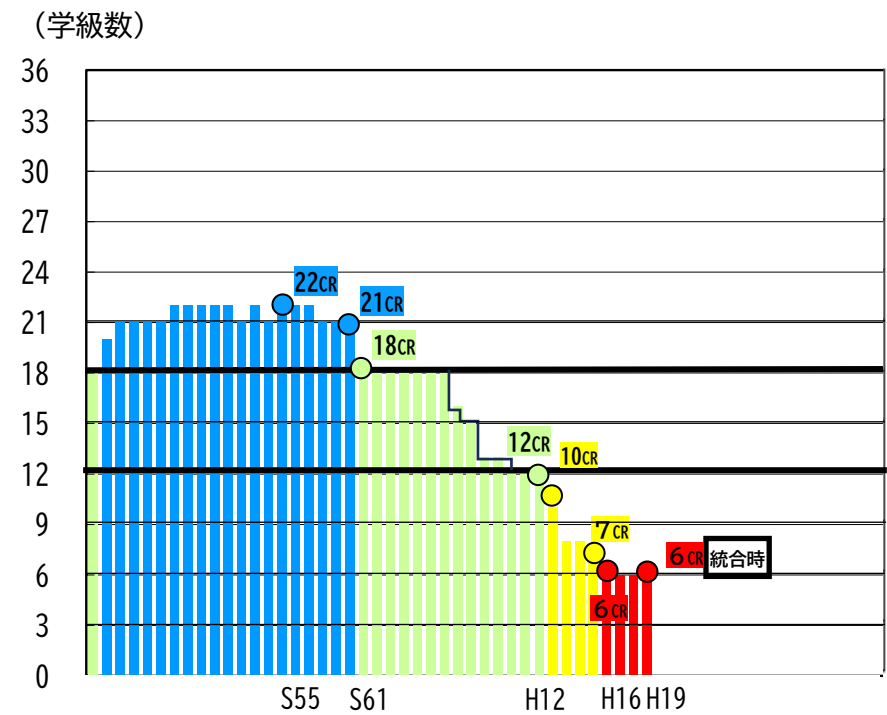
桃花小学校



仲町小学校



桃丘小学校

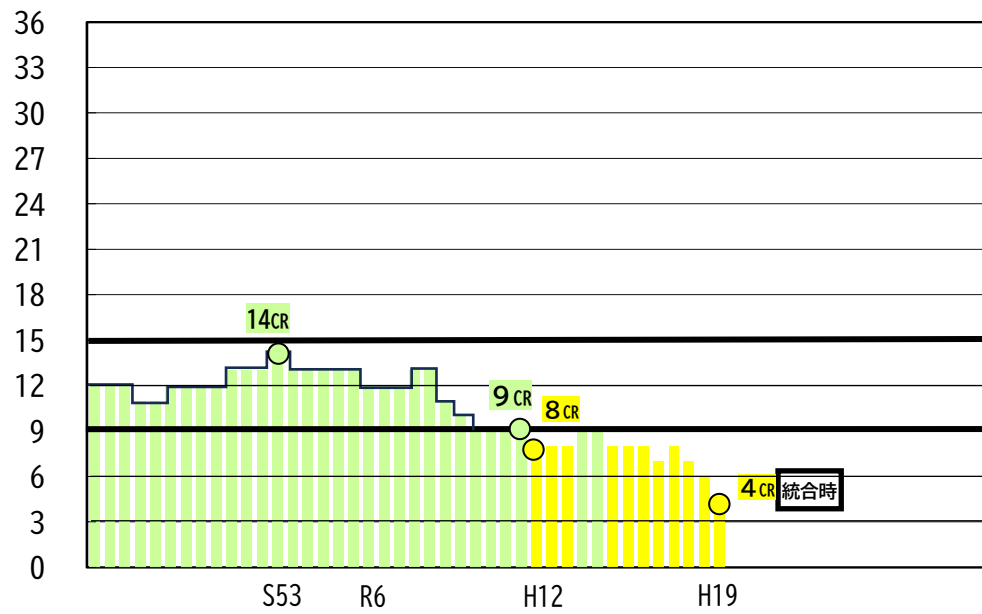


②北側エリア 緑野中学校区

中学校

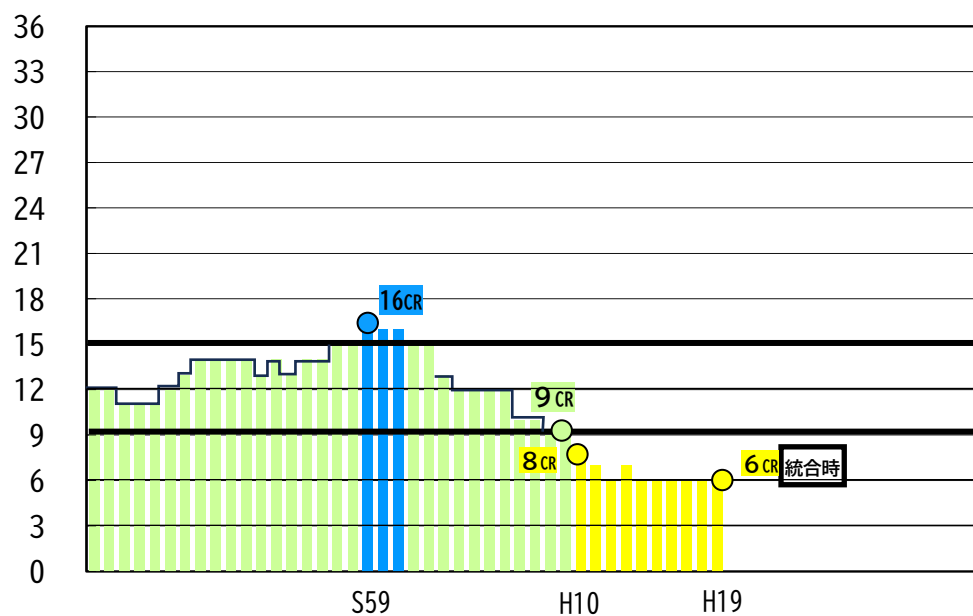
第六中学校

(学級数)



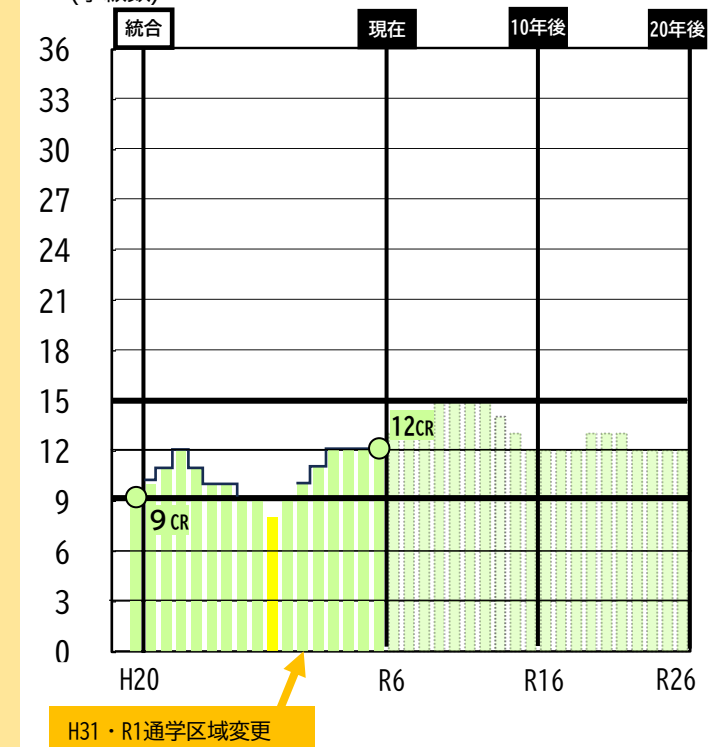
第十一中学校

(学級数)



緑野中学校

(学級数)



凡例

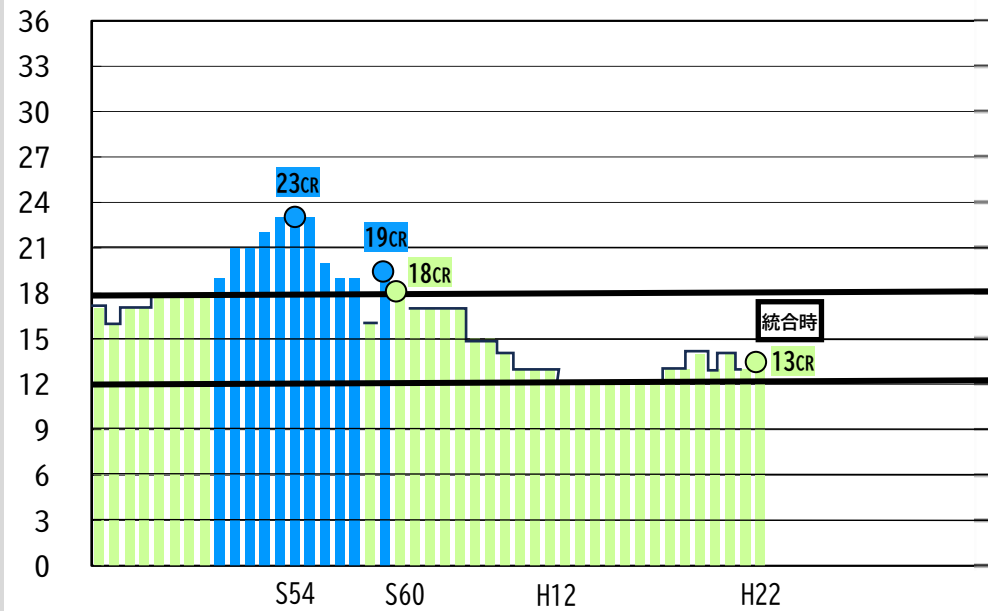
- | | |
|-----------------|--------------------------------------|
| ■ : 統合前の小・中学校 | ● 小学校：19学級以上
中学校：16学級以上 : 大規模化 |
| ■ : 統合後の中学校 | ● 小学校：12～18学級
中学校：9～15学級 : 望ましい規模 |
| ■ : 再編を行っていない学校 | ● 小学校：11学級以下
中学校：8学級以下 : 小規模化 |
| ■ : 統合後の小学校 | ● 小学校：6学級以下
中学校：3学級以下 : 過小規模化 |

②北側エリア 緑野中学校区

小学校

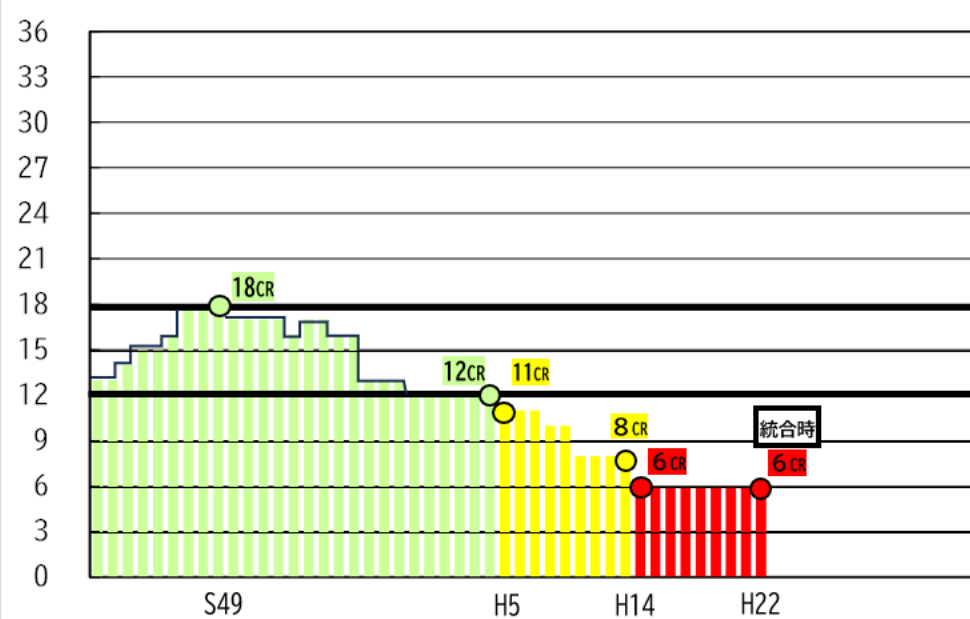
丸山小学校

(学級数)



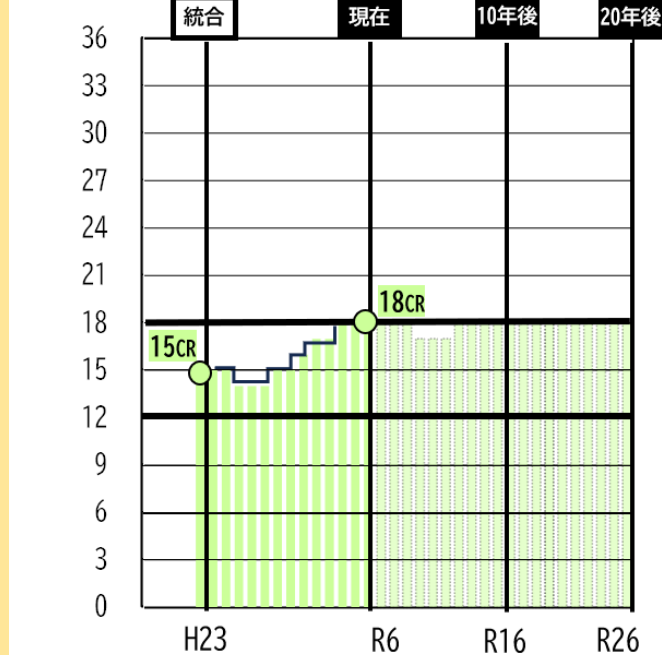
沼袋小学校

(学級数)



緑野小学校

(学級数)



凡例

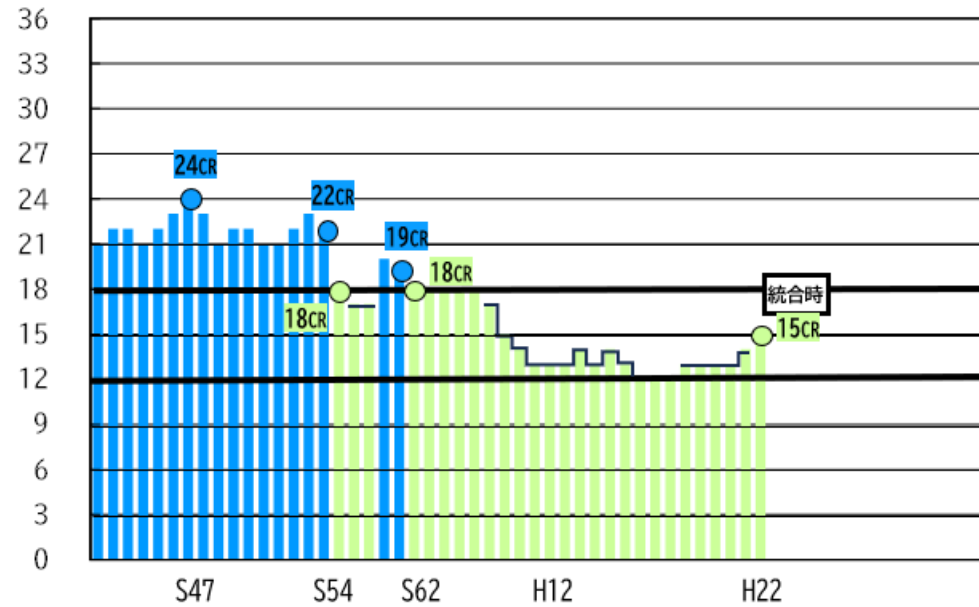
- | | |
|-----------------|--------------------------------------|
| ■ : 統合前の小・中学校 | ● 小学校：19学級以上
中学校：16学級以上 : 大規模化 |
| ■ : 統合後の中学校 | ● 小学校：12～18学級
中学校：9～15学級 : 望ましい規模 |
| ■ : 再編を行っていない学校 | ● 小学校：11学級以下
中学校：8学級以下 : 小規模化 |
| ■ : 統合後の小学校 | ● 小学校：6学級以下
中学校：3学級以下 : 過小規模化 |

②北側エリア 緑野中学校区

小学校

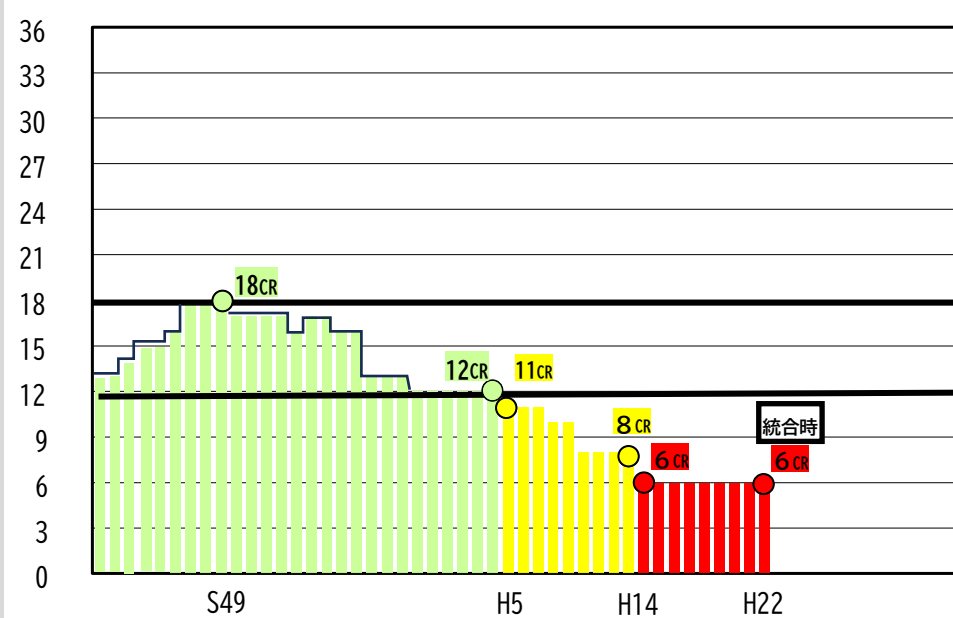
野方小学校

(学級数)



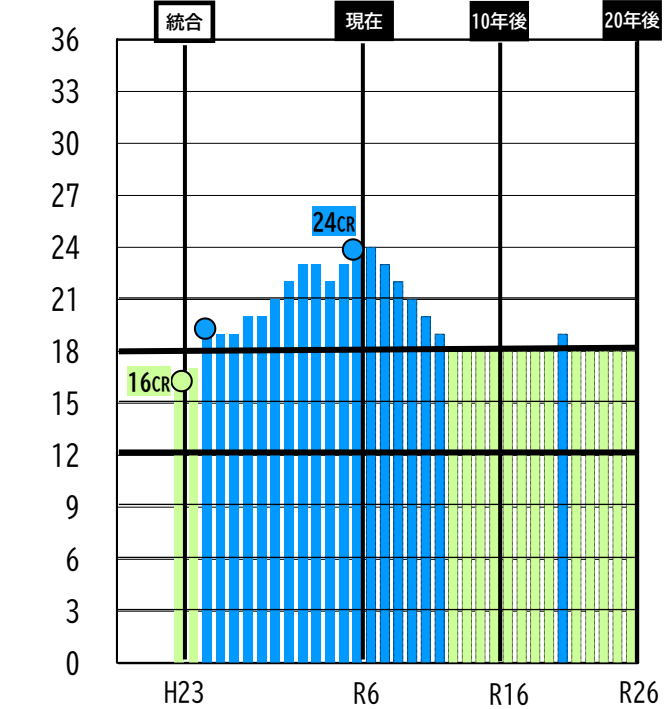
沼袋小学校

(学級数)



平和の森小学校

(学級数)

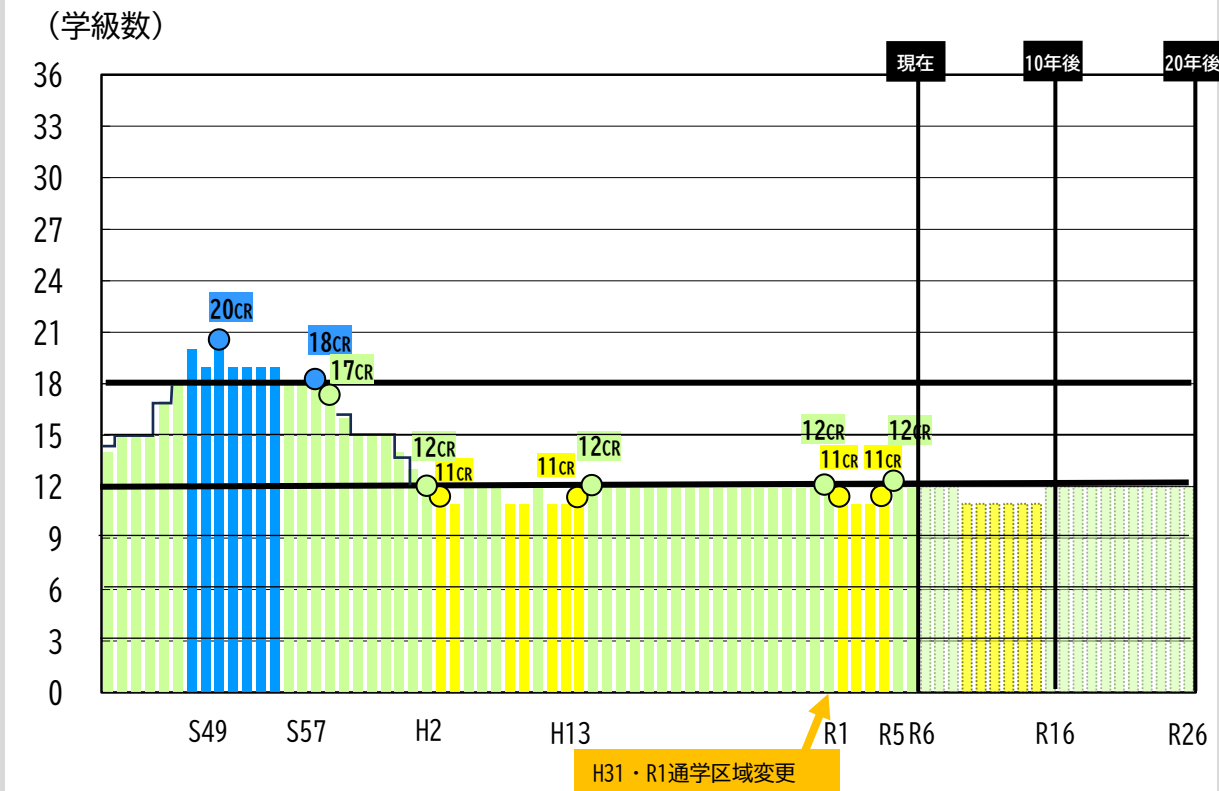


凡例

- : 統合前の小・中学校
- : 統合後の中学校
- : 再編を行っていない学校
- : 統合後の小学校
- : 小学校: 19学級以上
中学校: 16学級以上 : 大規模化
- : 小学校: 12~18学級
中学校: 9~15学級 : 望ましい規模
- : 小学校: 11学級以下
中学校: 8学級以下 : 小規模化
- : 小学校: 6学級以下
中学校: 3学級以下 : 過小規模化

小学校

北原小学校

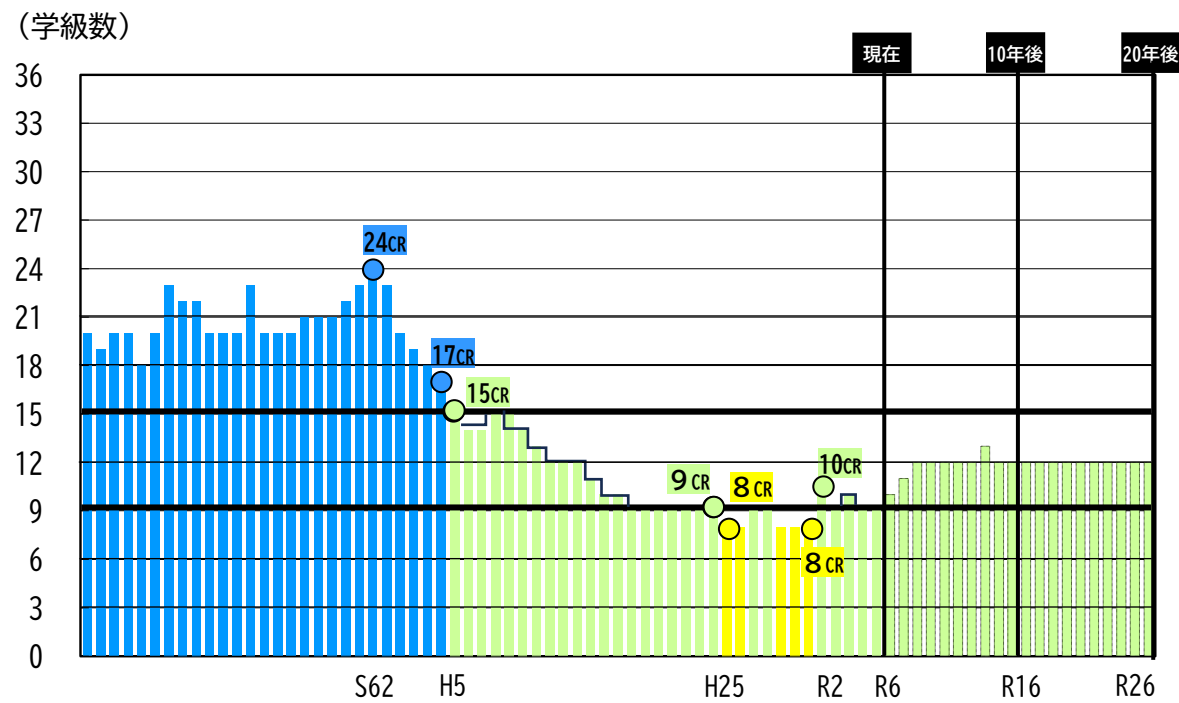


凡例

- | | |
|-----------------|--------------------------------------|
| ■ : 統合前の小・中学校 | ● 小学校：19学級以上
中学校：16学級以上 : 大規模化 |
| ■ : 統合後の中学校 | ● 小学校：12～18学級
中学校：9～15学級 : 望ましい規模 |
| ■ : 再編を行っていない学校 | ● 小学校：11学級以下
中学校：8学級以下 : 小規模化 |
| ■ : 統合後の小学校 | ● 小学校：6学級以下
中学校：3学級以下 : 過小規模化 |

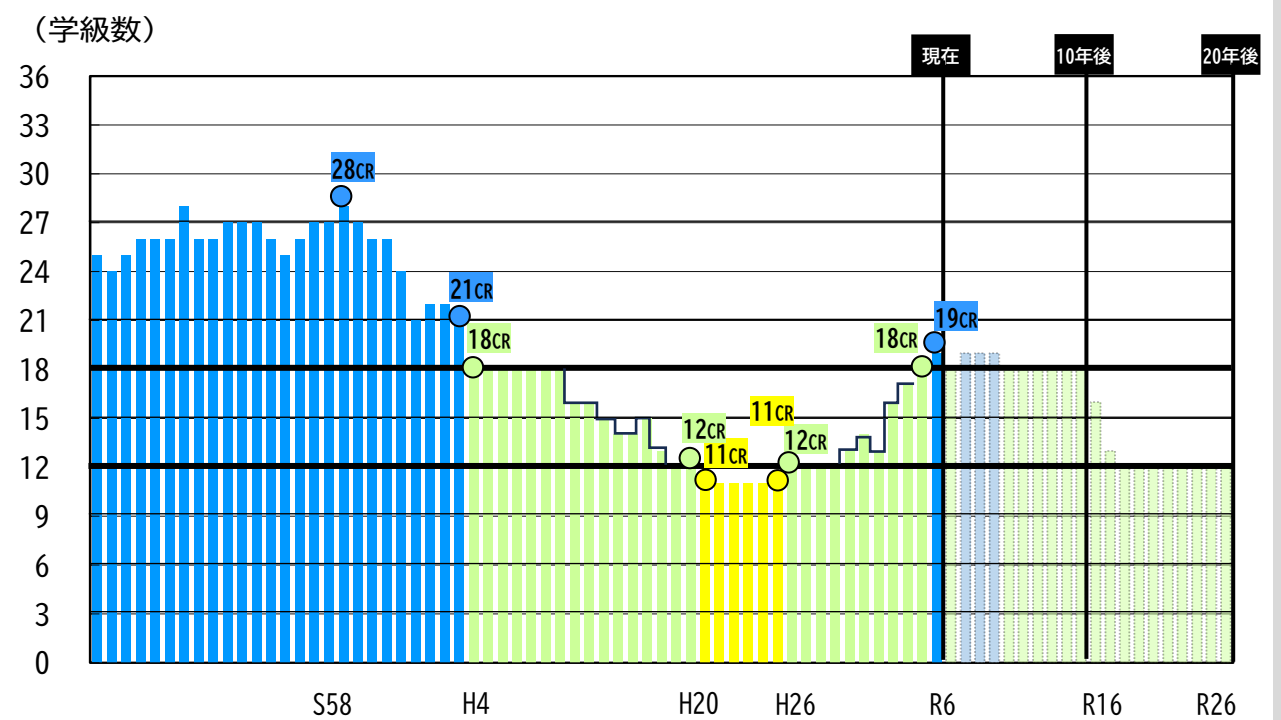
中学校

第七中学校

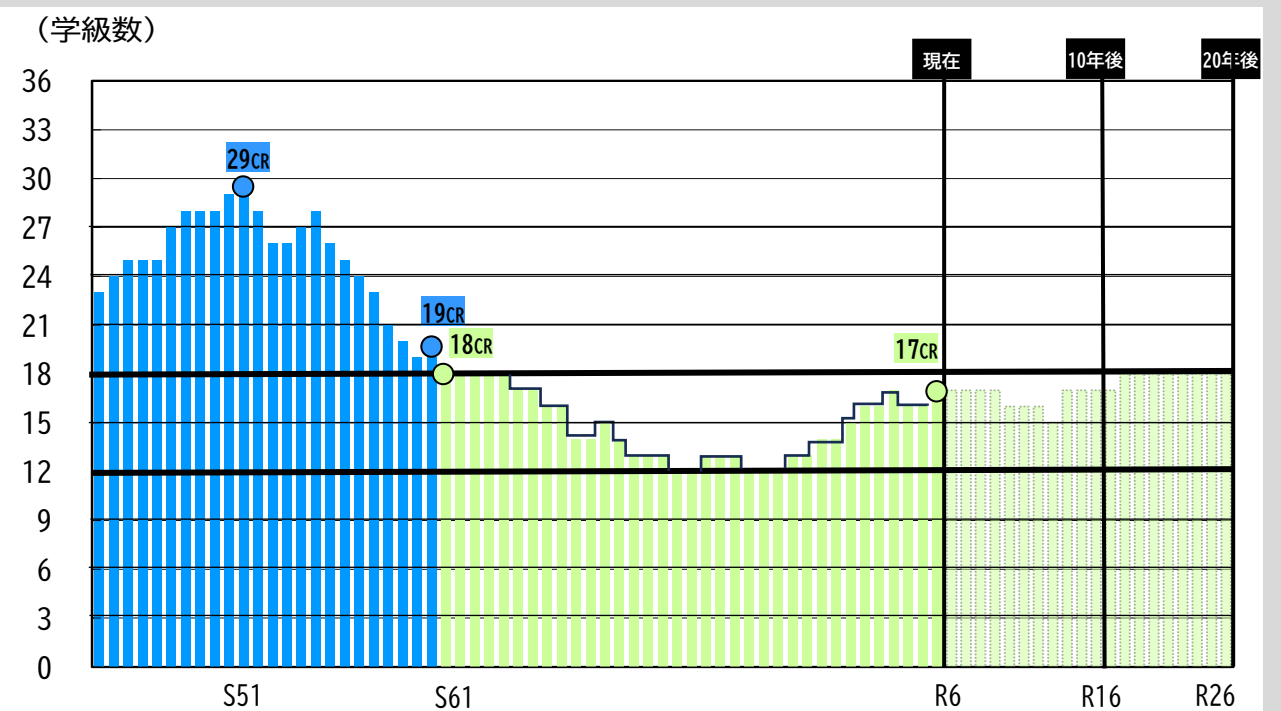


小学校

江古田小学校



江原小学校

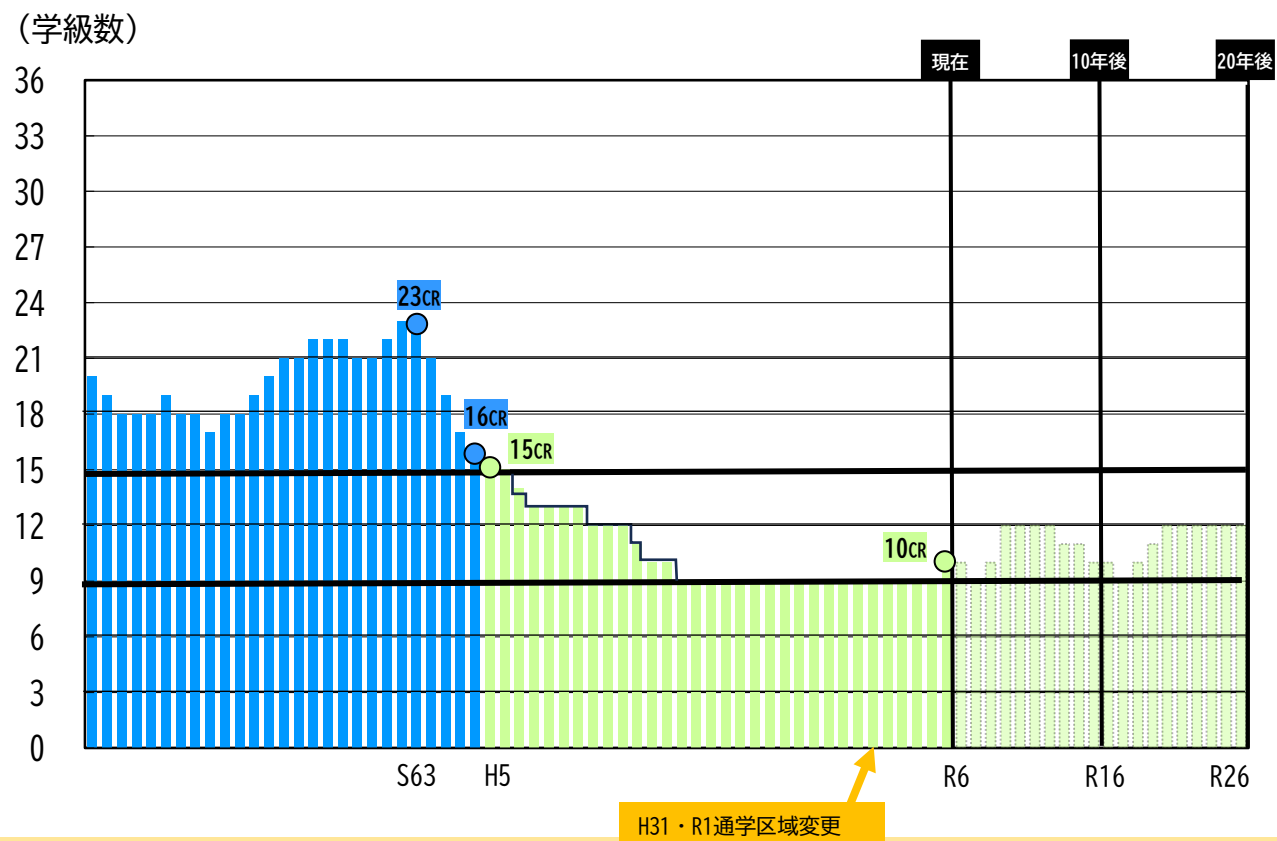


凡例

- | | |
|-----------------|--------------------------------------|
| ■ : 統合前の小・中学校 | ● 小学校：19学級以上
中学校：16学級以上 : 大規模化 |
| ■ : 統合後の中学校 | ● 小学校：12～18学級
中学校：9～15学級 : 望ましい規模 |
| ■ : 再編を行っていない学校 | ● 小学校：11学級以下
中学校：8学級以下 : 小規模化 |
| ■ : 統合後の小学校 | ● 小学校：6学級以下
中学校：3学級以下 : 過小規模化 |

中学校

第五中学校



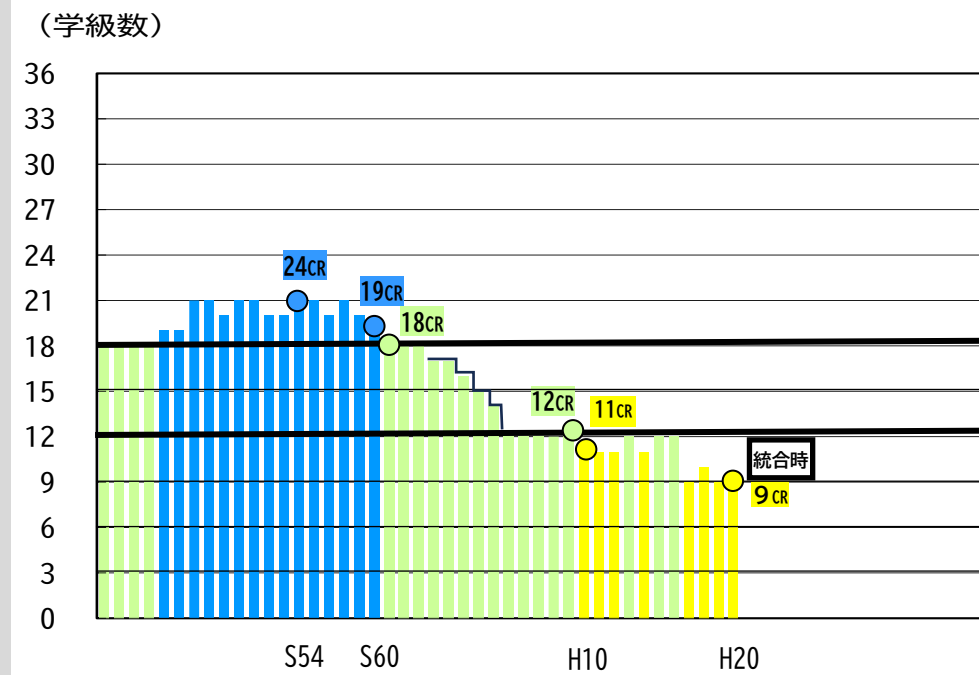
凡例

- | | |
|---------------|------------------------------------|
| : 統合前の小・中学校 | 小学校：19学級以上
中学校：16学級以上 : 大規模化 |
| : 統合後の中学校 | 小学校：12～18学級
中学校：9～15学級 : 望ましい規模 |
| : 再編を行っていない学校 | 小学校：11学級以下
中学校：8学級以下 : 小規模化 |
| : 統合後の小学校 | 小学校：6学級以下
中学校：3学級以下 : 過小規模化 |

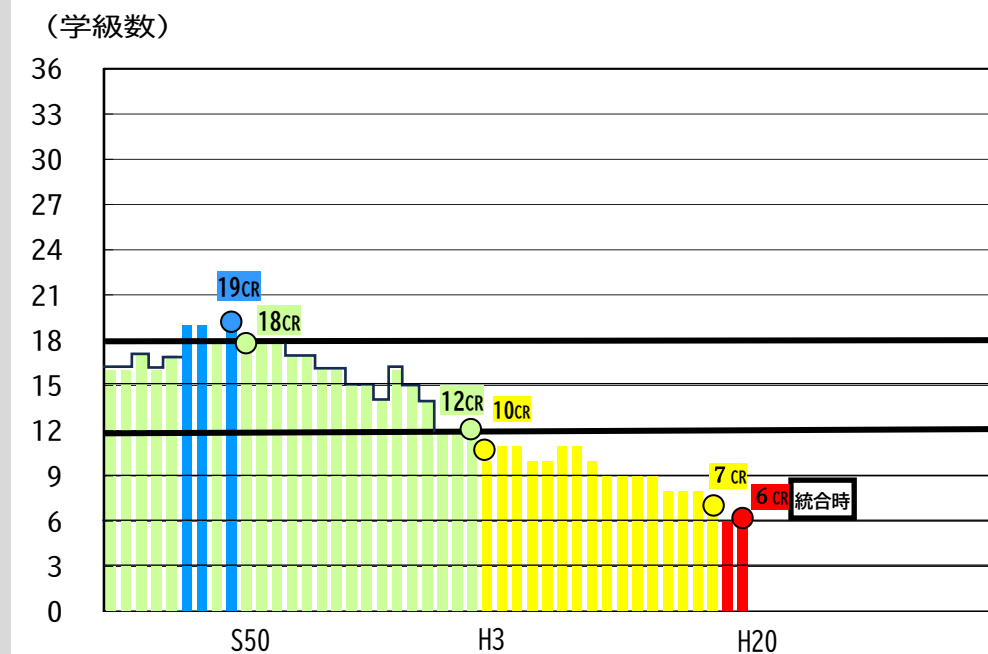
②北側エリア 第五中学校区

小学校

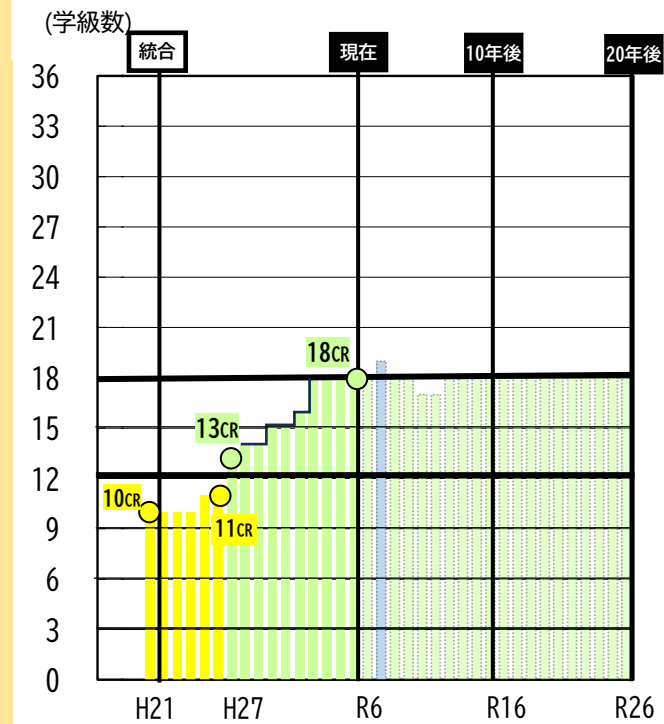
中野昭和小学校



東中野小学校



白桜小学校



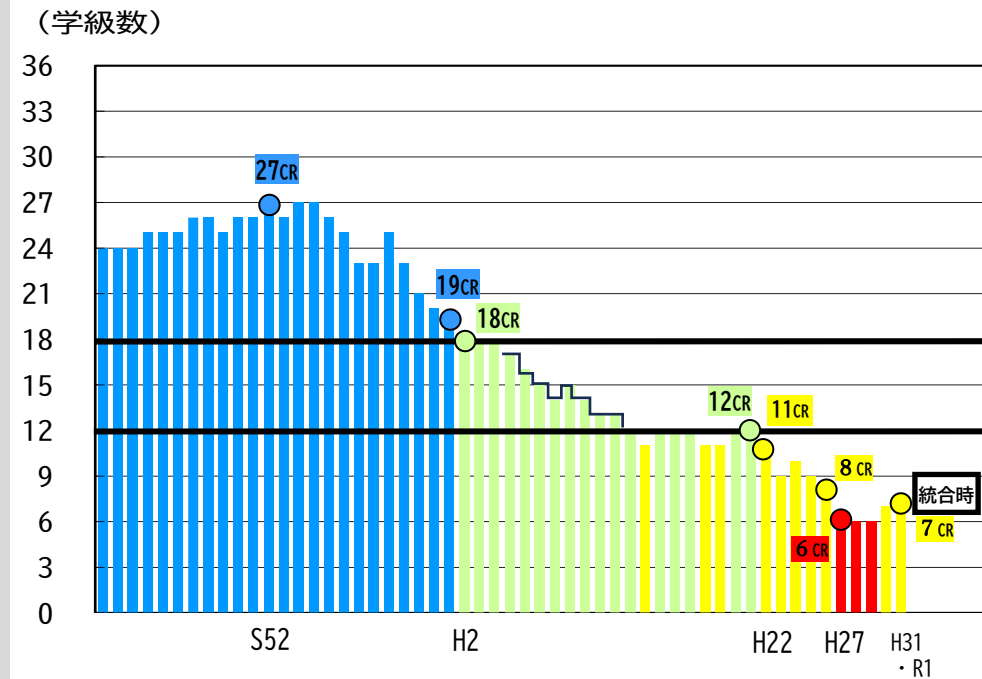
凡例

- | | |
|-----------------|--|
| ■ : 統合前の小・中学校 | ● 小学校 : 19学級以上
中学校 : 16学級以上 : 大規模化 |
| ■ : 統合後の中学校 | ● 小学校 : 12~18学級
中学校 : 9~15学級 : 望ましい規模 |
| ■ : 再編を行っていない学校 | ● 小学校 : 11学級以下
中学校 : 8学級以下 : 小規模化 |
| ■ : 統合後の小学校 | ● 小学校 : 6学級以下
中学校 : 3学級以下 : 過小規模化 |

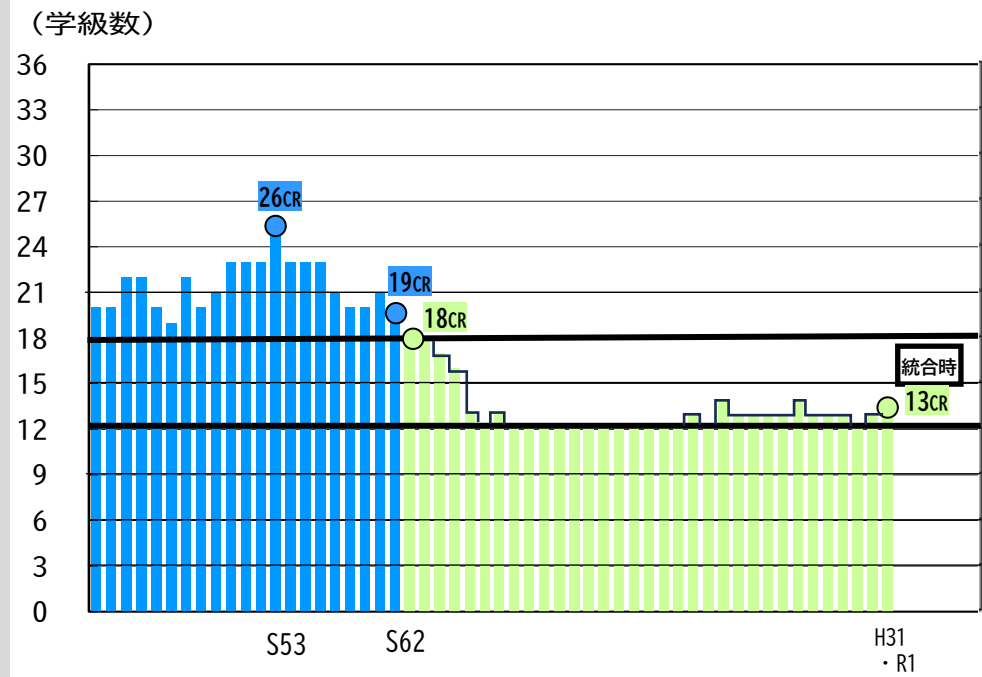
②北側エリア 第五中学校区

小学校

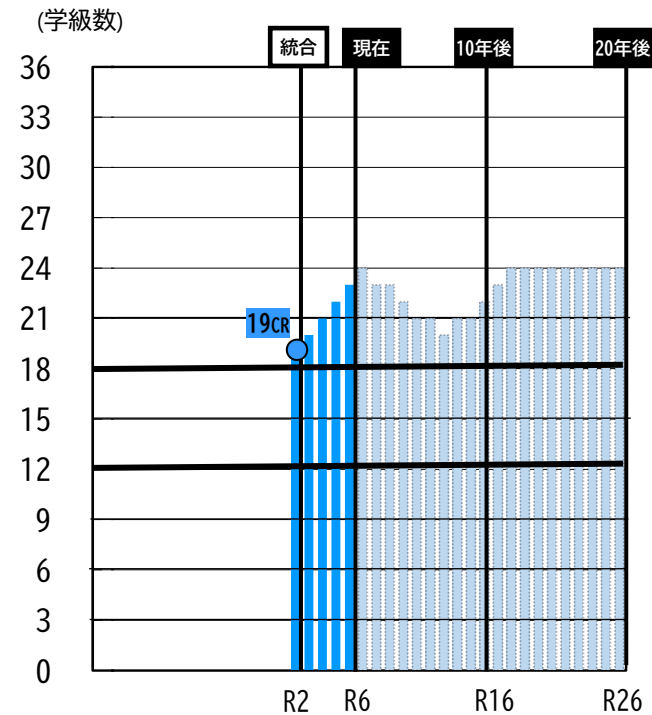
上高田小学校



新井小学校



令和小学校



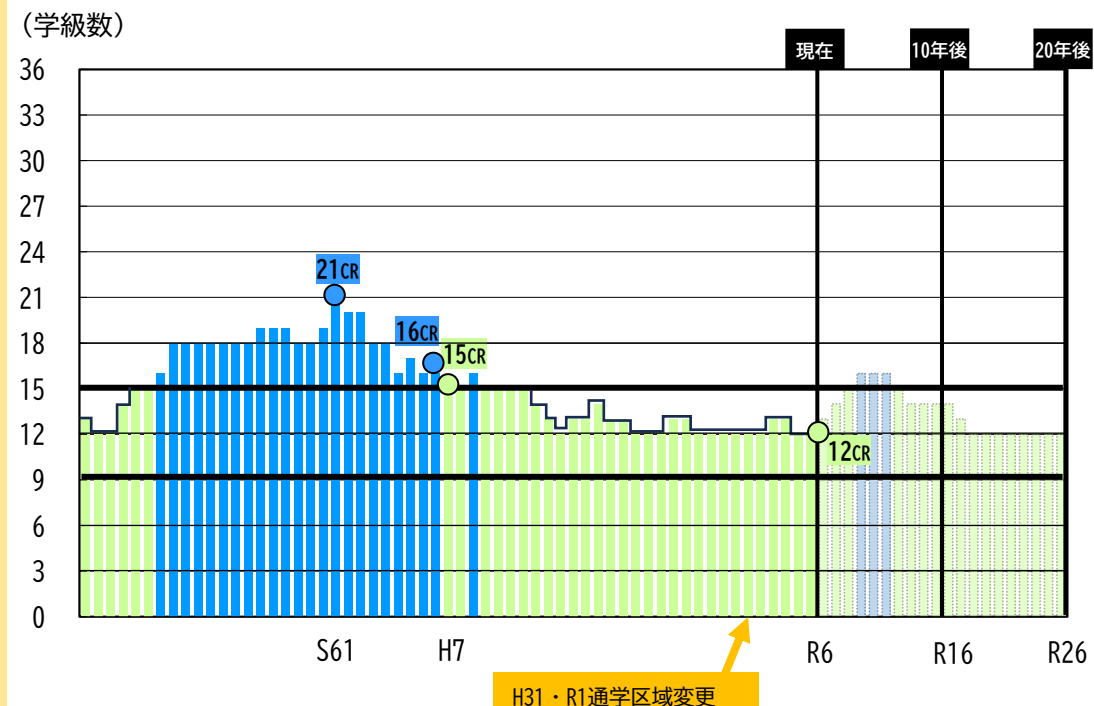
凡例

- 統合前の小・中学校
- 統合後の中学校
- 再編を行っていない学校
- 統合後の小学校
- 小学校：19学級以上
中学校：16学級以上 : 大規模化
- 小学校：12～18学級
中学校：9～15学級 : 望ましい規模
- 小学校：11学級以下
中学校：8学級以下 : 小規模化
- 小学校：6学級以下
中学校：3学級以下 : 過小規模化

③北西部 北中野中学校区

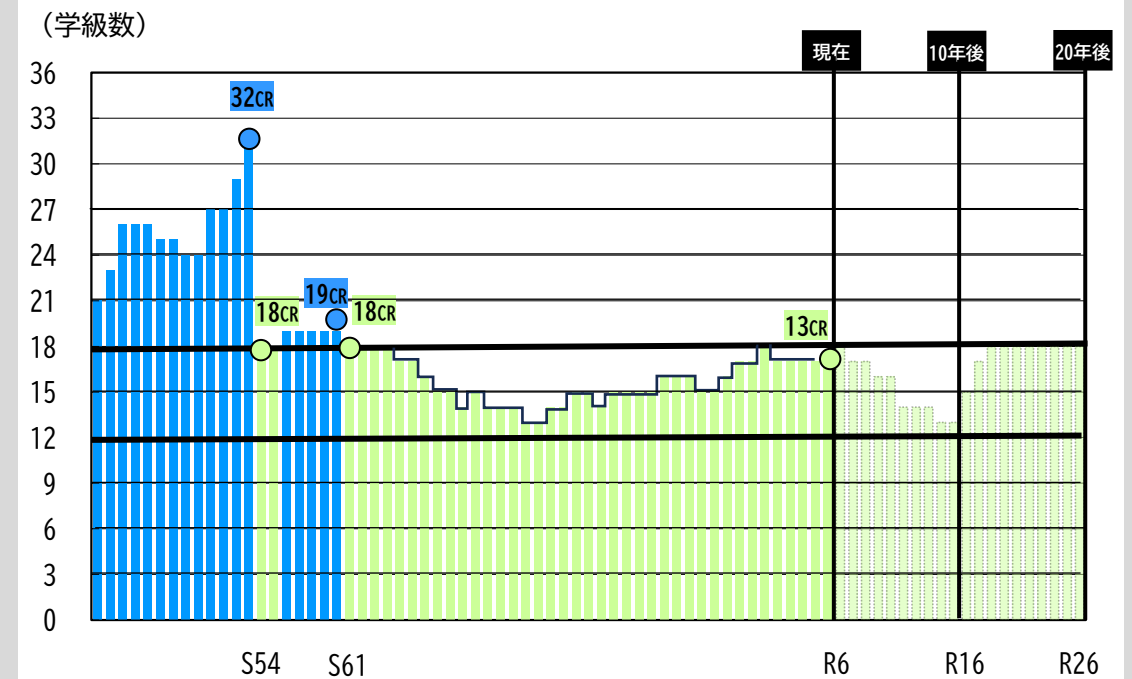
中学校

北中野中学校

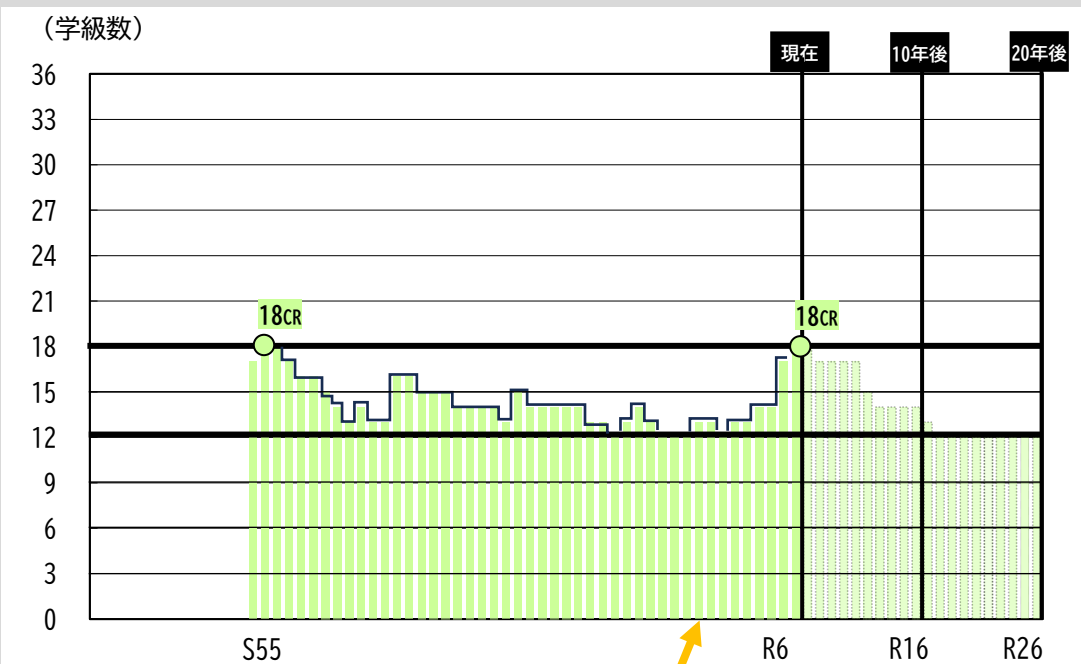


小学校

武蔵台小学校



上鷺宮小学校



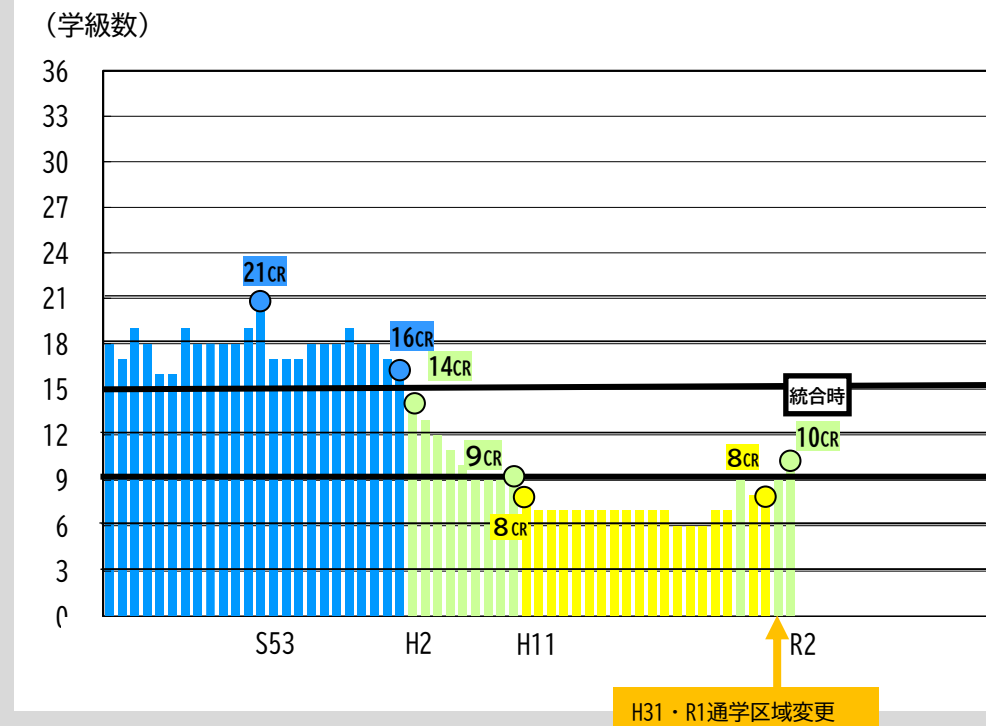
凡例

- | | |
|-----------------|--------------------------------------|
| ■ : 統合前の小・中学校 | ● 小学校：19学級以上
中学校：16学級以上 : 大規模化 |
| ■ : 統合後の中学校 | ● 小学校：12～18学級
中学校：9～15学級 : 望ましい規模 |
| ■ : 再編を行っていない学校 | ● 小学校：11学級以下
中学校：8学級以下 : 小規模化 |
| ■ : 統合後の小学校 | ● 小学校：6学級以下
中学校：3学級以下 : 過小規模化 |

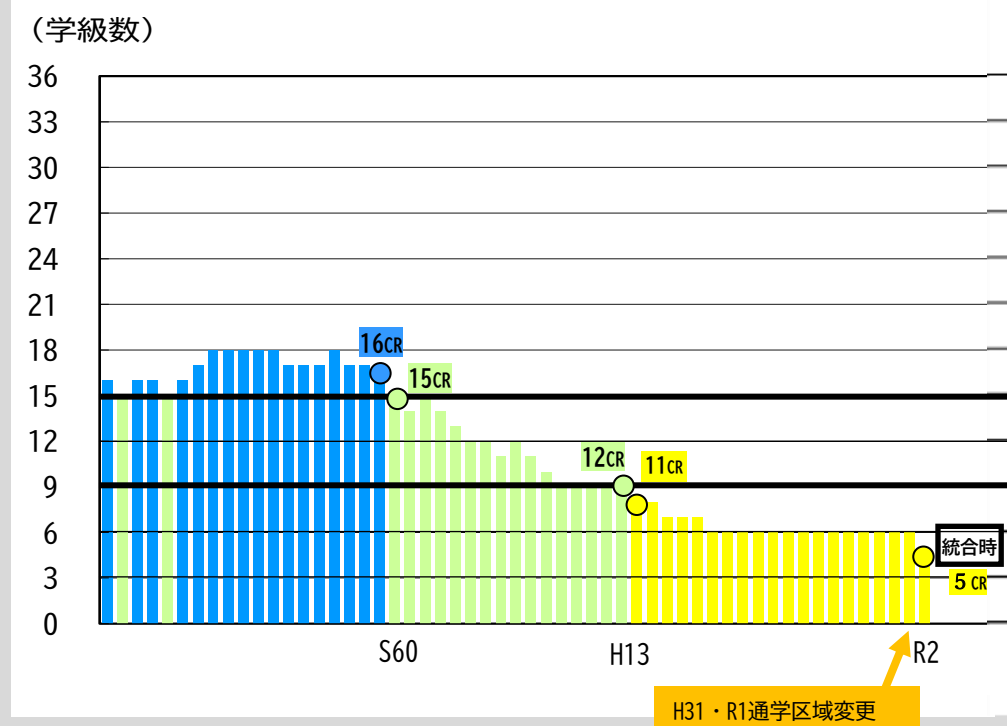
③北西部 明和中学校区

中学校

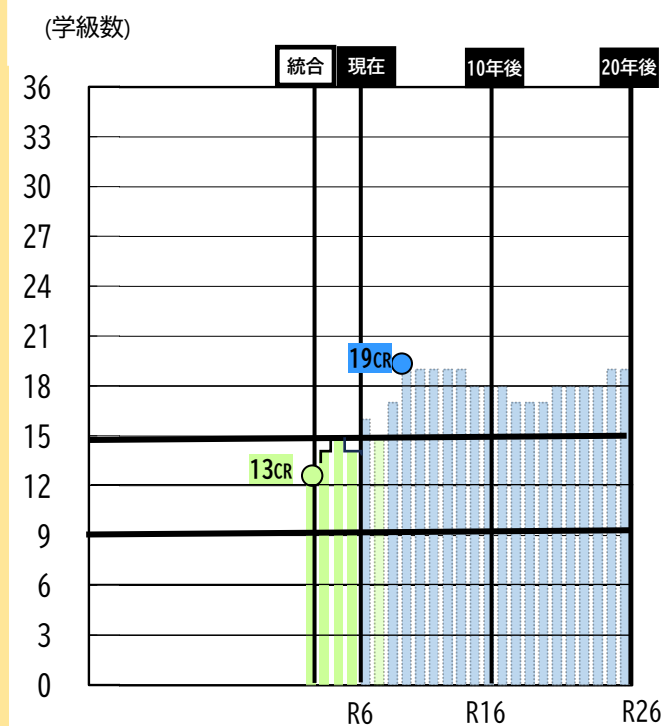
第四中学校



第八中学校



明和中学校



凡例

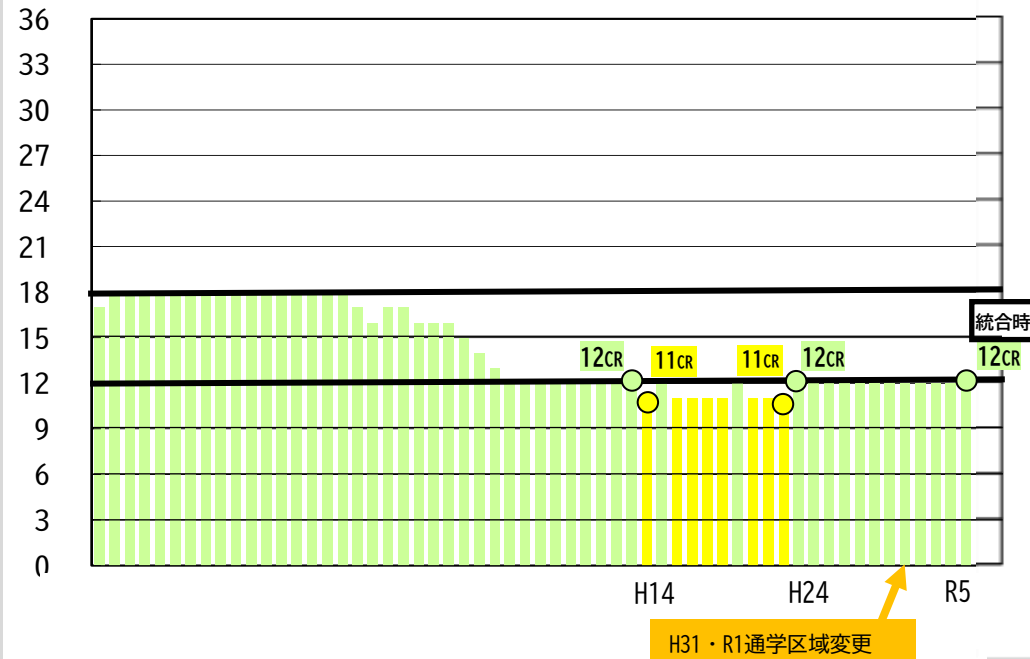
- : 統合前の小・中学校
- : 統合後の中学校
- : 再編を行っていない学校
- : 統合後の小学校
- 小学校：19学級以上
中学校：16学級以上 : 大規模化
- 小学校：12～18学級
中学校：9～15学級 : 望ましい規模
- 小学校：11学級以下
中学校：8学級以下 : 小規模化
- 小学校：6学級以下
中学校：3学級以下 : 過小規模化

③北西部 明和中学校区

小学校

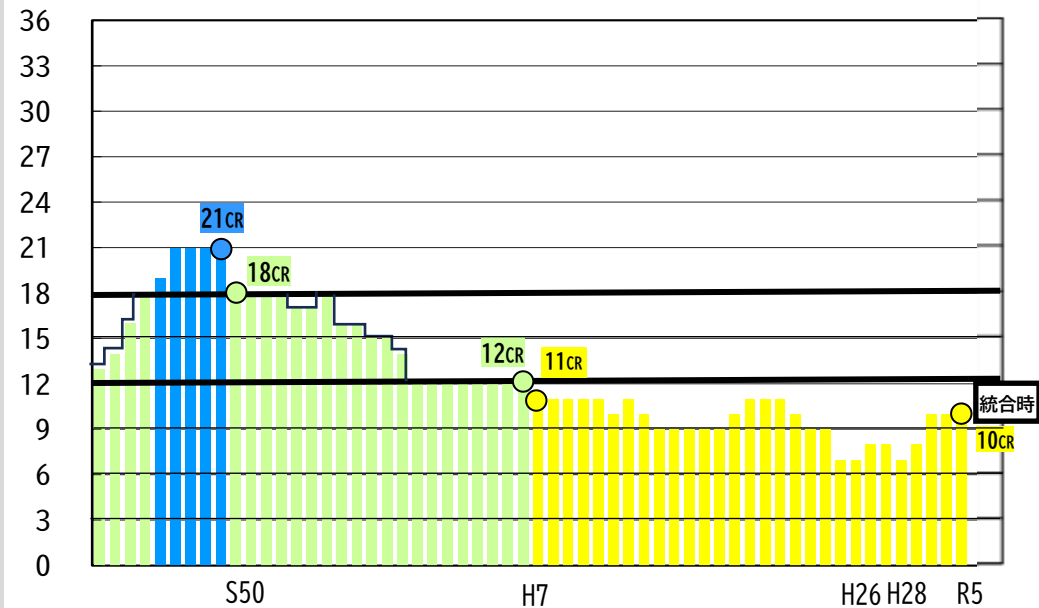
鷺宮小学校

(学級数)



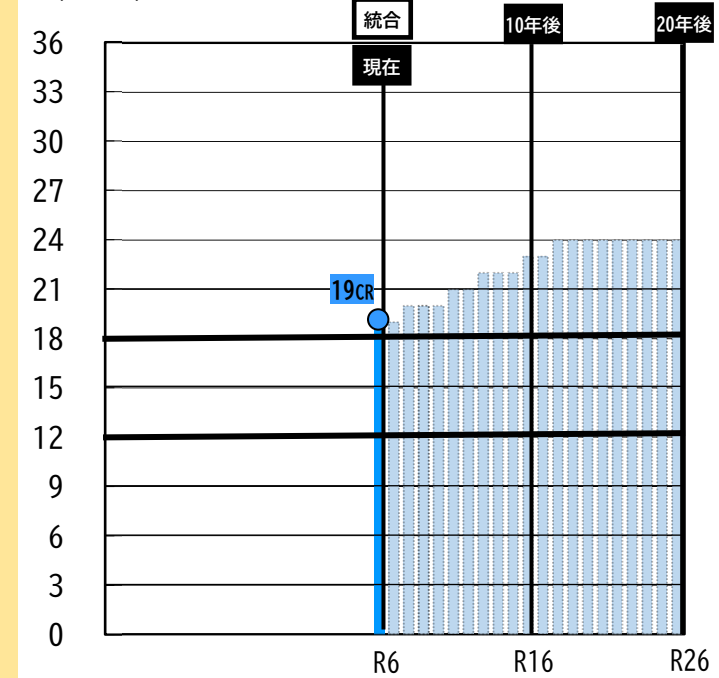
西中野小学校

(学級数)



鷺の杜小学校

(学級数)

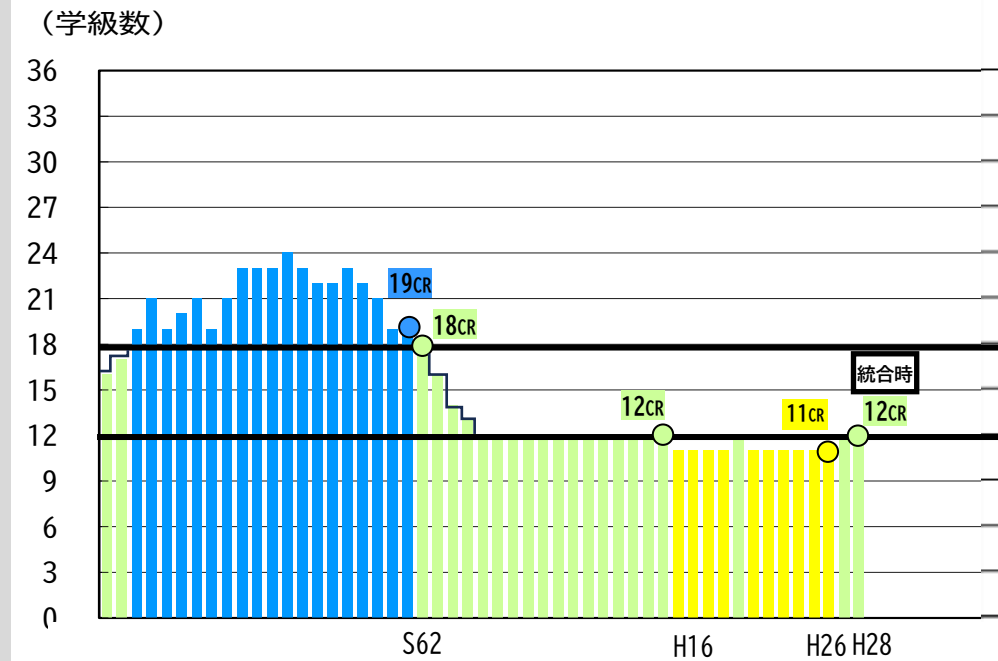


凡例

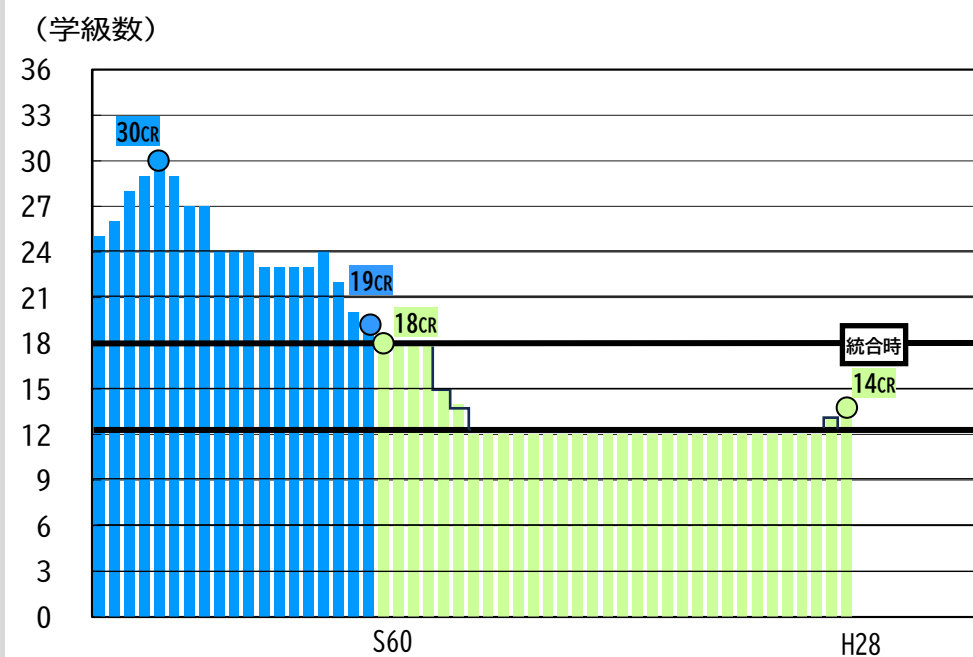
- : 統合前の小・中学校
- : 統合後の中学校
- : 再編を行っていない学校
- : 統合後の小学校
- 小学校：19学級以上
中学校：16学級以上 : 大規模化
- 小学校：12～18学級
中学校：9～15学級 : 望ましい規模
- 小学校：11学級以下
中学校：8学級以下 : 小規模化
- 小学校：6学級以下
中学校：3学級以下 : 過小規模化

小学校

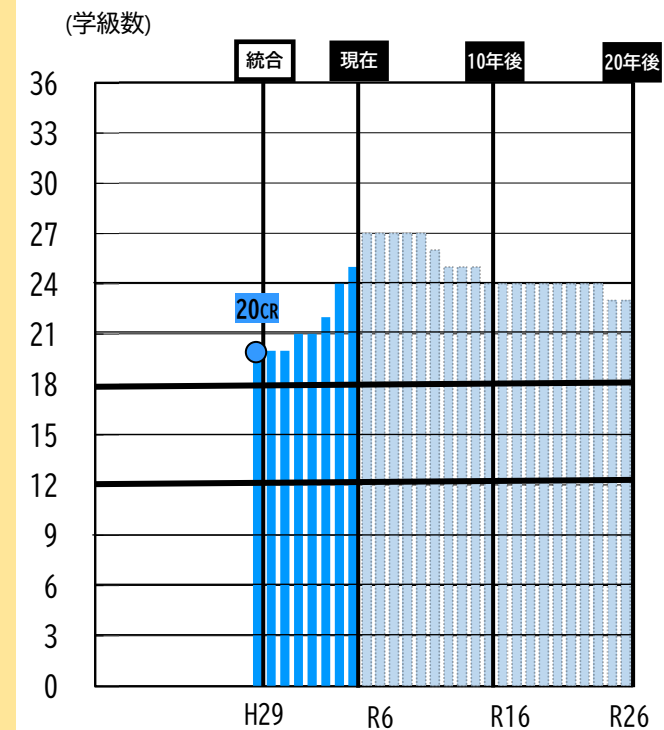
大和小学校



若宮小学校



美鳩小学校



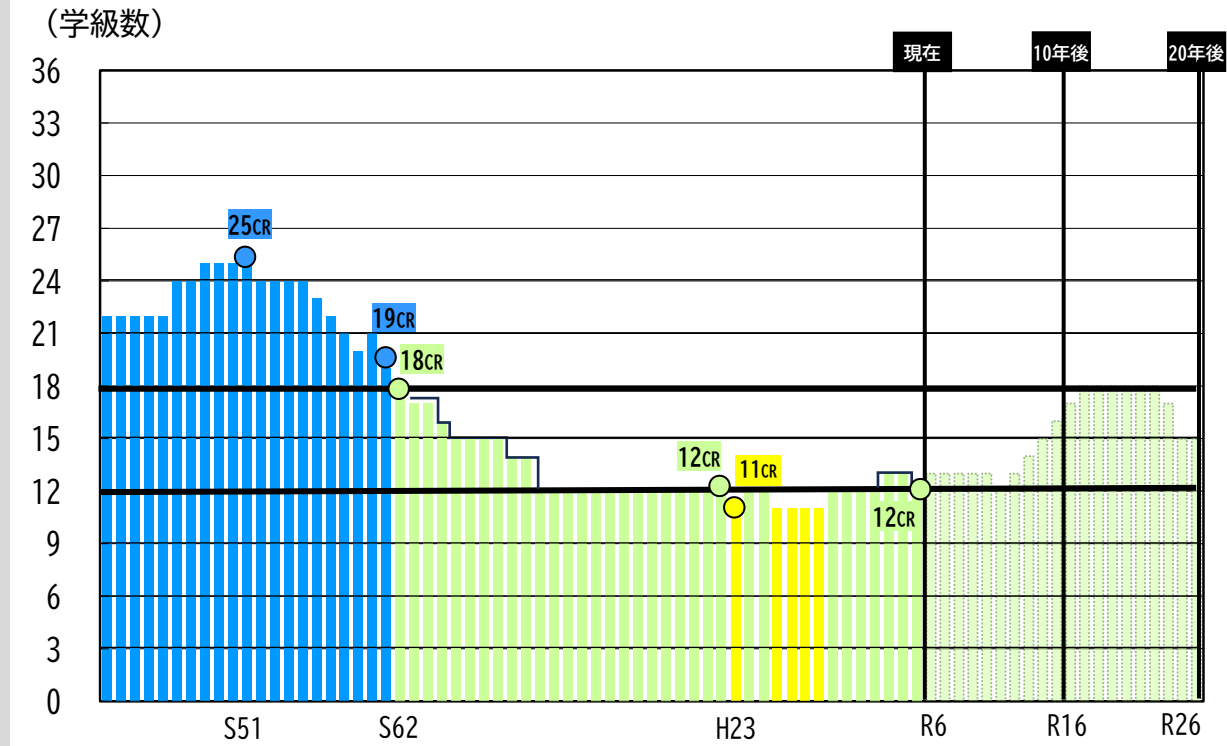
凡例

- : 統合前の小・中学校
- : 統合後の中学校
- : 再編を行っていない学校
- : 統合後の小学校
- 小学校: 19学級以上
中学校: 16学級以上 : 大規模化
- 小学校: 12~18学級
中学校: 9~15学級 : 望ましい規模
- 小学校: 11学級以下
中学校: 8学級以下 : 小規模化
- 小学校: 6学級以下
中学校: 3学級以下 : 過小規模化

③北西部 明和中学校区

小学校

啓明小学校



凡例

- | | |
|-----------------|--------------------------------------|
| ■ : 統合前の小・中学校 | ● 小学校：19学級以上
中学校：16学級以上 : 大規模化 |
| ■ : 統合後の中学校 | ● 小学校：12～18学級
中学校：9～15学級 : 望ましい規模 |
| ■ : 再編を行っていない学校 | ● 小学校：11学級以下
中学校：8学級以下 : 小規模化 |
| ■ : 統合後の小学校 | ● 小学校：6学級以下
中学校：3学級以下 : 過小規模化 |

中野区立小中学校の学校再編に関するアンケート
報告書

1 調査の概要

(1) 調査対象

- 小学生(1～3年生、4～6年生)
:中野区立小学校に通学する児童全員
- 中学生
:中野区立中学校に通学する生徒全員
- 保護者(小学生、中学生)
:中野区立小中学校に通学する児童生徒の保護者全員
- 教員
:中野区立小中学校に勤務する教員
- 区民
:統合した学校と関わりのある(あった)区民

(2) 調査期間

令和6(2024)年10月31日(木)～11月21日(木)
区民のみ11月8日(金)～28日(木)

(3) 調査方法

- オンライン調査

(4) 配布・回収

調査対象	総数	回答数	うち、統合経験者	回答率
小学校(1～3年生)	5,541	2,786	148	50.3%
小学校(4～6年生)	5,369	2,364	368	44.0%
中学生	3,556	1,210	173	34.0%
保護者(小学校)	10,910	4,882	275	44.7%
保護者(中学校)	3,556	1,403	250	39.5%
教職員	855	406	34	47.5%
区民一般		193	6	
合計	29,787	13,244	1,254	43.8%

2 主な設問別の回答結果(概要)

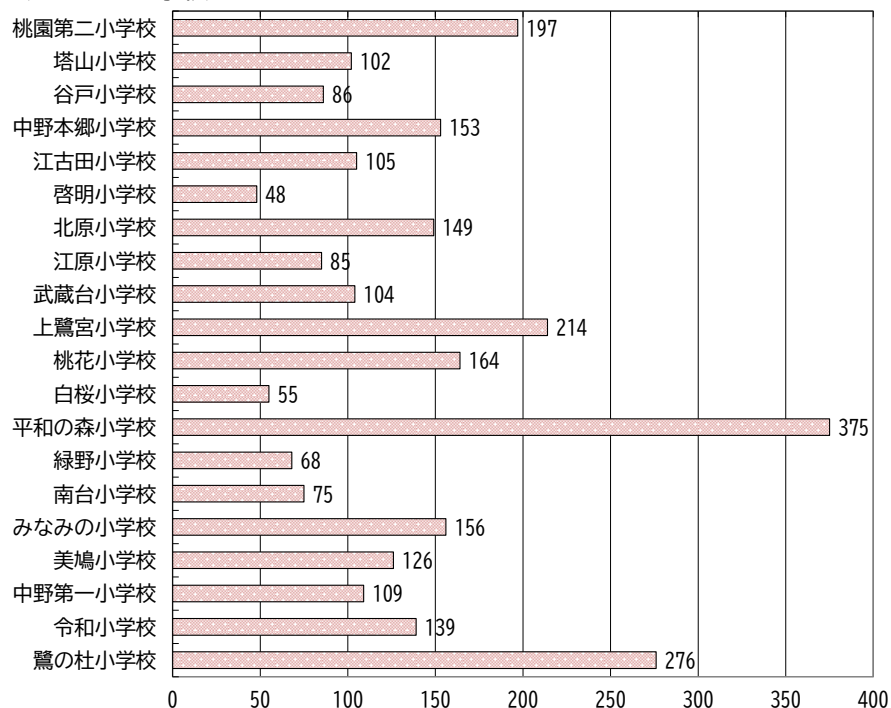
① 回答者属性	2
② 現在通っている学校の人数、学級数について	7
③ キッズ・プラザの利用について	9
④ 中学校への分散進学について	10
⑤ 通学路・通学時間について	11
⑥ 現在通っている学校の施設について	13
⑦ 学校の統合による変化について	15
⑧ 学校を統合したことについて	19
⑨ 学校を統合したことによる保護者や地域との関係について	20
⑩ 学校の統合による管理・指導方法の変化について	21
⑪ 統合前の交流事業の効果について	22
⑫ 新校舎の教育環境について	23

① 回答者属性(1)

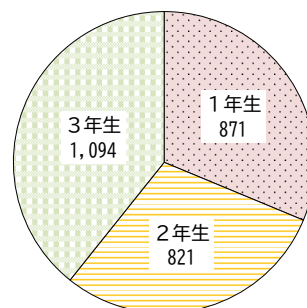
- 通っている学校と学年、他の学校と一緒にになる経験をした人は一緒にになる前に通っていた学校を選んでください。
(小学生(1～3年生)問1、問2、問7 小学生(4～6年生)問1、問2、問12)

■小学生(1～3年生) 回答者数2,786人 統合経験者回答数148人

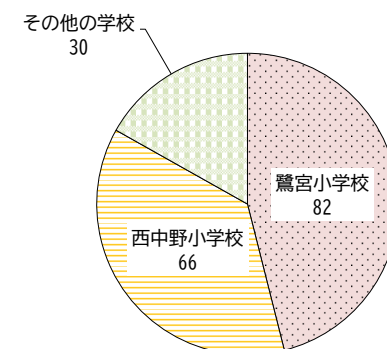
・通っている学校



・学年



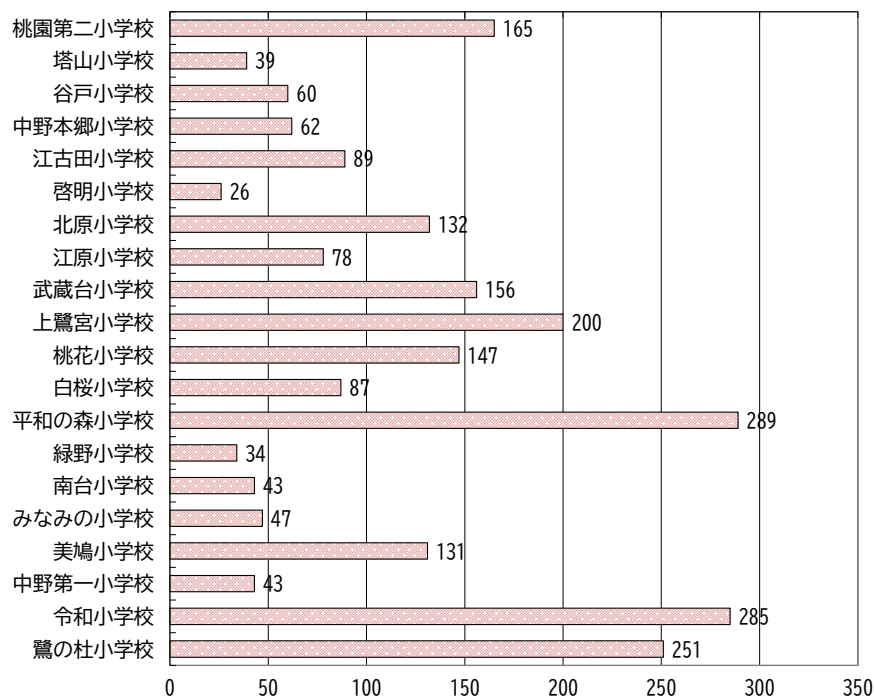
・統合前の通学先



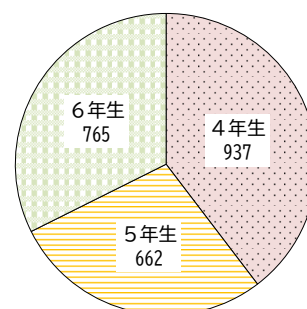
・その他の学校の回答者(30人)は回答していない

■小学生(4～6年生) 回答者数2,364人 統合経験者回答数368人

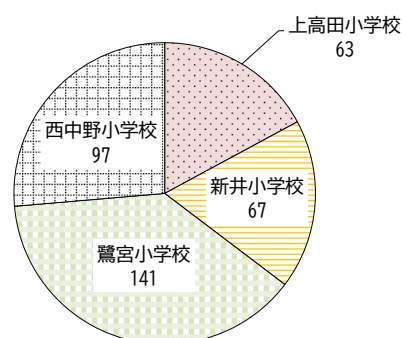
・通っている学校



・学年



・統合前の通学先

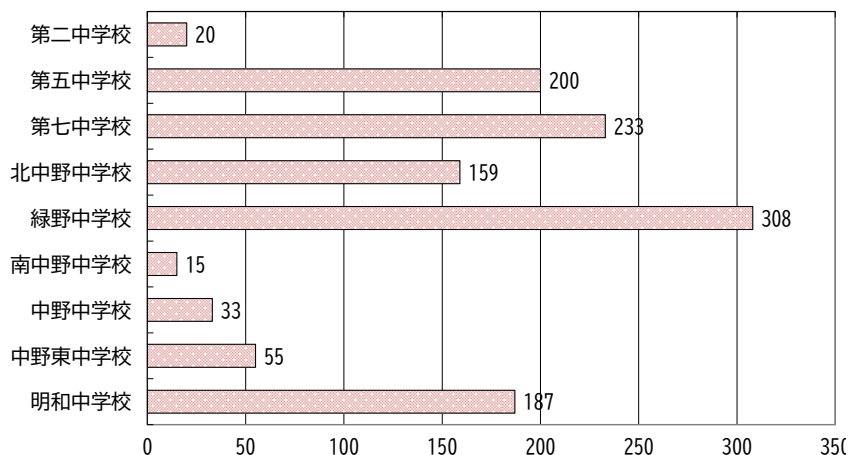


① 回答者属性(2)

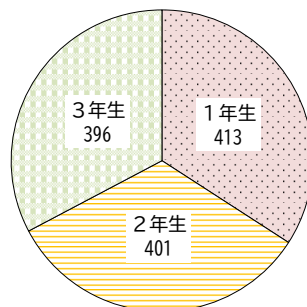
- 通っている学校と学年、学校の統合を経験した人は統合前に通っていた学校を選んでください。
(中学生問1、問2、問10 保護者(小学生)問1、問2、問11)

■中学生 回答者数1,210人 統合経験者回答数173人

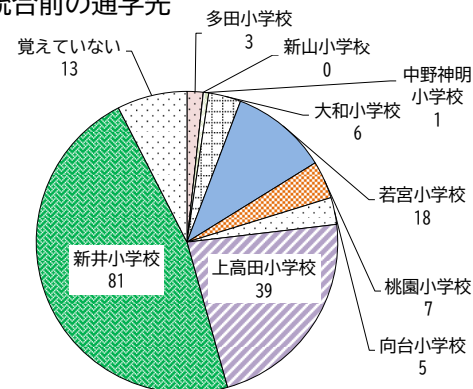
・通っている学校



・学年



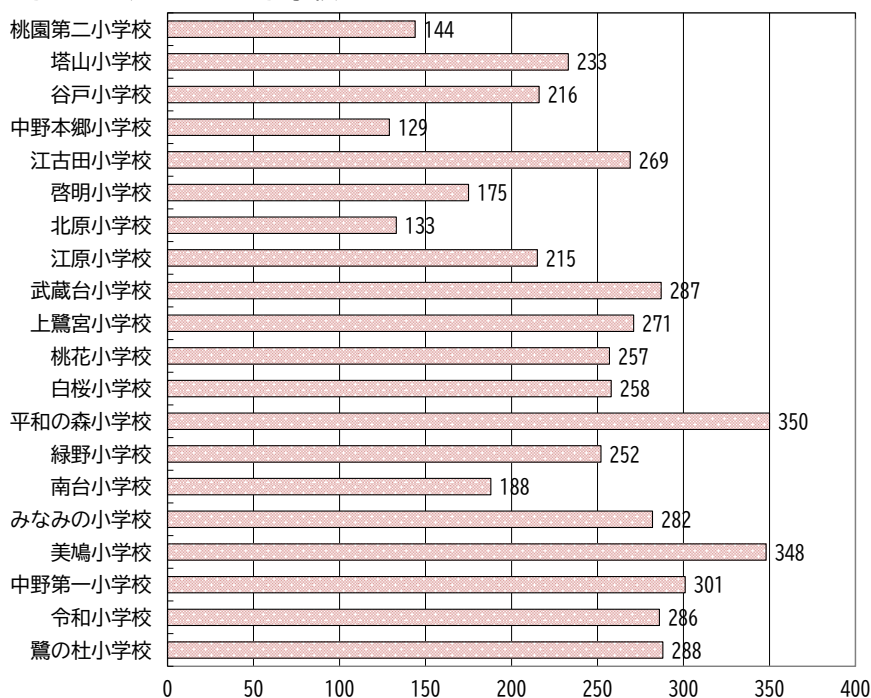
・統合前の通学先



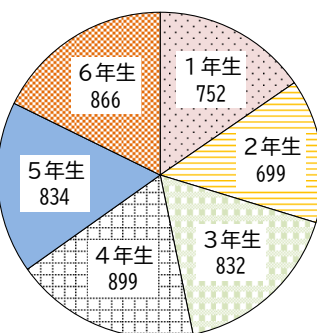
中学生が経験している統合は
小学校在籍時の統合になる

■保護者(小学生) 回答者数4,882人 子どもが統合を経験している回答数275人

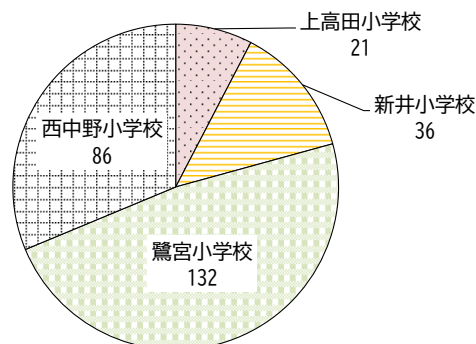
・子どもが通っている小学校



・子どもの学年



・統合前の子どもの通学先

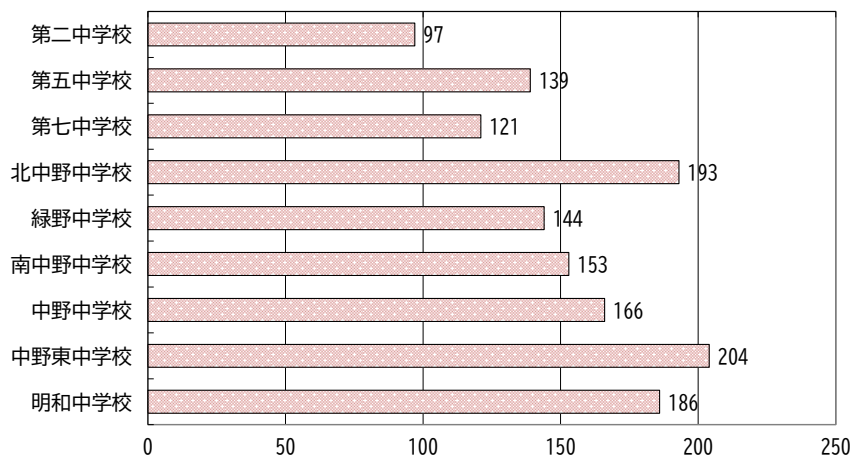


① 回答者属性(3)

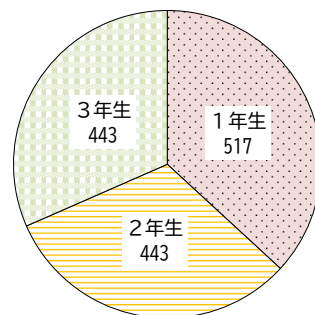
- 通っている学校と学年、学校の統合を経験した人は統合前に通っていた学校を選んでください(保護者は子どもについて、教員は勤務先について)。(保護者(中学生)問1、問2、問9 教員 問1、問2)

■保護者(中学生) 回答者数1,403人 子どもが統合を経験している回答数250人

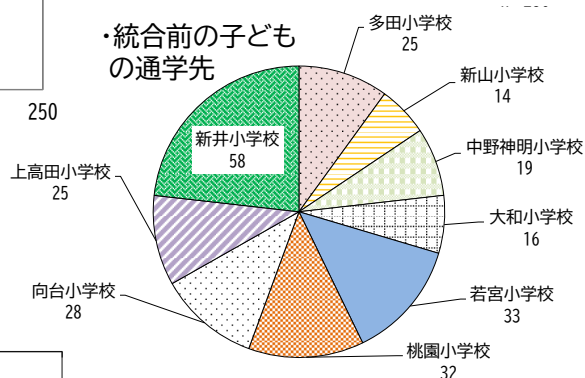
・子どもが通っている中学校



・子どもの学年

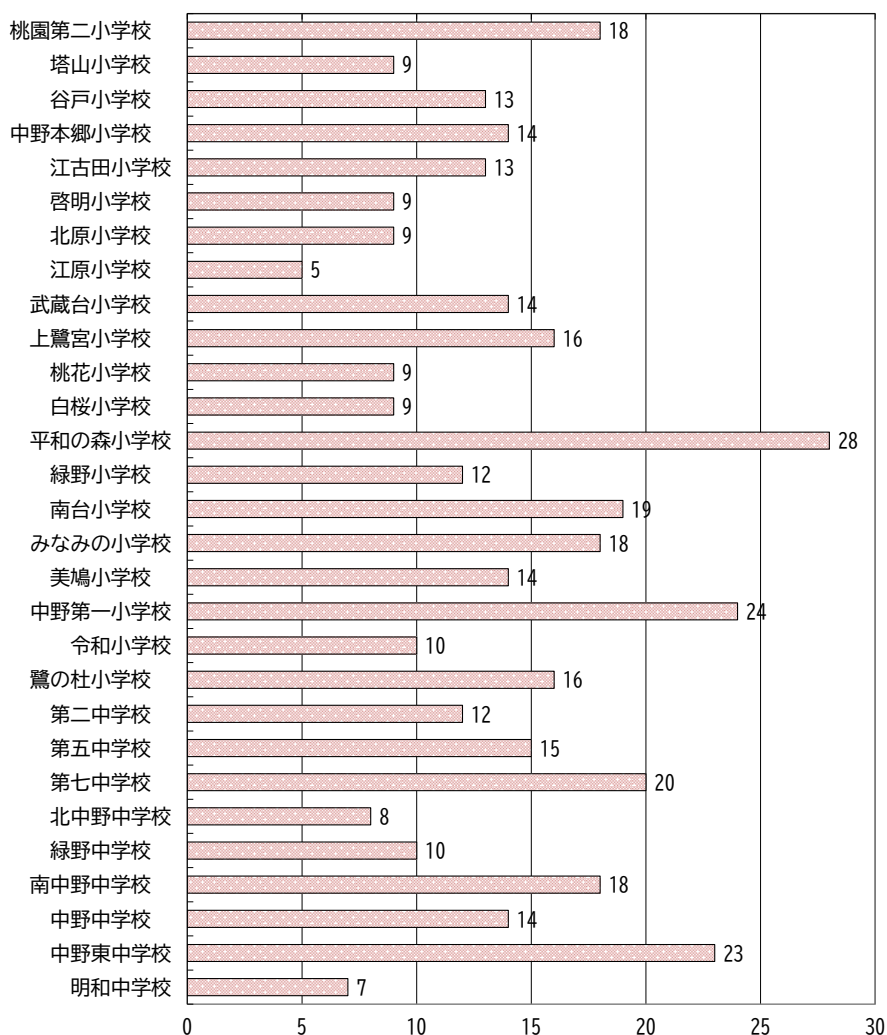


・統合前の子どもの通学先

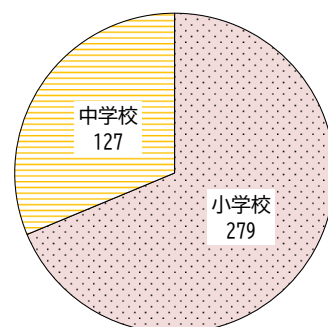


■教員 回答者数406人 統合経験者回答数34人

・勤務している学校



・勤務校の校種



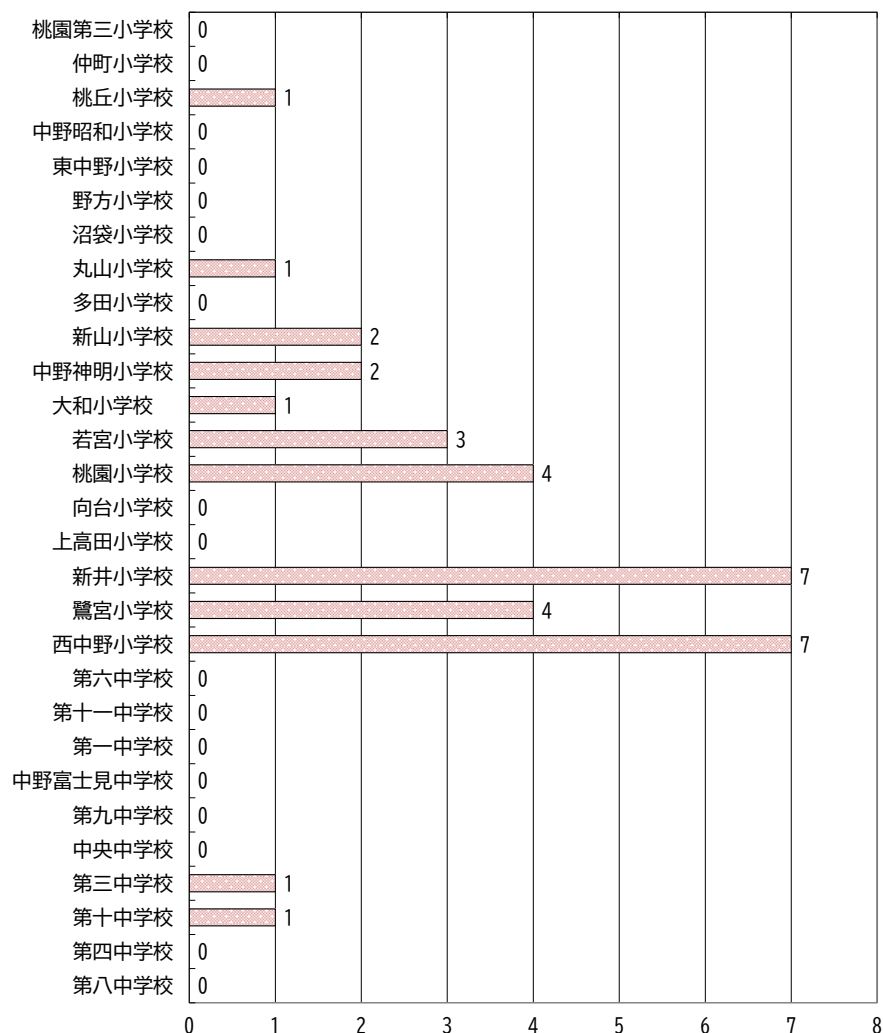
① 回答者属性(4)

- 学校の統合を経験した人は統合前の勤務先を教えてください。

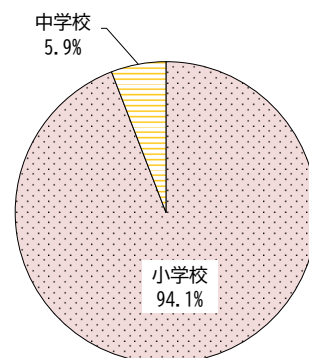
(教員 問9、問10)

■教員

・統合を経験した時の勤務先(学校)



・統合を経験した時の勤務校の校種

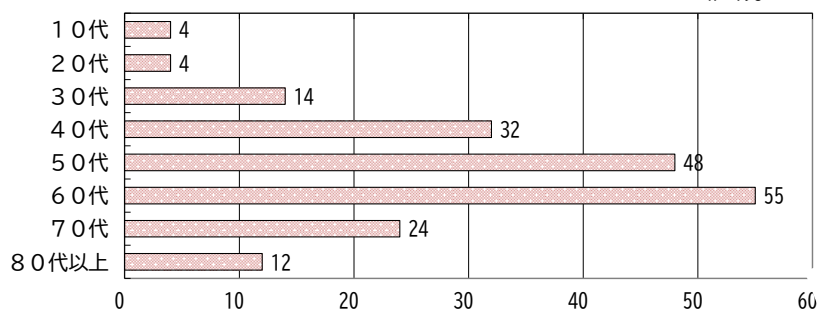


- 年代を選んでください。学校の統合を経験した人は統合前に通っていた学校を選んでください。

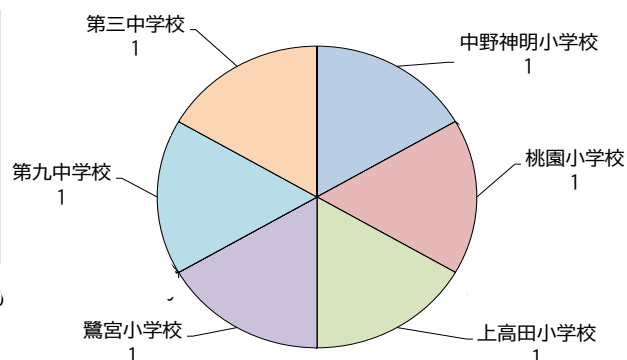
(区民一般 問1、問11)

■区民一般 回答者数193人 うち統合経験者回答数6人

・年代



・統合前に通っていた学校

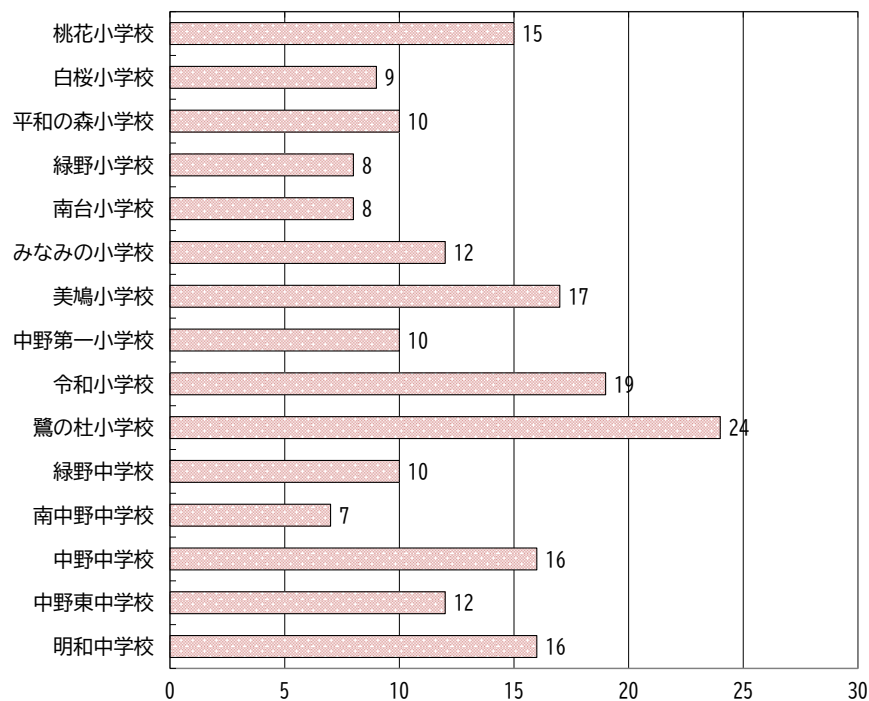


① 回答者属性(5)

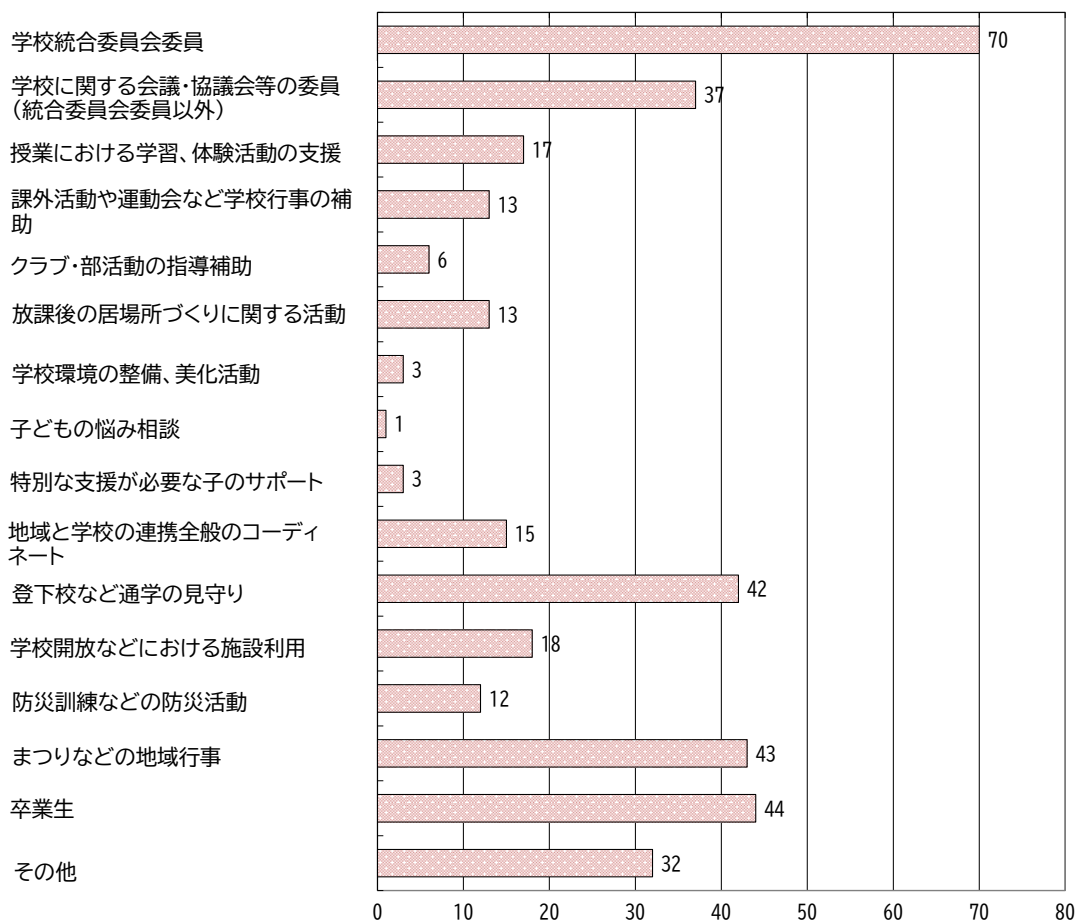
- ・ 統合した学校で関わりのある(あった)学校と、どのような関わりがある(あった)か教えてください。(複数選択可)
(区民一般 問2、問3)

■区民一般

・関わりのある(あった)学校、または卒業した学校



・関わりのある学校との関係



② 現在通っている学校の人数、学級数について(1)

- 今の学校について、下のことに教えてください。(保護者・教員は子どもの様子について回答)

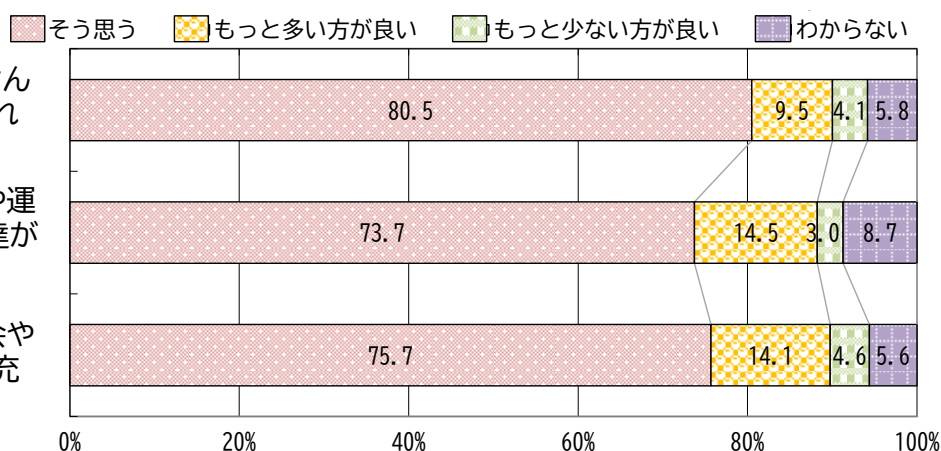
(小学生(4～6年生)問3、保護者(小学生)問3、教員問3)

■小学生(4～6年生)

今の学年の学級数・人数で、たくさんの友達と話をしたり知り合いになれている

今の学年の学級数・人数で、勉強や運動で頑張りあい、成長しあえる友達ができている

今の学年の学級数・人数で、運動会や発表会などの学校行事の内容は、充実している

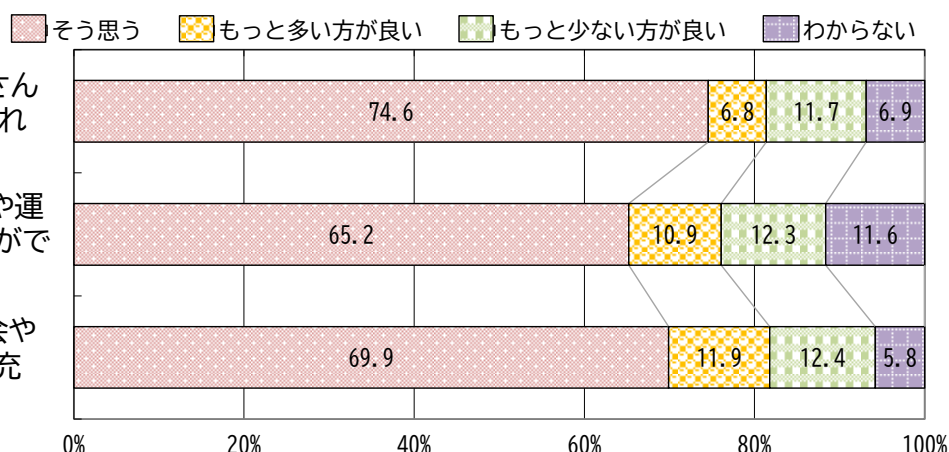


■保護者(小学生)

今の学年の学級数・人数で、たくさんの友達と話をしたり知り合いになれている

今の学年の学級数・人数で、勉強や運動で頑張り合い、高め合える友達ができている

今の学年の学級数・人数で、運動会や発表会などの学校行事の内容は、充実している

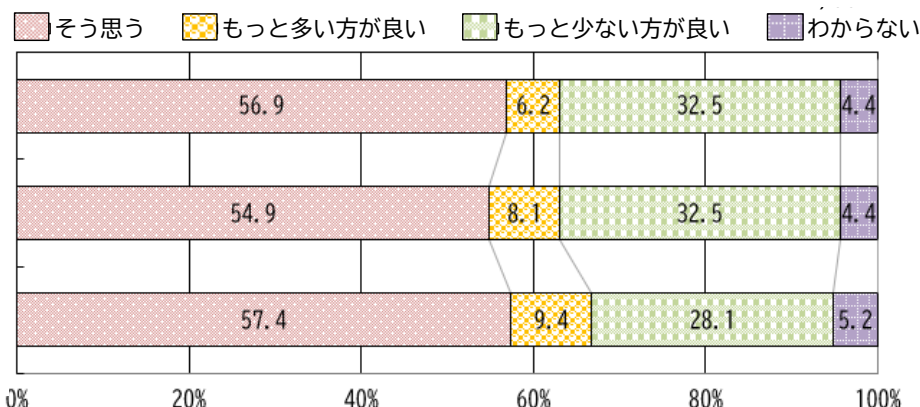


■教員

今の学年の学級数・人数で、たくさんの友達と話をしたり知り合いになれている

今の学年の学級数・人数で、勉強や運動で頑張り合い、高め合える友達ができている

今の学年の学級数・人数で、運動会や発表会などの学校行事の内容は、充実している



<考察>

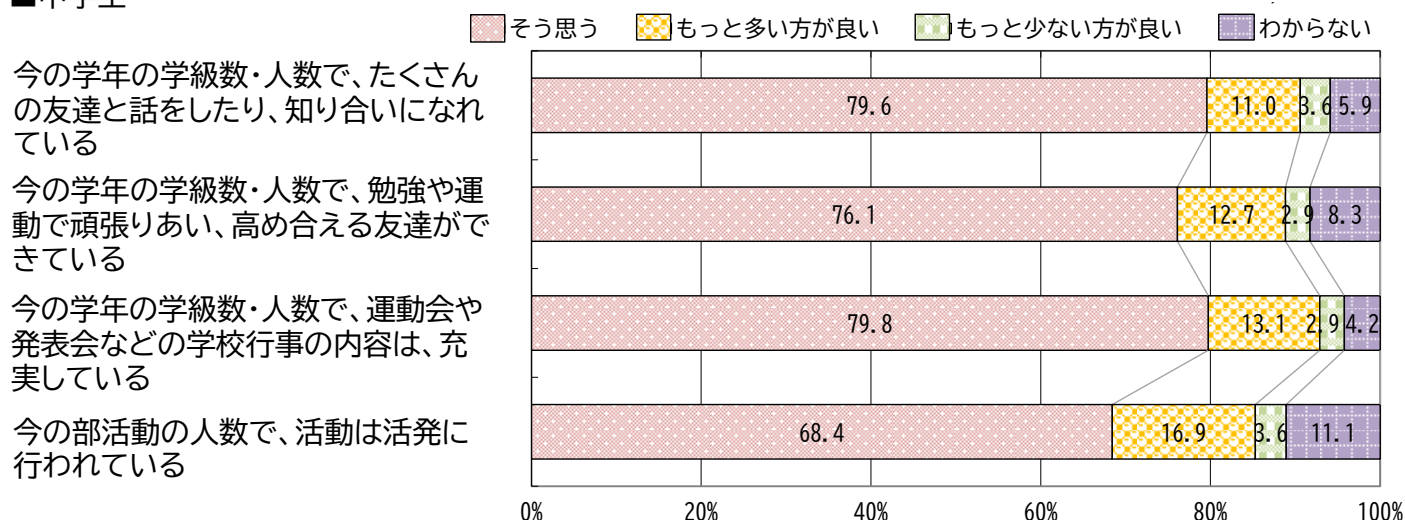
- 小学生(4～6年生)はどの選択肢も70%以上が「そう思う」と回答し、今の学校の人数・学級数に満足している。そして、「もっと多い方がよい」という回答が2番目に続いている。
- 小学生の保護者も、子どもと同様に今の学校の人数・学級数で「そう思う」と回答している割合が多いが、次に続く回答は「もっと少ないほうがよい」で、「もっと多い方がいい」を上回っている点が児童と異なる。
- 教員も今の学校の人数・学級数での各選択肢に対して「そう思う」と回答している割合が最も高いが、2番手の「もっと少ないほうがよい」の割合が児童生徒・保護者に比べて高い。

② 現在通っている学校の人数、学級数について(2)

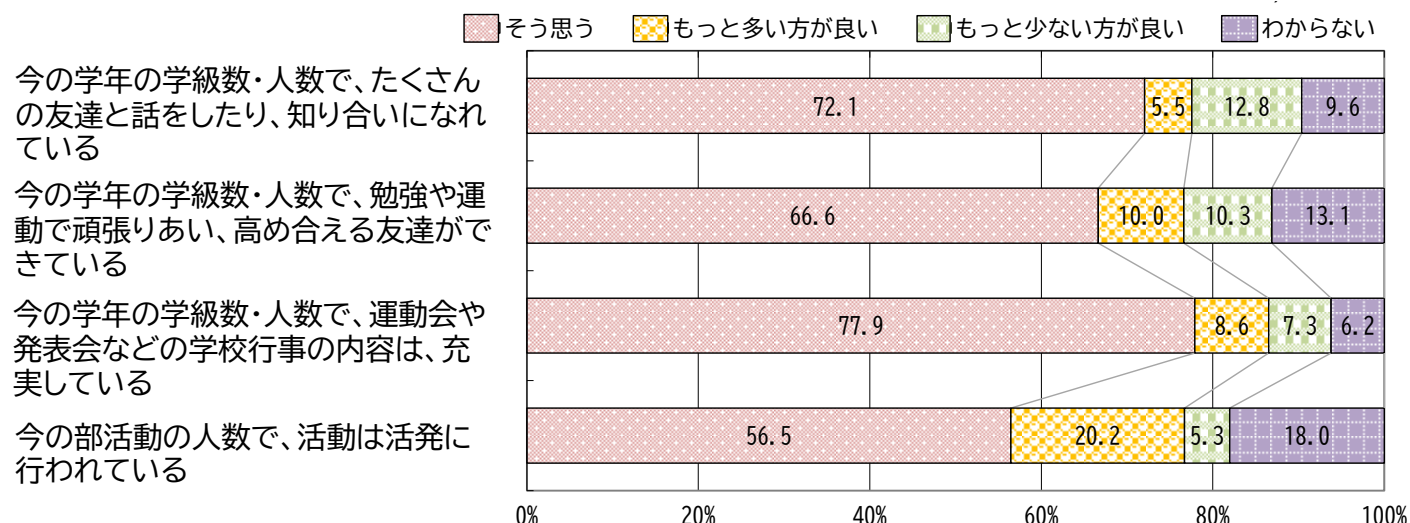
- 今の学校について、以下のことに答えてください。(保護者・教員は子どもの様子について回答)

(中学生問3、保護者(中学生)問3)

■中学生



■保護者(中学生)



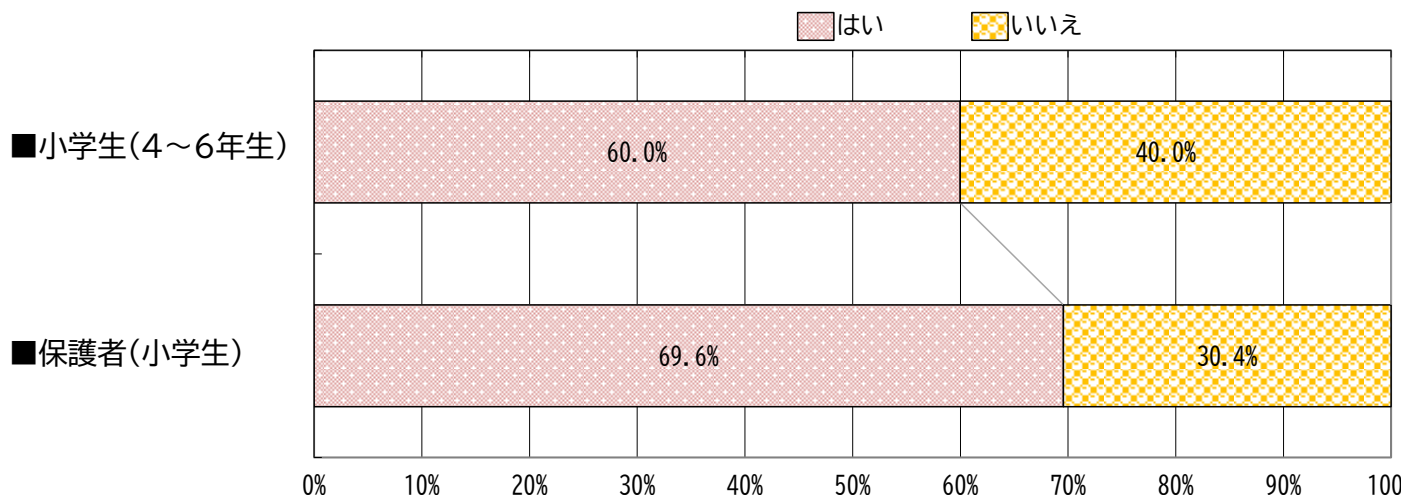
<考察>

- 中学生は今の生徒数・学級数の学校での満足度も高い傾向にあるが、頑張りあえる友達の存在や行事の充実度については「そう思う」と回答している割合が小学生(4～6年生)よりも高い。
- また、2番手の回答も小学生(4～6年生)と同様に「もっと多い方がいい」となっているが、中でも部活動の人数が多い方がいいと回答している生徒が多い。
- 中学生の保護者も今の生徒数・学級数に満足している回答が過半数以上を占めているが、子どもの人間関係については「もっと少ない方がいい」という回答、行事や部活動などは「もっと多い方がいい」という回答が2番手で続いている。特に部活動はもっと多い方がいいと感じている保護者が多い。一方で同じくらいわからないと回答している保護者もいる。

③ キッズ・プラザの利用について

- キッズ・プラザを利用したことはありますか。

(小学生(4～6年生)問4、保護者(小学生)問4)

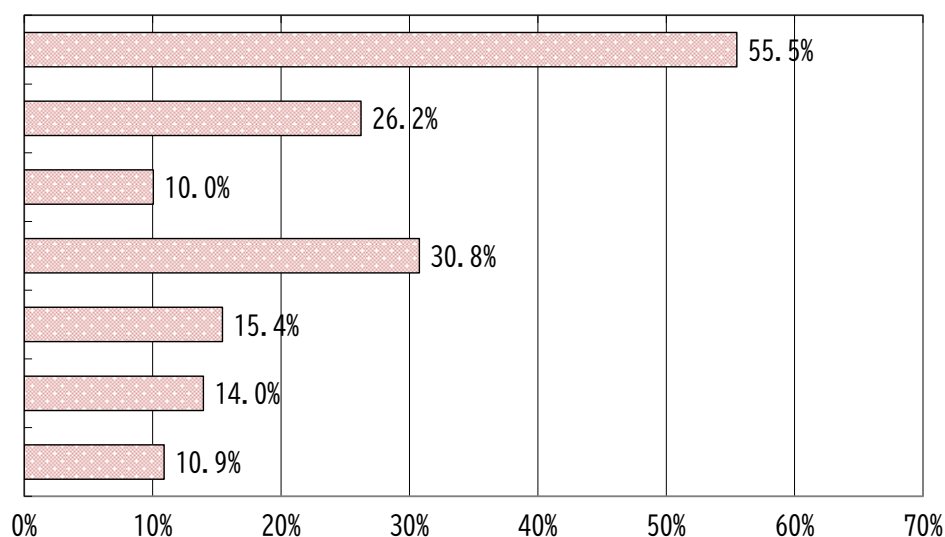


- 「いいえ」と答えた人のみ、キッズ・プラザで遊んだことはない理由は何ですか。(複数回答可)

(小学生(4～6年生)問5、保護者(小学生)問5)

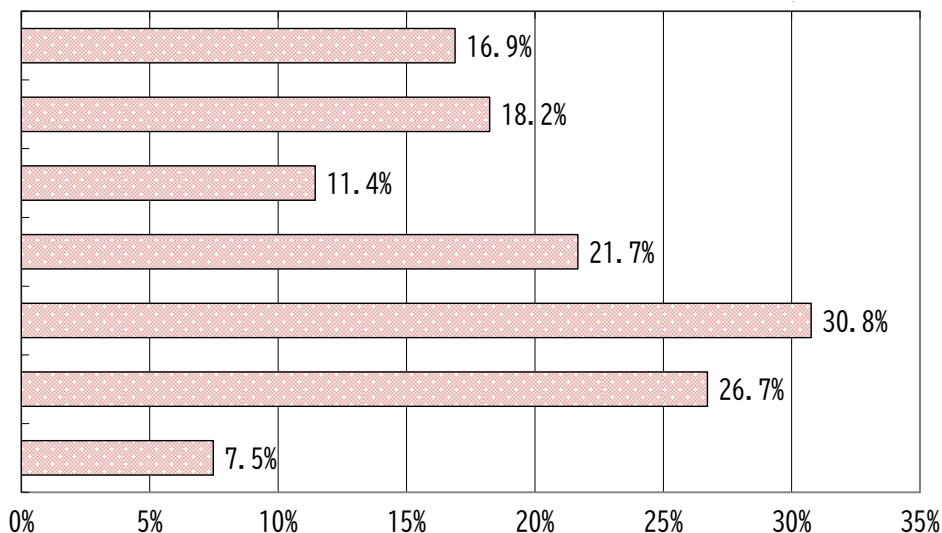
■小学生(4～6年生)

- キッズ・プラザを知らない
- キッズ・プラザで遊ぶことに興味がない
- 一緒に利用する友達がいない
- 習い事などほかにすることがある
- 近くにキッズ・プラザがない
- 学童クラブなどキッズ・プラザ以外の場所で過ごしている
- 特に理由はない



■保護者(小学生)

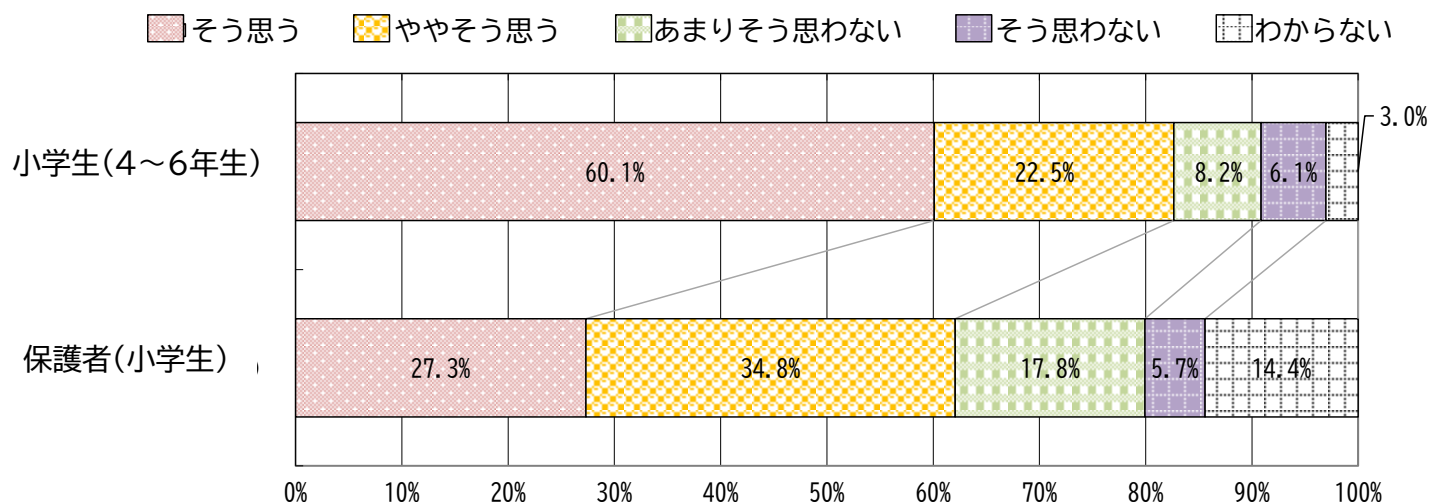
- キッズ・プラザを知らない
- キッズ・プラザで遊ぶことに興味がない
- 一緒に利用する友達がいない
- 習い事などほかにすることがある
- 近くにキッズ・プラザがない
- 学童クラブなどキッズ・プラザ以外の場所で過ごしている
- 特に理由はない



④ 中学校への分散進学について

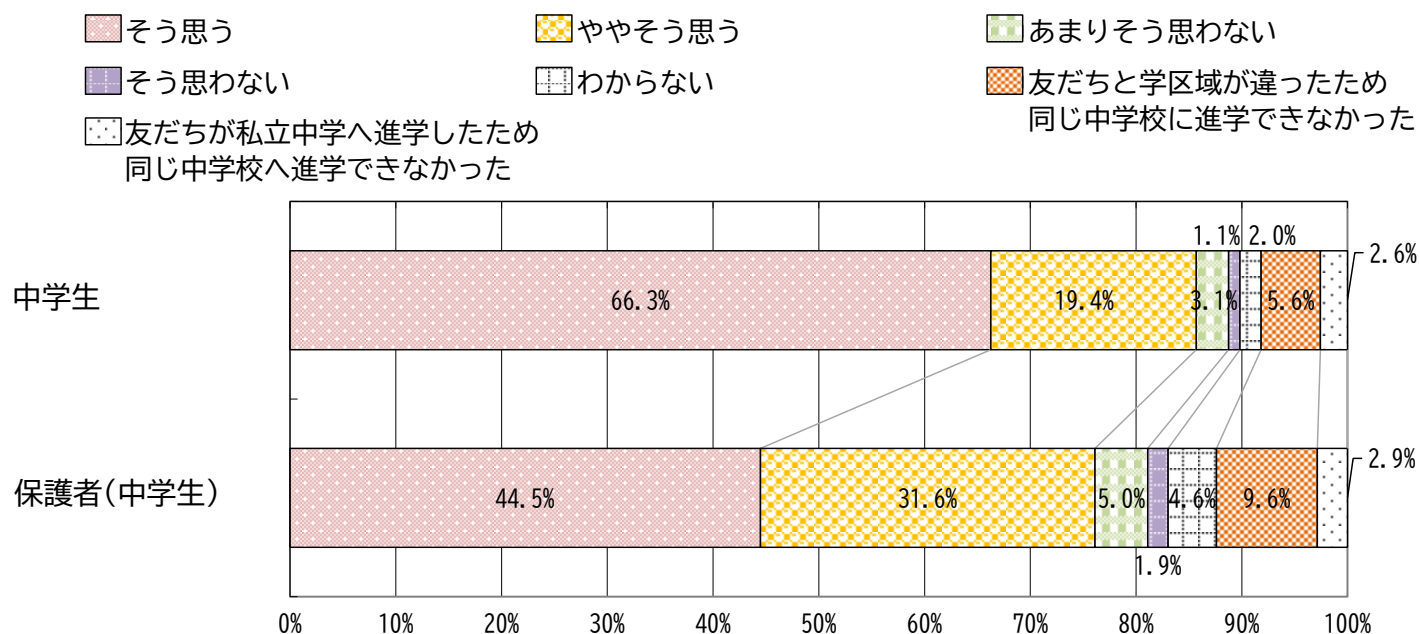
- 将来、中学校に進学するときには、今の学校の友達と同じ中学校に進学したいですか。

(小学生(4～6年生)問6、保護者(小学生)問6)



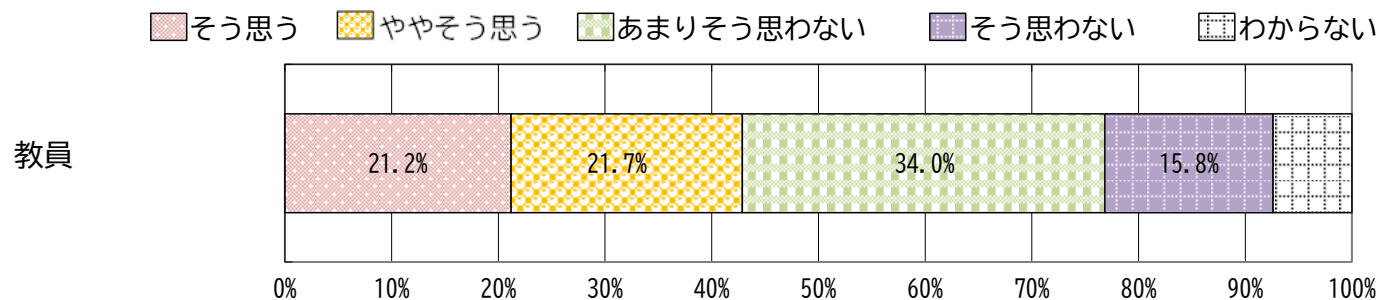
- 小学校の友達と、同じ中学校に進学できて良かったですか。

(中学生問4、保護者(中学生)問4)



- 小学校の通学区域は2つの中学校の通学区域にまたがらない方が良いと思いますか。

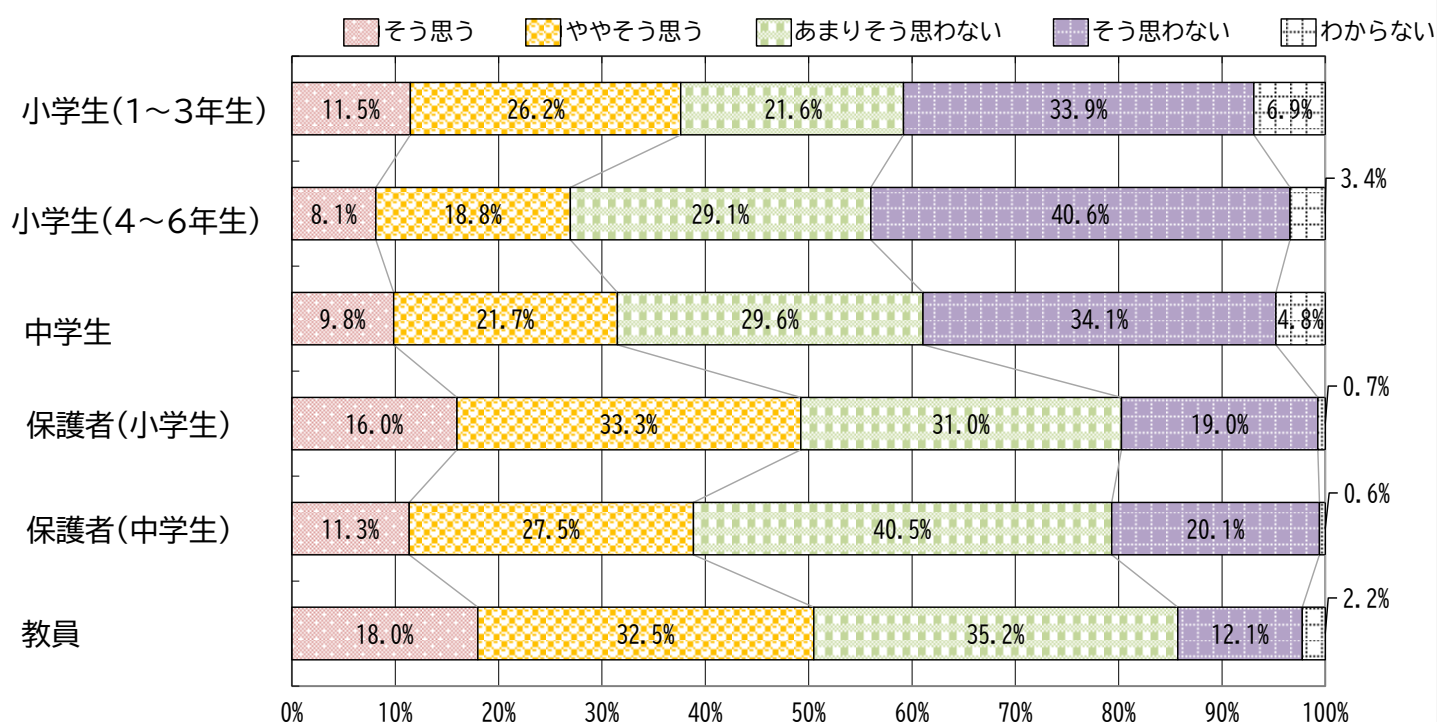
(教員問4)



⑤ 通学路・通学時間について(1)

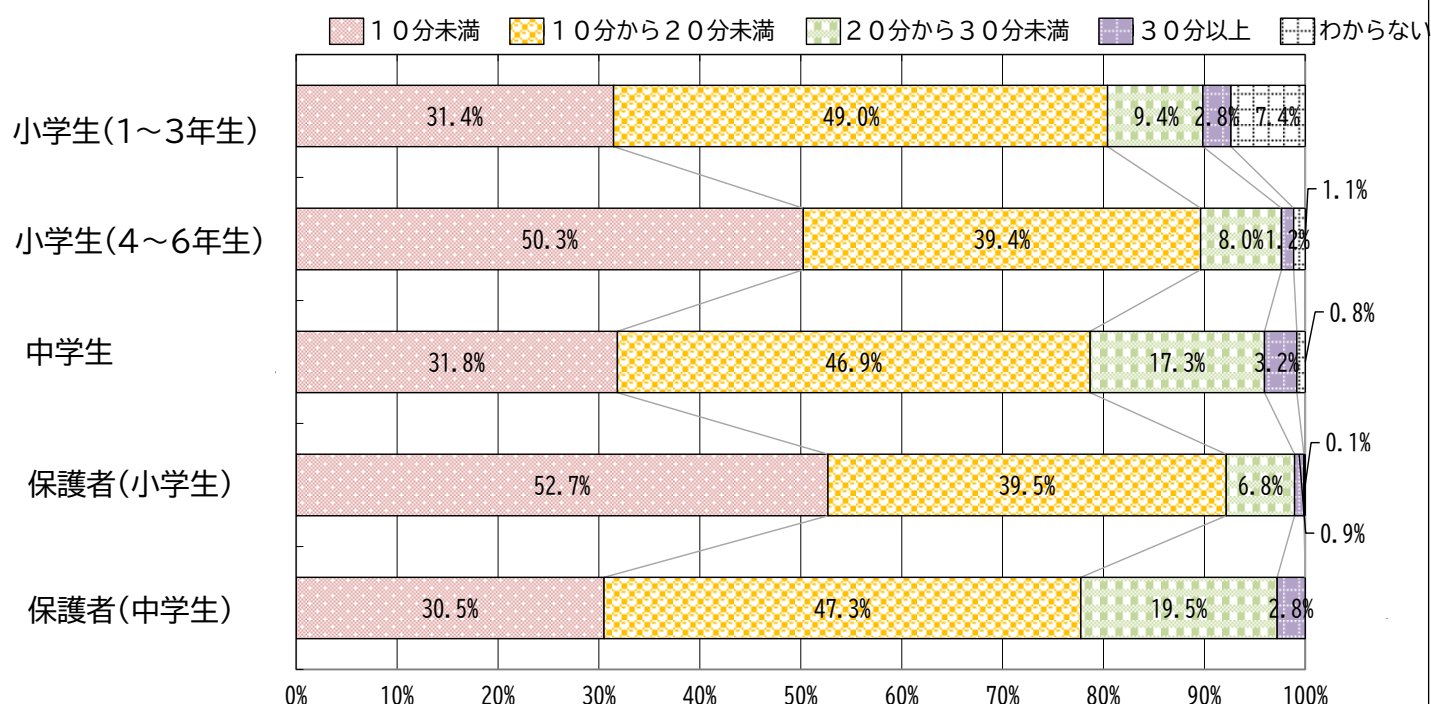
- 自宅から学校への通学について、大きな道路や踏切など危険と感じる場所が多いと思いますか。

(小学生(1～3年生)問3②、小学生(4～6年生)問7④、中学生問5③、
保護者(小学生)問7④、保護者(中学生)問5③、教員問5 ④)



- 自宅から学校への通学について、家から学校までの時間はどのくらいですか。(保護者は子どもの通学について)

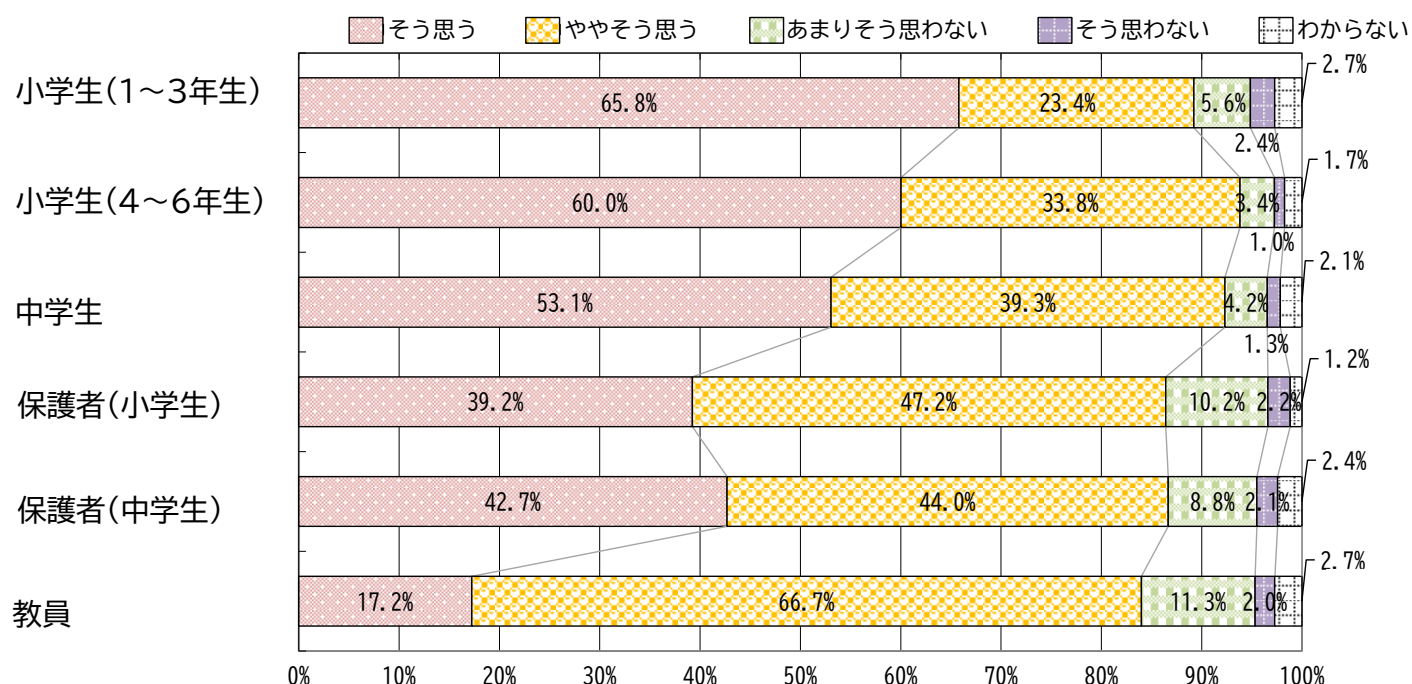
(小学生(1～3年生)問3④、小学生(4～6年生)問7⑥、中学生問5⑤、
保護者(小学生)問7⑥、保護者(中学生)問5⑤)



⑤ 通学路・通学時間について(2)

- 学校まで安心して通学できていると思いますか。(保護者・教員は子どもの通学について)

(小学生(1～3年生)問3⑤、小学生(4～6年生)問8、中学生問6、
保護者(小学生)問8、保護者(中学生)問6、教員問6)



<考察>

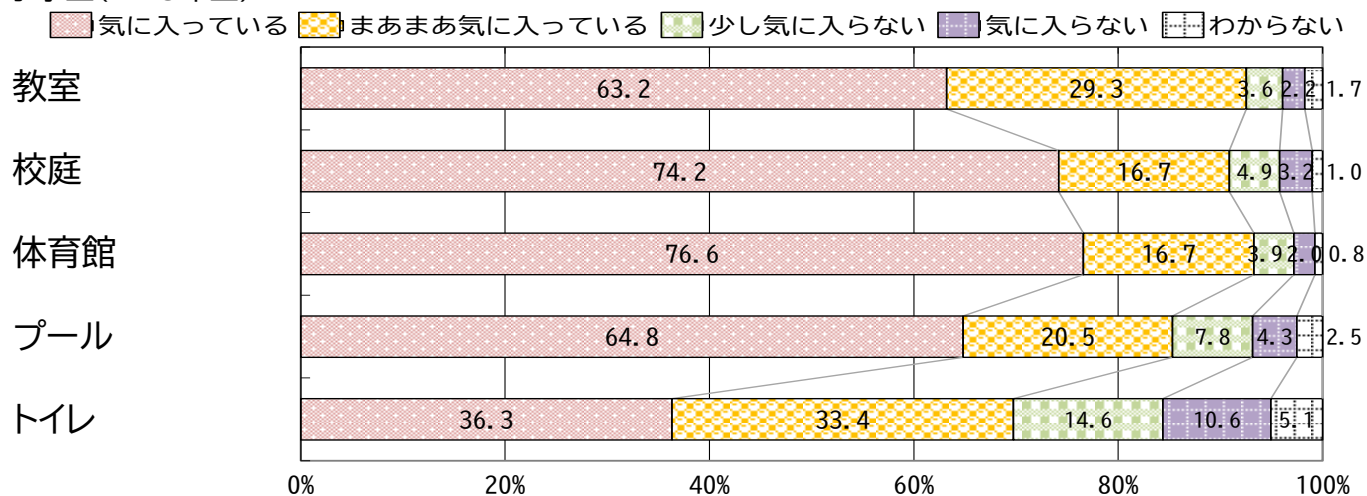
- 通学路の「大きな道路や踏切など、危険と感じる場所の多さ」について、小学生と中学生は「そう思わない」という回答が最も多く、「あまりそう思わない」を含めると過半数を超えるのに対して、危険と感じる場所が多いと感じているのは小中学生より保護者のほうが割合が高い。最も危険を感じているのは教員である。
- 通学時間は、小学生(1～3年生)より小学生(4～6年生)のほうが短くなっている。
- 小学生(4～6年生)とその保護者、中学生とその保護者では通学時間に対する認識がほぼそろっている。
- 小中学生の過半数が「安心して通学できている」と回答。保護者の半数近くが「安心して通学できている」と「ややそう思う」と回答。「そう思う」「ややそう思う」の合計は、すべてで80%を超えている。

⑥ 現在通っている学校の施設について(1)

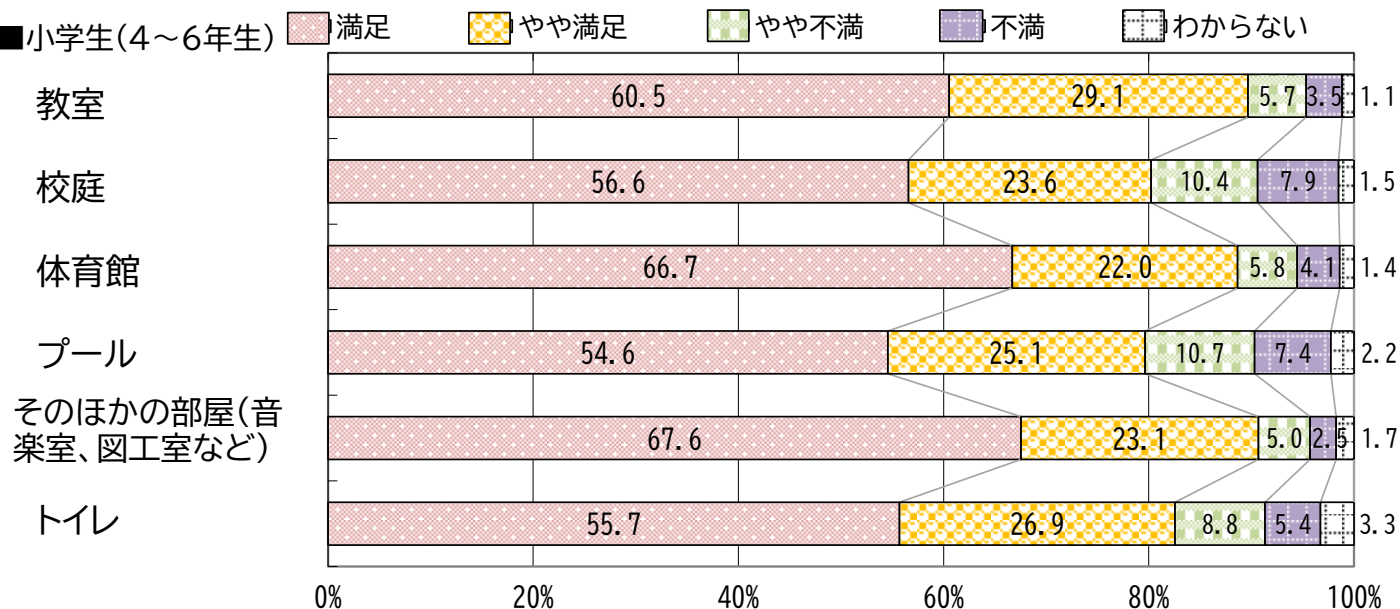
・ それぞれの場所について、施設の広さや快適さ(使いやすさ)の満足度を選んでください。

(小学生(1～3年生)問4、小学生(4～6年生)問9、中学生問7)

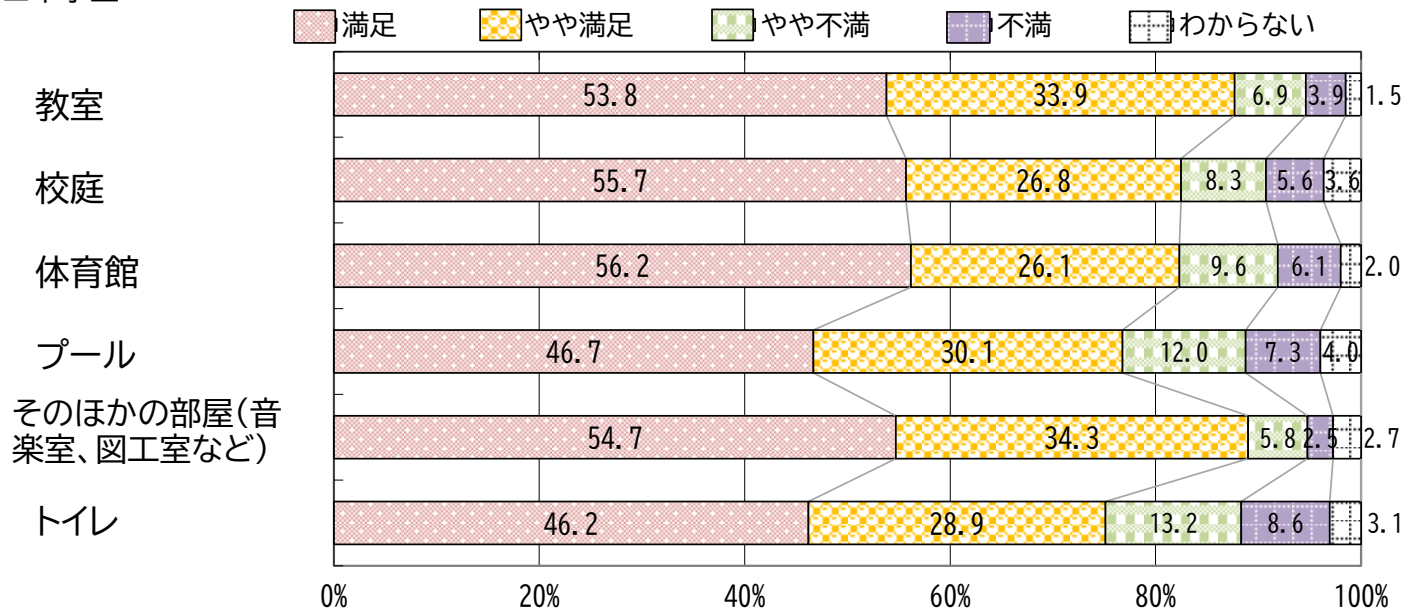
■小学生(1～3年生)



■小学生(4～6年生)



■中学生

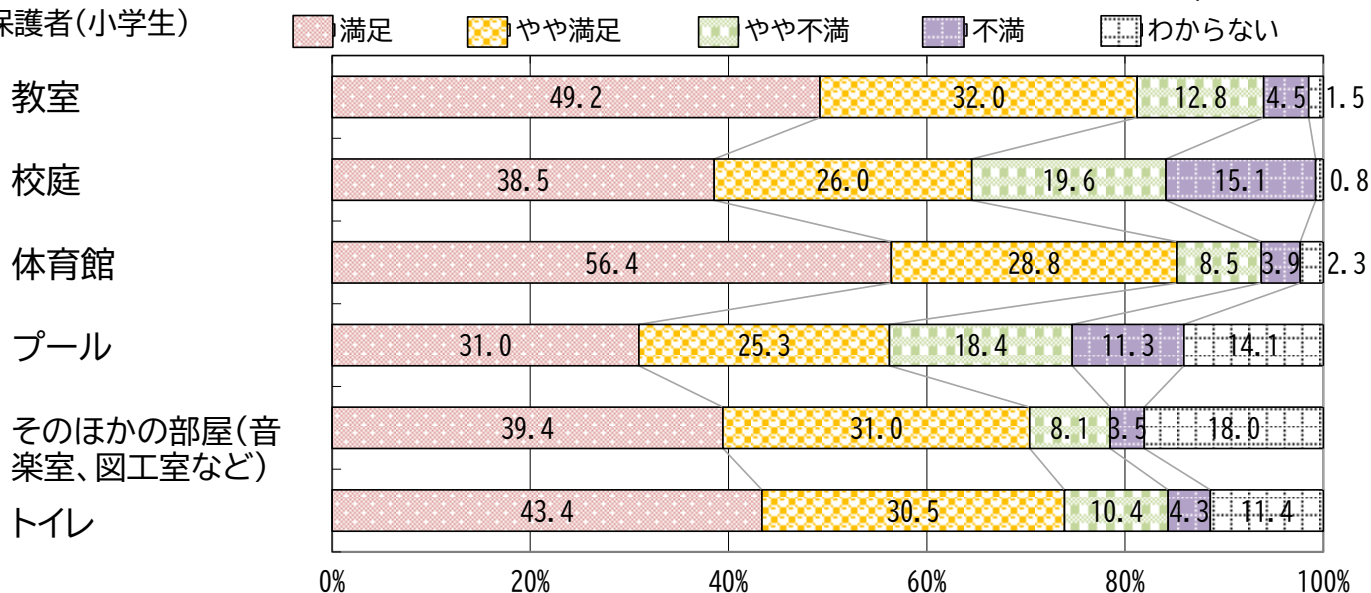


⑥ 現在通っている学校の施設について(2)

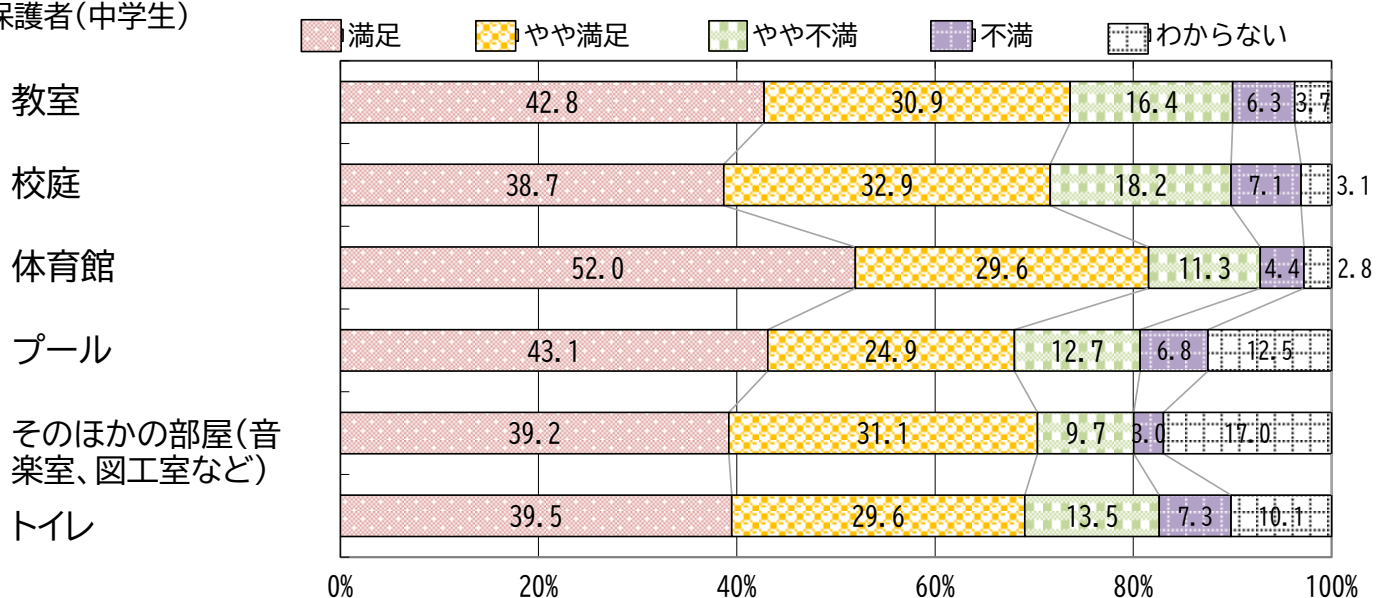
- それぞれの場所について、施設の広さや快適さ(使いやすさ)の満足度を選んでください。

(保護者(小学生)問9、保護者(中学生)問7、教員問7)

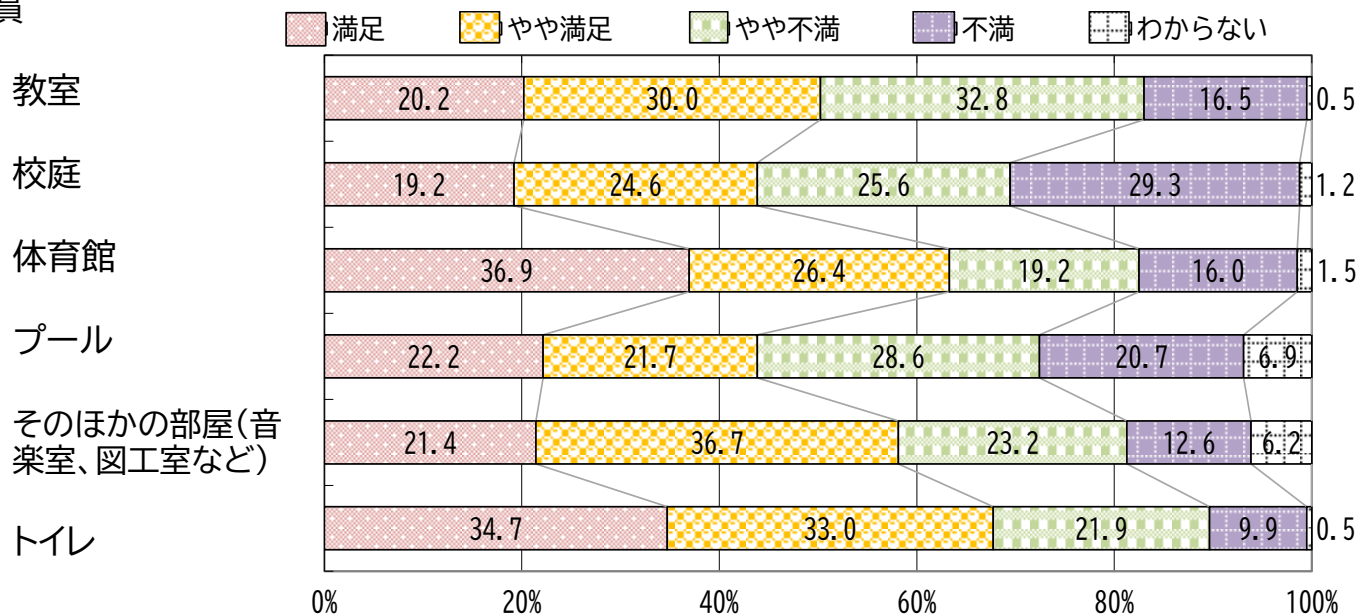
■保護者(小学生)



■保護者(中学生)



■教員



⑦ 学校の統合による変化について(1)

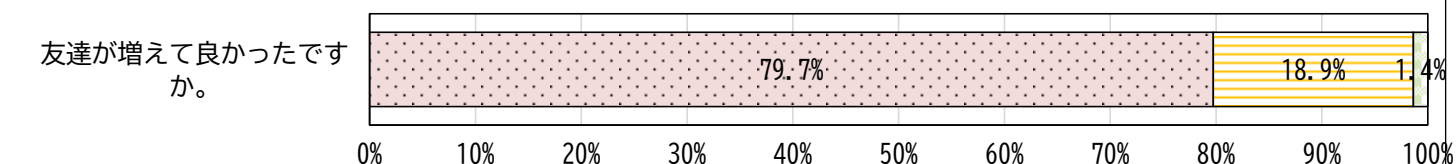
- 他の学校と一緒にどうなったか、以下の項目について教えてください。

(小学生(1～3年生)問8①～⑤)

■小学生(1～3年生)

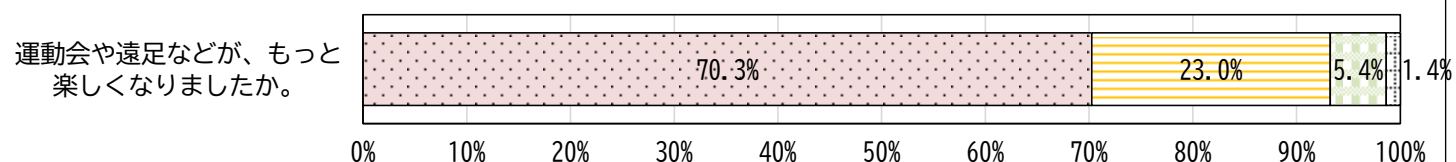
- 友達が増えて良かったですか。

良かった
 どちらかといえば良かった
 どちらかといえば良くなかった
 良くなかった



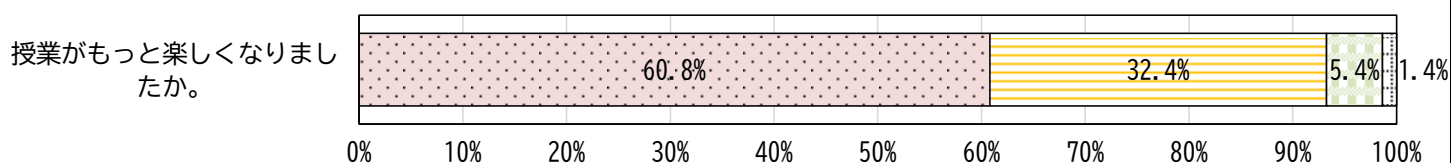
- 運動会や遠足が、もっと楽しくなりましたか。

もっと楽しくなった
 どちらかといえばもっと楽しくなった
 どちらかといえば楽しくなくなった
 楽しくなくなった



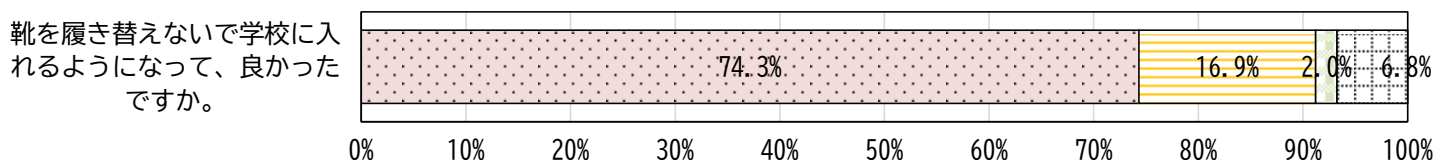
- 授業がもっと楽しくなりましたか。

もっと楽しくなった
 どちらかといえばもっと楽しくなった
 どちらかといえば楽しくなくなった
 楽しくなくなった



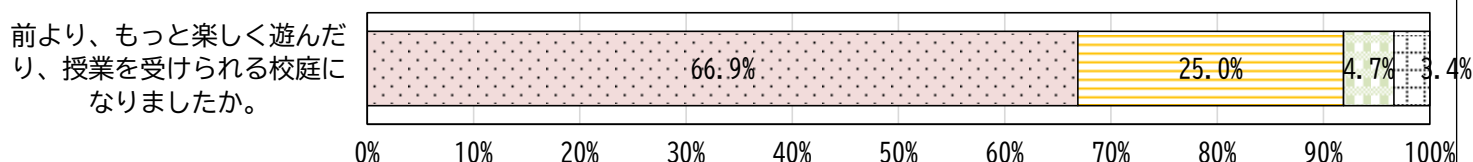
- 靴を履き替えなくて学校に入れるようになって、良かったですか。

良かった
 どちらかといえば良かった
 どちらかといえば良くなかった
 良くなかった



- 前より、もっと楽しく遊んだり、授業を受けられる校庭になりましたか。

もっと楽しくなった
 どちらかといえばもっと楽しくなった
 どちらかといえば楽しくなくなった
 楽しくなくなった



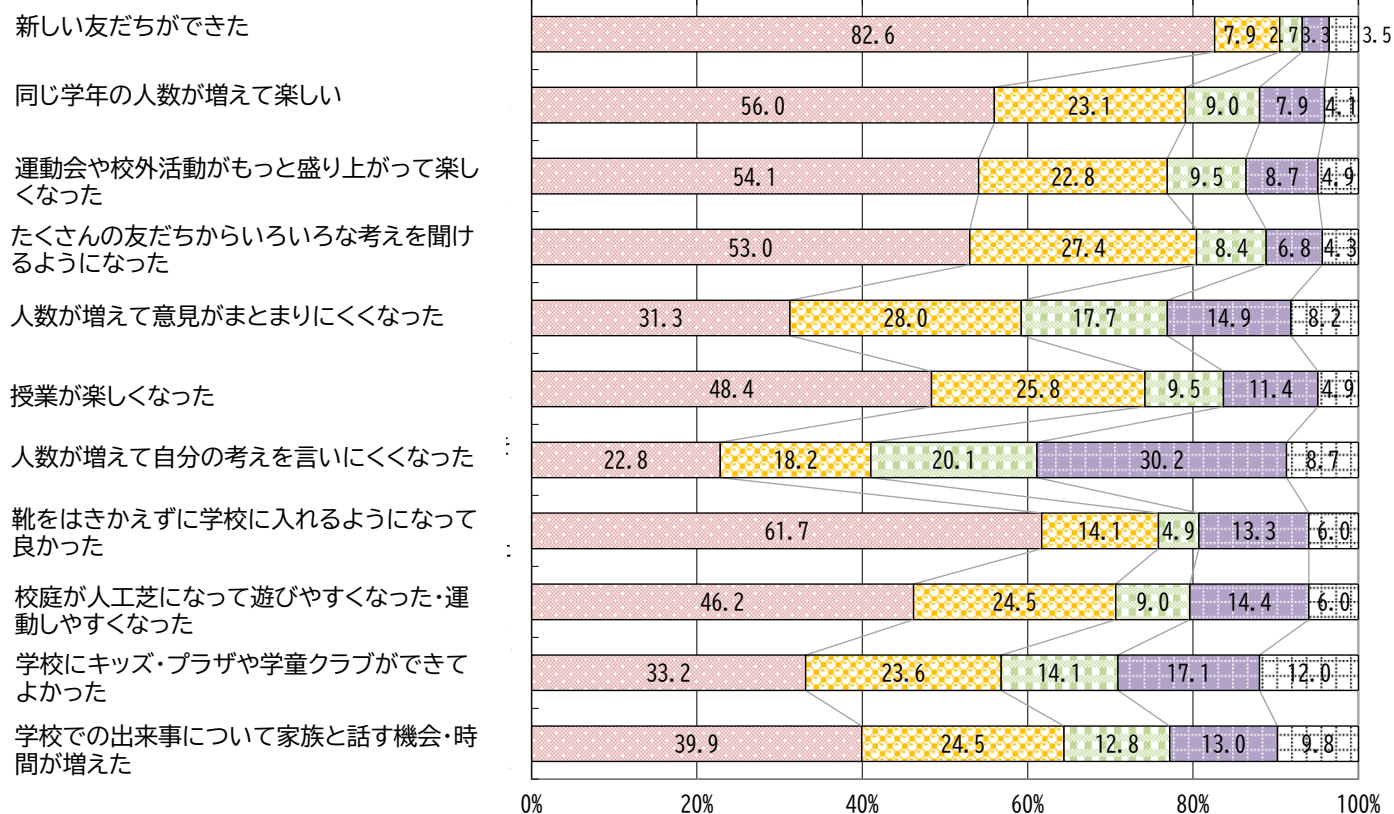
⑦ 学校の統合による変化について(2)

- 他の学校と一緒にどうなったか、以下の項目について教えてください。

(小学生(4～6年生)問13 中学生問13)

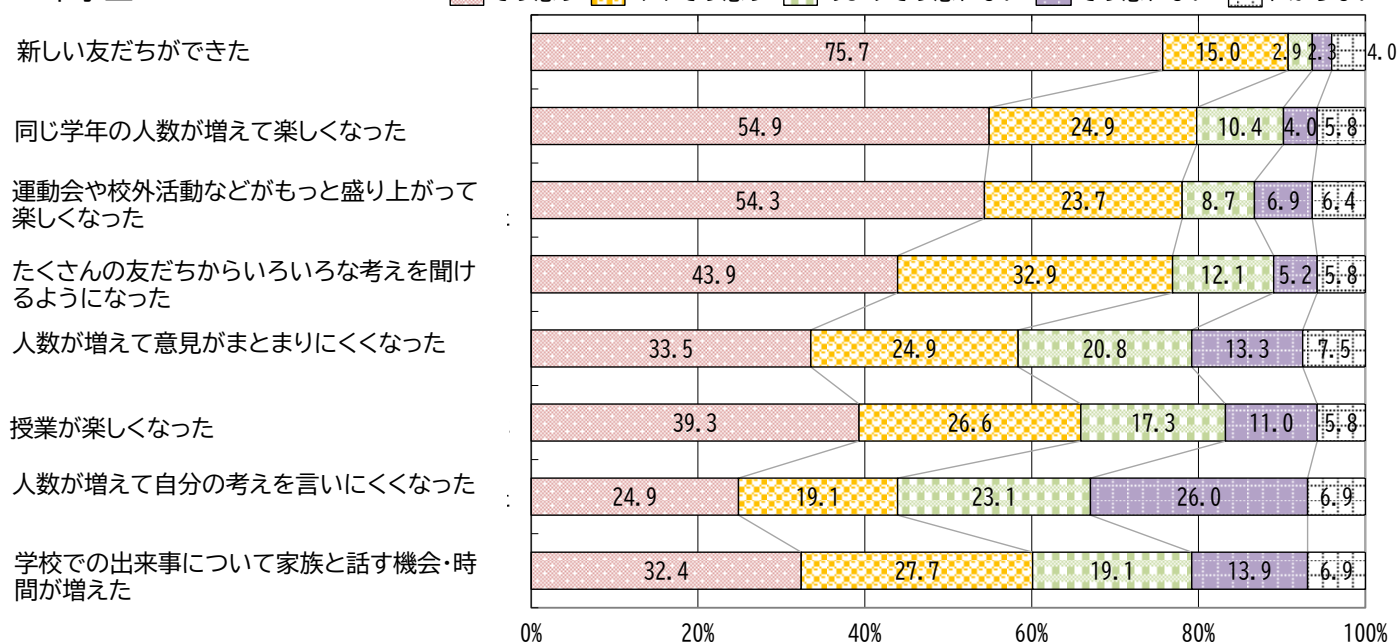
■小学生(4～6年生)

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない



■中学生

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない



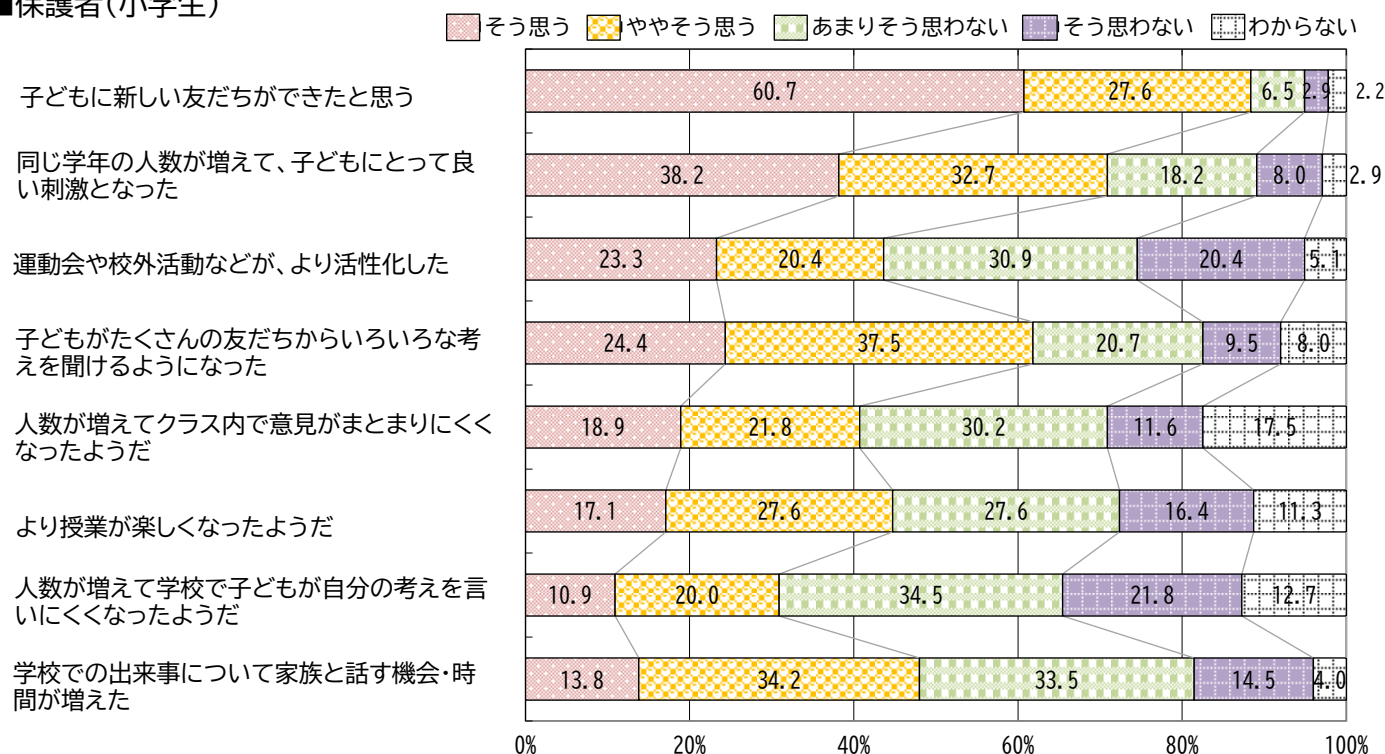
<考察>

- 小学生(4～6年生)、中学生ともに「新しい友だちができた」と回答する割合が多い。また、「人数が増えても「自分の考えを言える」児童生徒の割合が多いことが分かる。

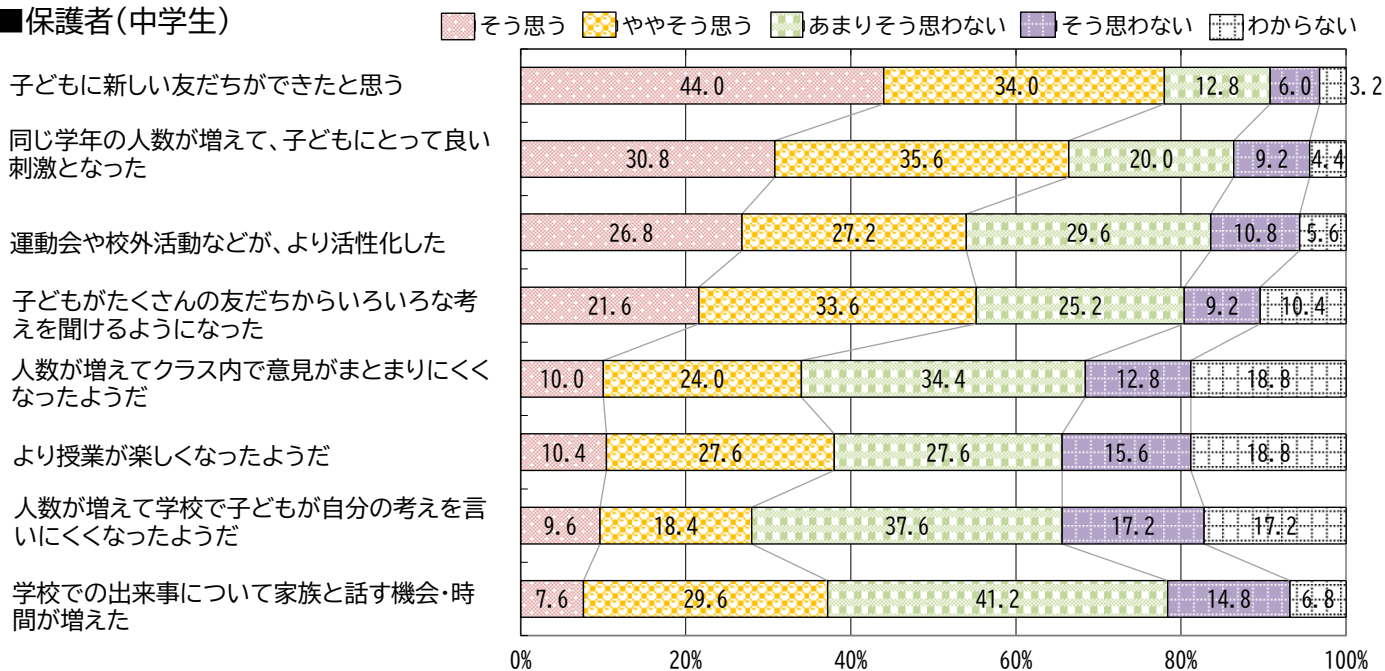
⑦ 学校の統合による変化について(3)

- 他の学校と一緒にってどうなったか、以下の項目について教えてください。(保護者は子どもの様子について回答)
(保護者(小学生)問12、保護者(中学生)問10)

■保護者(小学生)



■保護者(中学生)



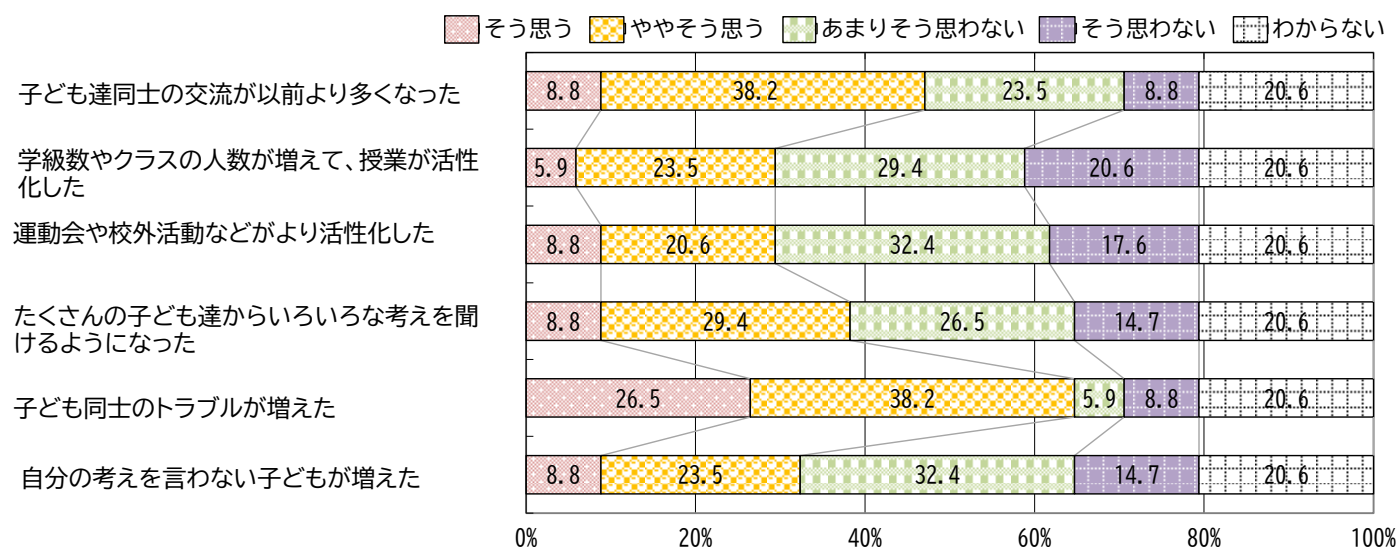
<考察>

- 保護者は、「子どもに新しい友だちができたこと」、「学年の人数が増えて子どもが刺激を受けていること」を感じている回答が多い。しかし、小学校では「行事が活性化していない」、中学校では、「授業が楽しくない」と回答している割合が高いことも分かった。

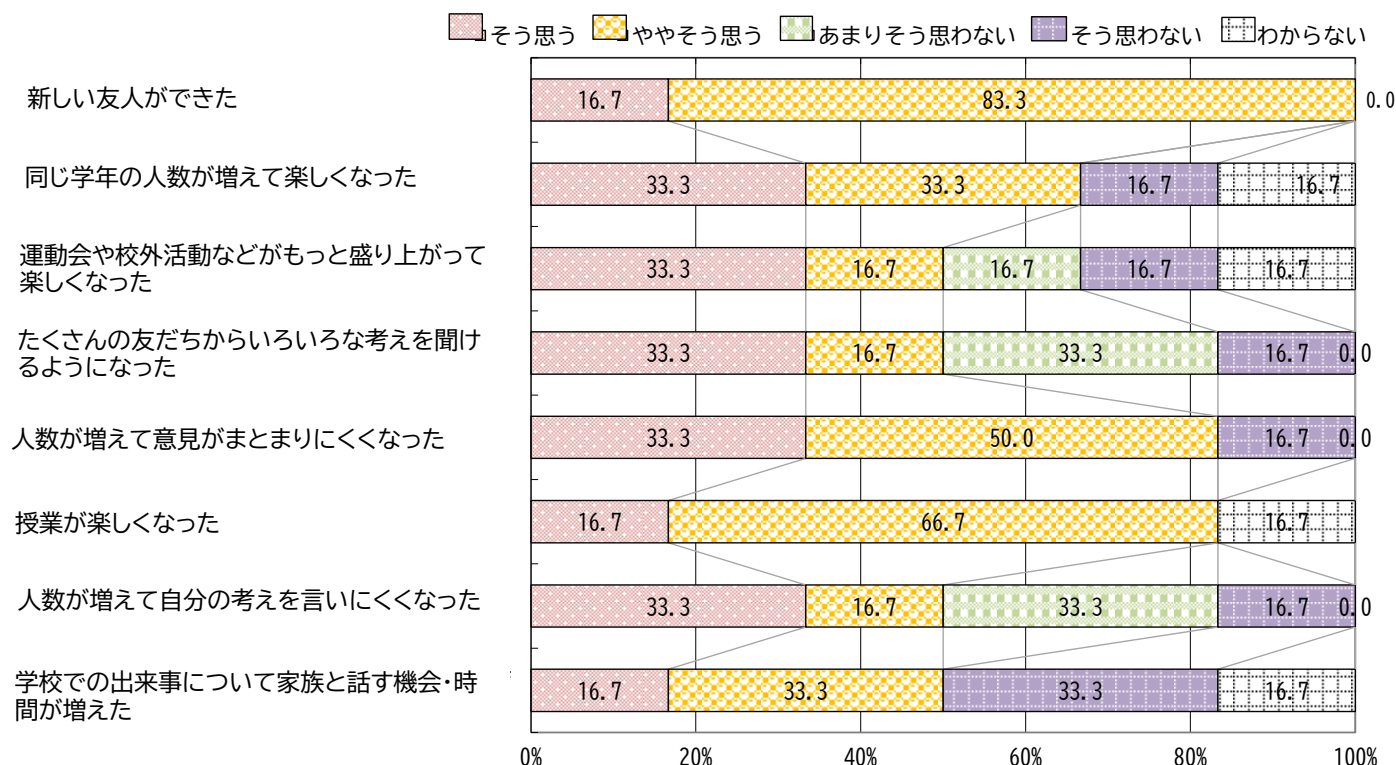
⑦ 学校の統合による変化について(4)

- 他の学校と一緒にどうなったか、以下の項目について教えてください。(教員は子どもの様子について回答)
(教員問11、区民一般問12)

■教員



■区民一般



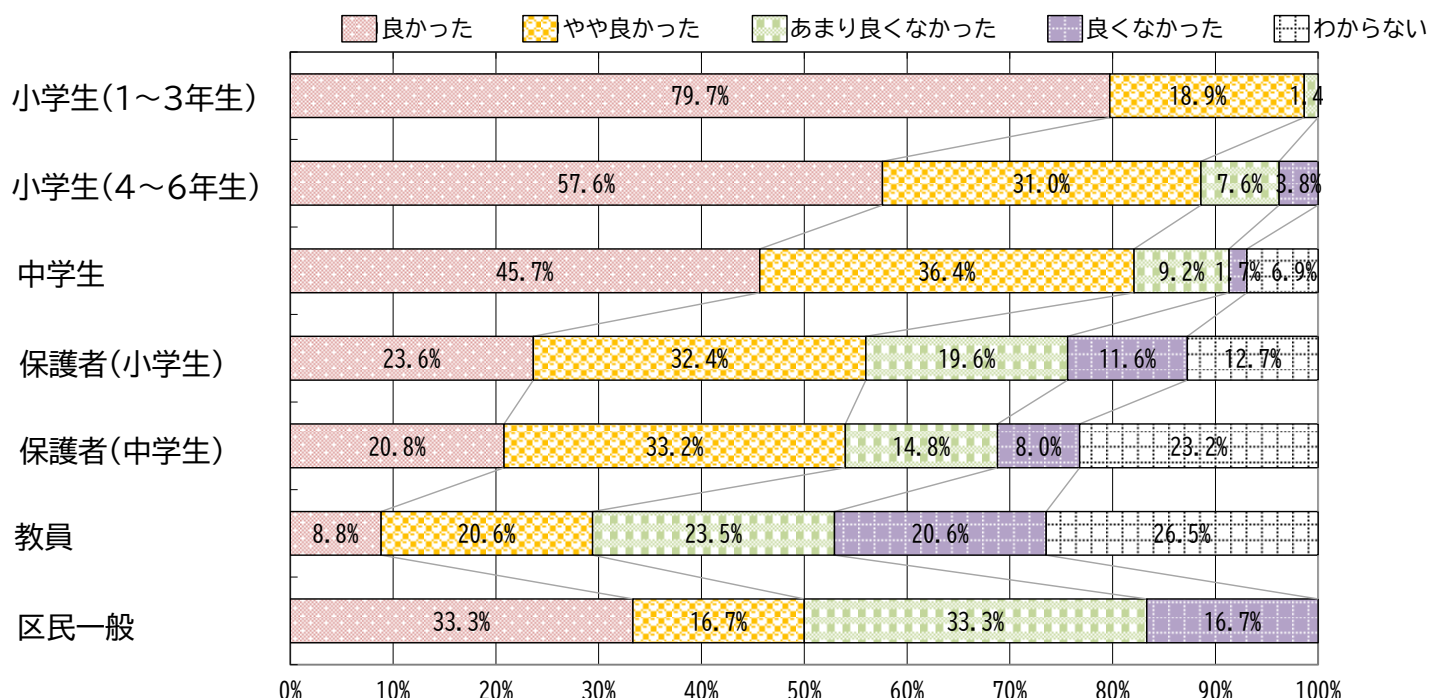
<考察>

- 教員の回答は、「子ども達同士の交流が以前より多くなった」と「子ども同士のトラブルが増えた」で「ややそう思う」の回答が高いが、児童生徒数の増えた良い面と課題がともに表れている。
- 教員は、授業や行事の活性化をあまり感じていない回答が多いが、統合1年目や新校舎移転前で多忙の学校もあり、今後の時間とともに落ち着いていくことも考えられる。
- 回答している区民は、区立小中学校在籍時に統合を経験した卒業生で、回答数は少ないが、全員が新しい友人ができたと回答するなど統合を肯定的に受け止めている意見が多い。

⑧ 学校を統合したことについて

- 他の学校と一緒にになったことについて、どのように感じていますか。

(小学生(1～3年生)問8⑥、小学生(4～6年生)問14、中学生問14、保護者(小学生)問13、保護者(中学生)問11、教員問12、区民一般問13)



<考察>

- 全体では、「良かった」「やや良かった」の肯定的な回答が教員を除いて半数以上を占めている。
- 小学生は1～3年生・4～6年生とも「良かった」の回答のみで過半数を占め、「やや良かった」を足すと1から3年生は98.6%、4～6年生は88.6%となる。
- 中学生の「良かった」の回答は45.7%だが、「やや良かった」を含めると小学生とほぼ同じの82.1%となる。
- 保護者は、小学校・中学校ともに肯定的な回答が過半数を占めるが、「わからない」の割合が児童生徒に比べて増えている。
- 教員は「良かった」の回答が最も少なく、「あまり良くなかった」の割合が多い。「良くなかった」を加えた否定的な回答が44.1%となるが、新設から数年間続くとされる業務の多忙感が影響していると考えられる。最も多い回答は「わからない」である。

⑨ 学校を統合したことによる保護者や地域との関係について

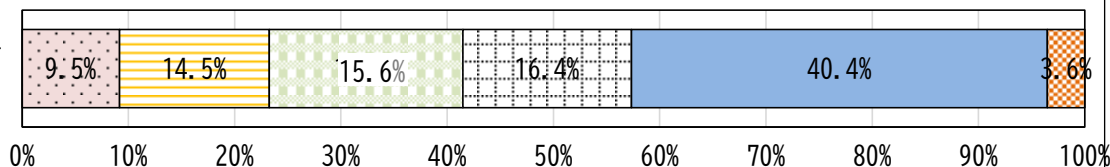
- 学校が統合したことで保護者の活動は良くなりましたか。

(保護者(小学生)問15、保護者(中学生)問13)

■保護者(小学生)

良くなった
 やや良くなった
 あまり良くならなかった
 良くならなかった
 わからない
 その他

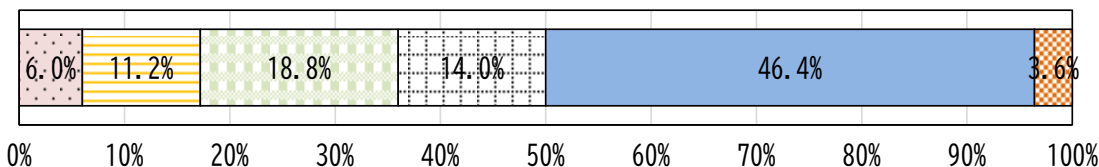
学校が統合したことで保護者の活動は良くなりましたか。



■保護者(中学生)

良くなった
 やや良くなった
 あまり良くならなかった
 良くならなかった
 わからない
 その他

学校が統合したことで保護者の活動は良くなりましたか。



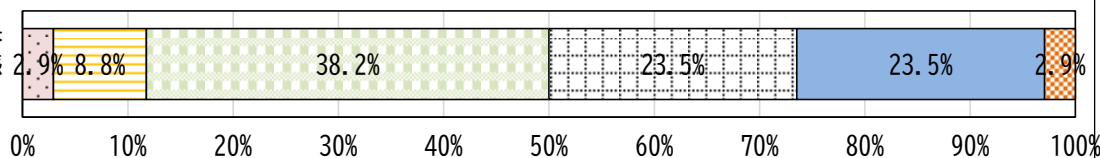
- 学校の統合により、学校と保護者の連携が強くなったと感じましたか。

(教員問13)

■教員

そう思う
 まあそう思う
 あまりそう思わない
 思わない
 わからない
 その他

学校の統合により、学校と保護者の連携が強くなったと感じましたか。



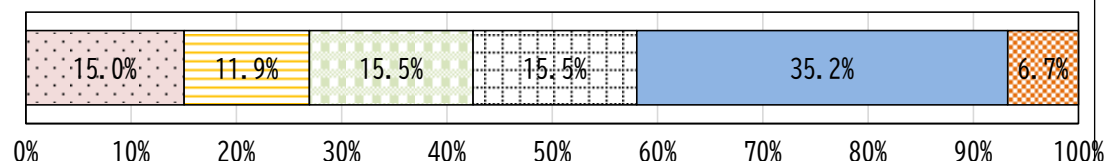
- 学校が統合したことで、学校と地域との関りは良くなりましたか。

(区民一般問5)

■区民一般

良くなった
 やや良くなった
 あまり良くならなかった
 良くならなかった
 わからない
 その他

学校が統合したことで、学校と地域との関りは良くなりましたか。



⑩ 学校の統合による管理・指導方法の変化について

- 統合による学校運営・指導方法等の変化について、良かったこと、悪かったことを選んでください。

(教員問14・15)

■教員

<良くなったこと>

新しい設備が整備されたことで、指導方法の改善につながった。

人間関係や児童生徒の特性等に配慮した学級編成ができるようになった。

グループ別指導、習熟度別指導等の多様な指導方法をとることができるようになった。

教職員一人当たりの校務負担や行事に関わる負担が軽くなった。

研修など自己研鑽の時間が確保できるようになった。

教員同士が切磋琢磨する環境を作ることができ、指導技術の相互伝達ができるようになった。

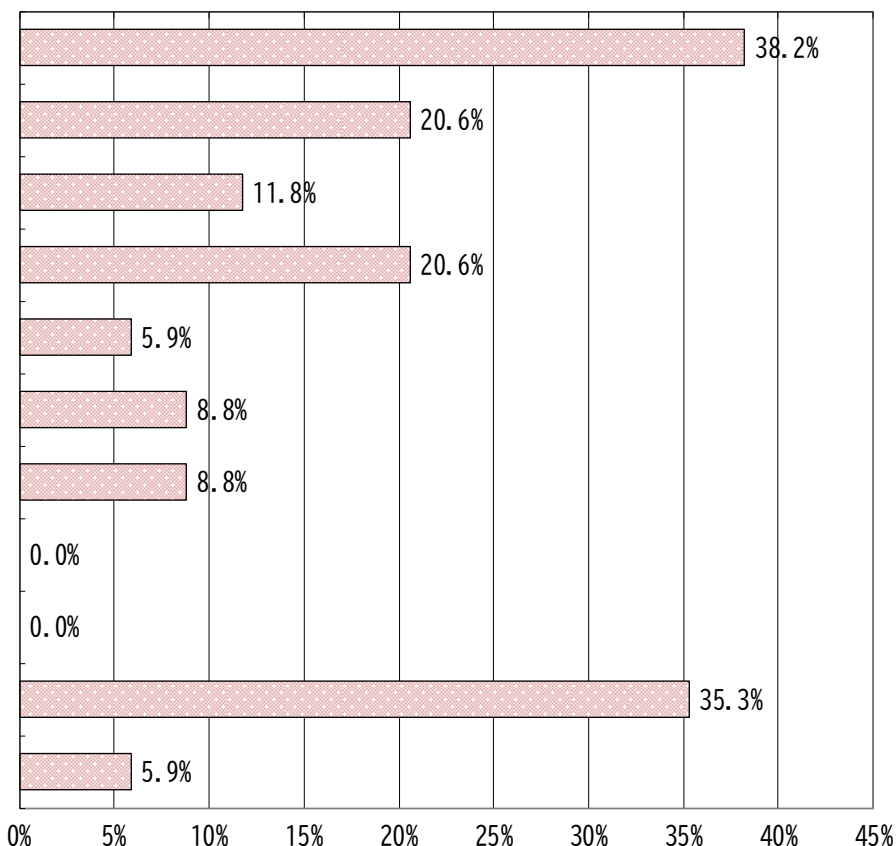
学校が直面する様々な課題に組織的に対応することができるようになった。

免許外指導の教科が減少した。

クラブ活動や部活動の指導者確保ができた。

該当なし

その他



<悪くなったこと>

新しい設備が使いづらく、指導しにくくなった。

児童生徒数が増え、より人間関係や児童生徒の特性等に配慮する必要が生じ、学級編成が難しくなった。

児童生徒数が増え、個々の生徒に対する指導やサポートが難しくなった。

教職員一人当たりの校務負担や行事に関わる負担が重くなった。

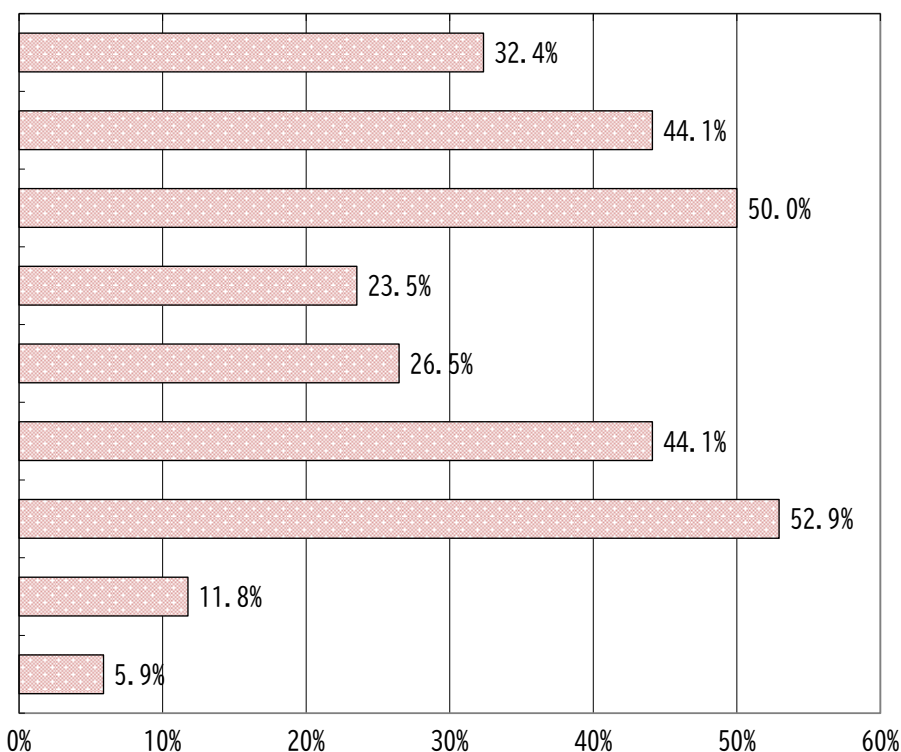
同僚が増えたことで、職場の人間関係にストレスを感じる。

異なる学校の教育方針や文化を統一するための調整が難しい。

通学区域が広がり、児童の通学時における対応が増えた。

該当なし

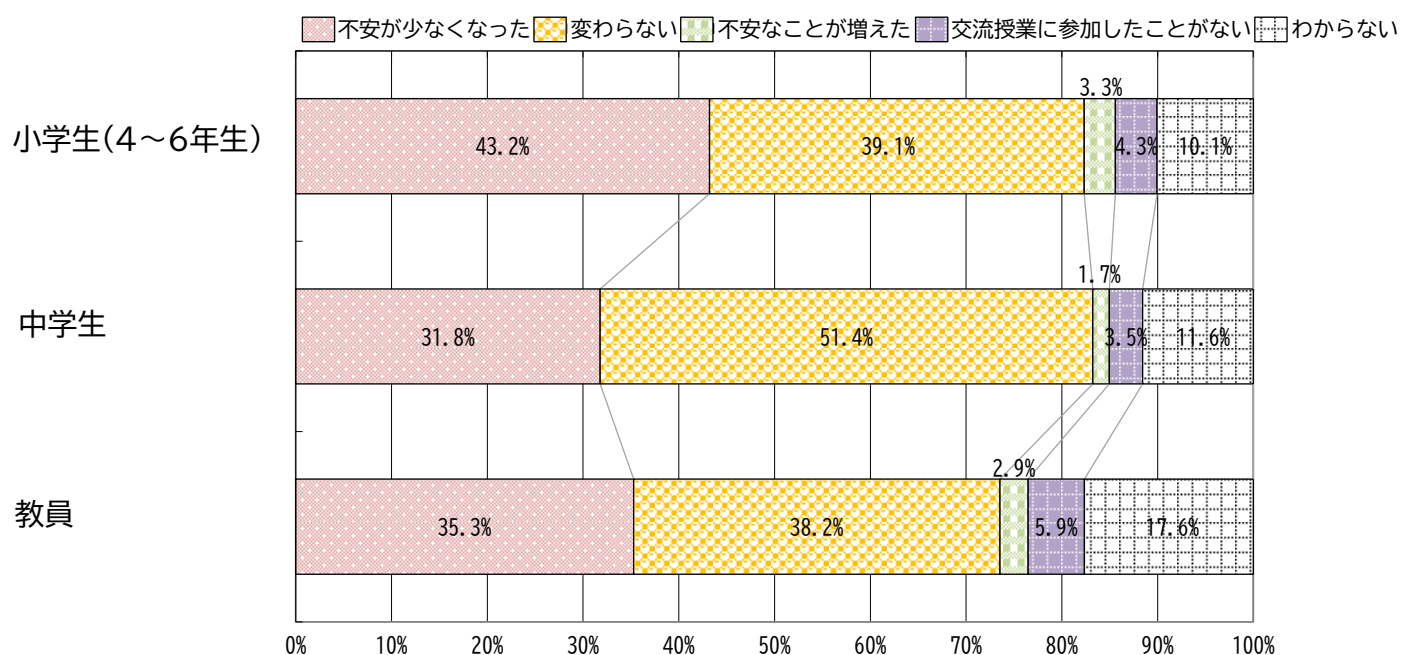
その他



⑪ 統合前の交流事業の効果について

- 他の学校との交流事業があったことで、他の学校と一緒にすることに対する不安は少なくなりましたか。(教員は子どもの様子について回答)

(小学生(4～6年生)問15、中学生問15、教員問16)



<考察>

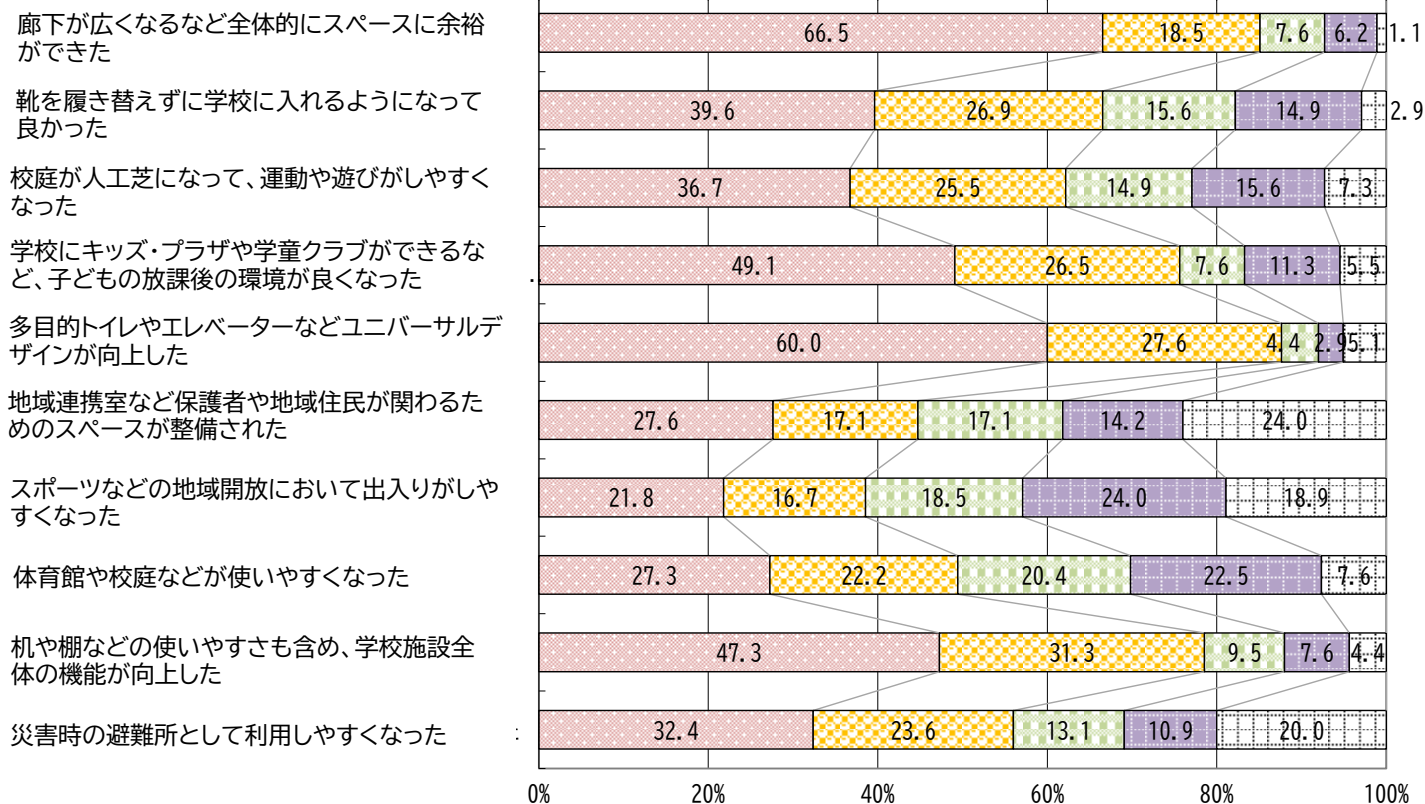
- 小学生(4～6年生)は「不安が少なくなった」と回答した割合が最も高い。
- 中学生と教員は、「変わらない」の回答率が最も高い。

⑫ 新校舎の教育環境について(1)

- ・ 新築された学校施設について、下の項目に教えてください。 (保護者(小学生)問16、保護者(中学生)問15)

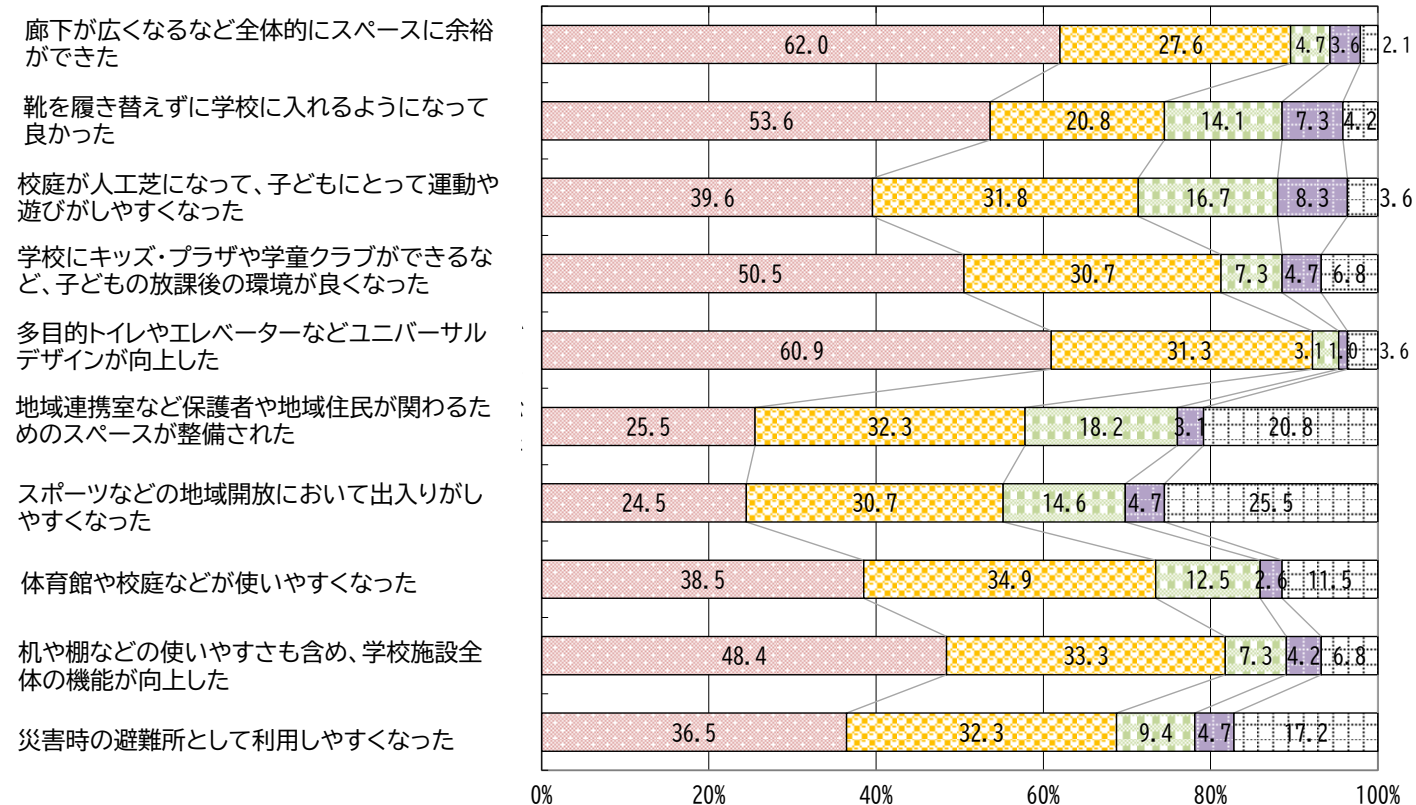
■保護者(小学生)

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ そう思わない



■保護者(中学生)

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない



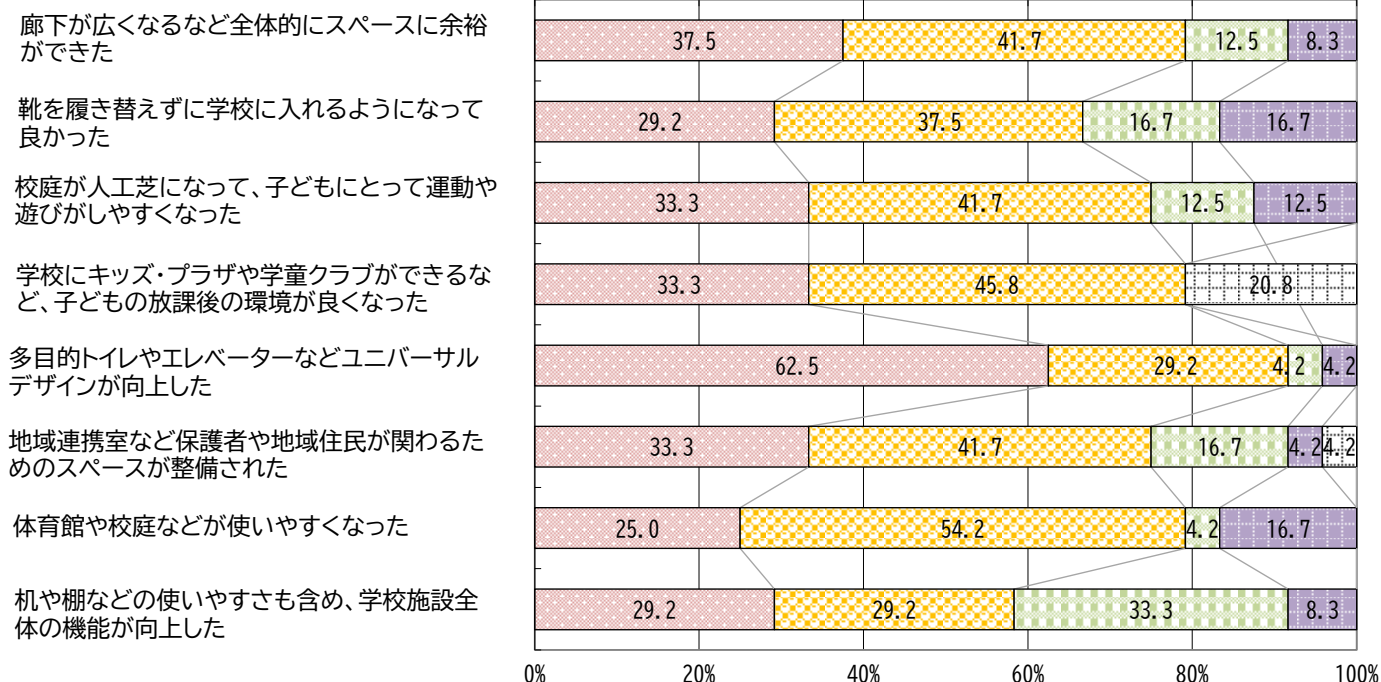
⑫ 新校舎の教育環境について(2)

・ 新築された学校施設について、下の項目に教えてください。

(教員問18、区民一般問7)

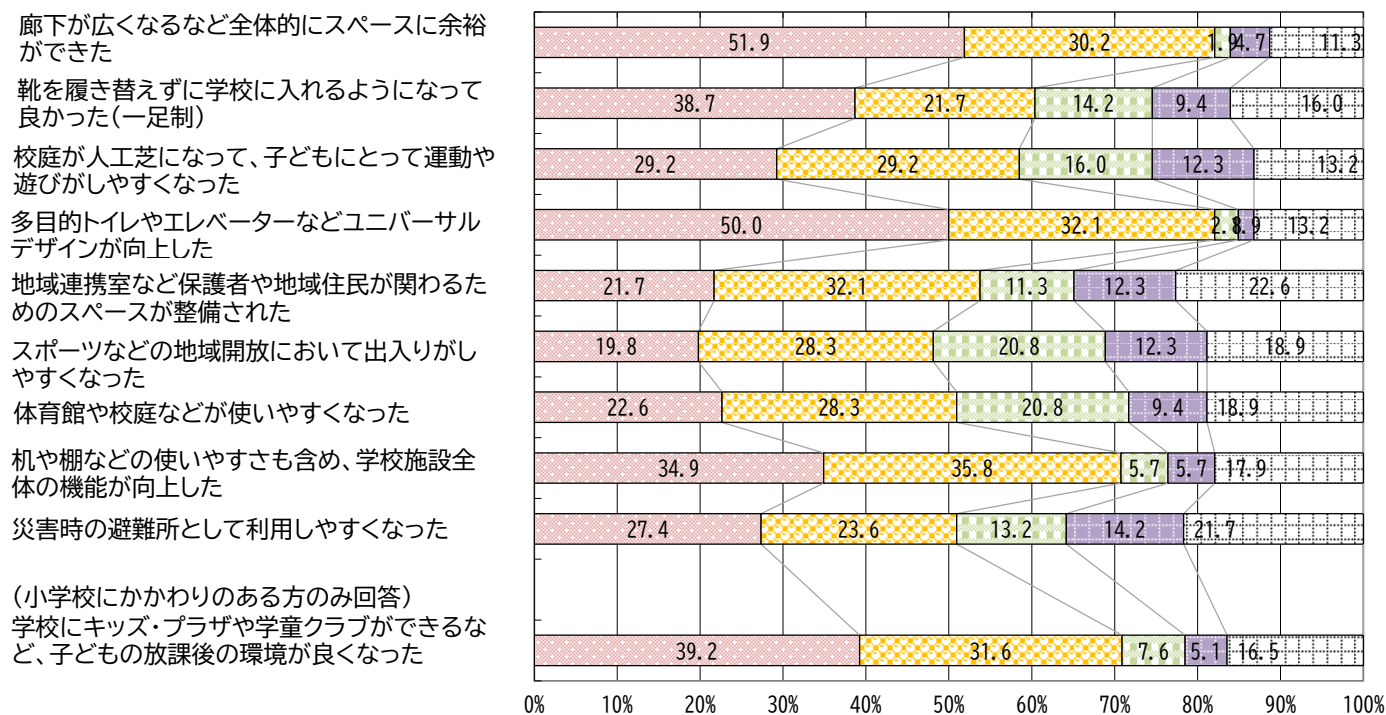
■教員

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない



■区民一般

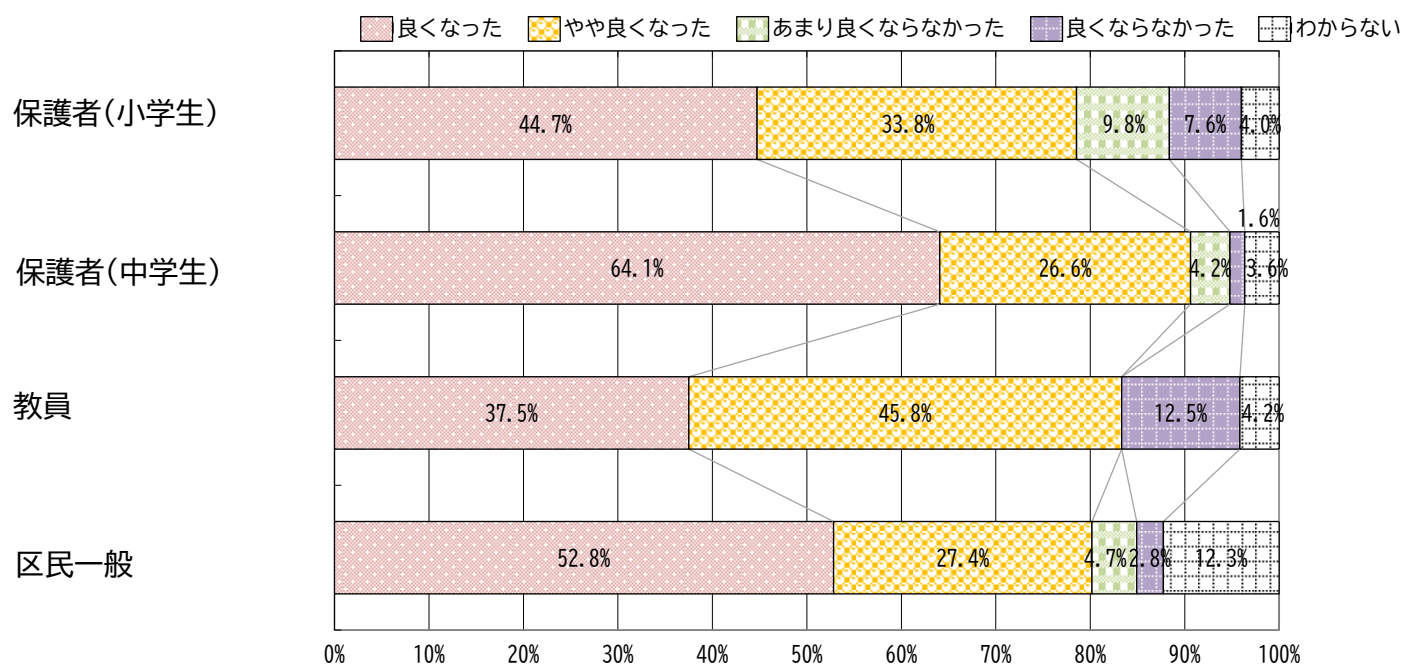
■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない・利用したことがない



⑫ 新校舎の教育環境について(3)

- 前の質問の各項目の回答を踏まえ、学校施設は良くなりましたか。

(保護者(小学生)問17、保護者(中学生)問16、教員問19、区民一般問8)



アンケート調査における質問項目

■小学生（１～３年生）

問１ あなたが かよっているしょうがっこうをえらんでください。

問２ あなたは、なんねんせいですか。

問３ いえからがっこうへのつうがくについて、こたえてください。

- ①おとながみまもってくれていますか
- ②あぶないところがありますか
- ③がっこうまでとおいですか
- ④いえからがっこうまでどれくらいじかんがかかりますか
- ⑤いえからがっこうまで、あんしんしてあるけていますか

問４ それぞれのばしょのひろさや、つかいやすさについて、どれくらい きにいつているかおしえてください。
きょうしつ／こうてい／たいいくかん／プール／トイレ

問５ したのなかから、すきなへやや、ばしょを えらんでください。（いくつでも）

- ☐きょうしつ ☐おんがくしつ ☐りかしつ ☐ずこうしつ ☐かていかしつ
- ☐としょしつ ☐ほけんしつ ☐ランチルーム ☐トイレ ☐ろうか
- ☐たいいくかん ☐こうてい ☐プール ☐その他（ ）

問６ あなたは、さぎのもりしょうの２・３ねんせいですか。

はい・・・（問７へ） ／ いいえ・・・（終了）

問７ さぎのもりしょうのまえに、かよっていたがっこうをえらんでください。

問８ ほかのがっこうといっしょになって、どうなったか、しつもんこたえてください。

- ①ともだちがふえてよかったですか
- ②うんどうかやえんそくなどが、もっとたのしくなりましたか
- ③じゅぎょうが もっとたのしくなりましたか
- ④くつをはきかえないでがっこうにはいれるようになって、よかったですか
- ⑤まえより、もっとたのしくあそんだり、じゅぎょうをうけられる こうていになりましたか
- ⑥がっこうがいっしょになって、よかったですか

■ 小学生（４～６年生）

問１ あなたが通っている小学校を選んでください。

問２ あなたは何年生ですか。

問３ 今の学校について、下のことに答えてください。

- ①今の学年の学級数・人数で、たくさんの友達と話をしたり、知り合いになれている
- ②今の学年の学級数・人数で、勉強や運動で頑張りあい、成長しあえる友達ができている
- ③今の学年の学級数・人数で、運動会や発表会などの学校行事の内容は、充実している

問４ キッズ・プラザを利用したことはありますか。

問５（問４で「いいえ」を答えたひとのみ）遊んだことはない理由は何ですか。（いくつでも）

- ☐キッズ・プラザを知らない ☐キッズ・プラザで遊ぶことに興味がない
- ☐一緒に利用する友達がいない ☐習い事などほかにあることがある
- ☐近くにキッズ・プラザがない ☐学童クラブなどキッズ・プラザ以外の場所で過ごしている
- ☐特に理由はない

問６ 将来、中学校に進学するときには、今の学校の友だちと同じ中学校に進学したいですか。

問７ 自宅から学校への通学について、下のことに答えてください。

- ①通学中、大人が見守ってくれる
- ②歩道やガードレールがあるなど整備された道が多い
- ③暗かったり、家や人が少なく不安になる道が多い
- ④大きな道路や踏切など危険と感じる場所が多い
- ⑤家から学校までの距離について感じていること
- ⑥家から学校までの時間

問８ 問７で答えたことをふまえ、学校まで安心して通学できていると思いますか。

問９ それぞれの場所について、施設の広さや快適さ（使いやすさ）の満足度を選んでください。

教室／校庭／体育館／プール／そのほかの部屋（音楽室、図工室など）／トイレ

問１０ 下の【表】の中から、「好きな部屋や場所」を教えてください。（いくつでも）

- ☐自分の教室 ☐音楽室 ☐理科室 ☐図工室 ☐家庭科室
- ☐図書室 ☐保健室 ☐ランチルーム ☐トイレ ☐廊下
- ☐体育館 ☐校庭 ☐プール ☐その他（ ）

問１１ 通っている学校が他の学校と一緒にになった経験がありますか。

ある・・・（問１２へ） ／ ない・・・（終了）

問１２ いま通っている学校が他の学校と一緒にになる前の通学先を選んでください。

問 13 ①から⑪について、他の学校と一緒にあってどうなったか教えてください。

- ①新しい友だちができた
- ②同じ学年の人数が増えて楽しい
- ③運動会や校外活動などが、もっと盛り上がって楽しくなった
- ④たくさんの友だちからいろいろな考えを聞けるようになった
- ⑤人数がふえて意見がまとまりにくくなった
- ⑥授業が楽しくなった
- ⑦人数が増えて自分の考えを言いにくくなった
- ⑧靴をはきかえずに学校に入れるようになって良かった
- ⑨校庭が人工芝になって遊びやすくなった・運動しやすくなった
- ⑩学校にキッズ・プラザや学童クラブができてよかった
- ⑪学校での出来事について家族と話す機会・時間が増えた

問 14 他の学校と一緒にになったことについて、どのように感じていますか。

問 15 他の学校との交流事業があったことで、他の学校と一緒にすることに対する不安は少なくなりましたか。

問 16 先生が増えたことで変わったことはありますか。(いくつでも)

- ☐ たくさんの先生とお話できる
- ☐ いろいろな先生から教えてもらえる
- ☐ 先生の名前を覚えるのが大変
- ☐ 自分のことを見てくれる先生が減った
- ☐ 今までと変わらない
- ☐ その他 ()

■ 中学生

問1 あなたが通っている中学校を選んでください。

問2 あなたは何年生ですか。

問3 今の学校について、下の質問に答えてください。

- ①今の学年の学級数・人数で、たくさんの友達と話をしたり、知り合いになれている
- ②今の学年の学級数・人数で、勉強や運動で頑張り合い、高め合える友達ができている
- ③今の学年の学級数・人数で、運動会や発表会などの学校行事の内容は、充実している
- ④今の部活動の人数で、活動は活発に行われている

問4 小学校の友だちと同じ中学校に進学できてよかったですか。

問5 自宅から学校への通学について、下の項目に答えてください。

- ①歩道やガードレールなど整備された道が多い
- ②暗かったり、住宅や人が少なく不安になる道が多い
- ③大きな道路や踏切など危険と感じる場所が多い
- ④家から学校までの距離について感じていること
- ⑤家から学校までの時間

問6 問5で答えたことをふまえ、学校まで安心して通学できていると思いますか。

問7 それぞれの場所について、施設の広さや快適さ（使いやすさ）の満足度を選んでください。

教室／校庭／体育館／プール／そのほかの部屋（音楽室、図工室など）／トイレ

問8 下の【表】の中から、「好きな部屋や場所」を教えてください。（いくつでも）

- | | | | | |
|--------------------------------|------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|
| ☐ 自分の教室 | ☐ 音楽室 | ☐ 理科室 | ☐ 図工室 | ☐ 家庭科室 |
| ☐ 図書室 | ☐ 保健室 | ☐ ランチルーム | ☐ トイレ | ☐ 廊下 |
| ☐ 体育館 | ☐ 校庭 | ☐ プール | ☐ その他（ ） | |

問9 小学生の時に、中野区立小学校の統合を経験したことがありますか。

ある・・・（問10へ） / ない・・・（終了）

問10 統合前の通学先をお答えください。

問11 統合後、新築された校舎（新しくできた校舎）に通ったことがありますか。

ある・・・（問12へ） / ない・・・（問13へ）

問12 新築された学校の施設について、下の項目に答えてください。

- ①靴を履き替えずに学校に入れるようになって良かった
- ②校庭が人工芝になって運動や活動をしやすくなった
- ③学校にキッズ・プラザや学童クラブができて良かった

問 13 統合して変わったことについて、教えてください。

- ①新しい友だちができた
- ②同じ学年の人数が増えて楽しくなった
- ③運動会や校外学習などがもっと盛り上がって楽しくなった
- ④たくさんの友だちからいろいろな考えを聞けるようになった
- ⑤人数が増えて意見がまとまりにくくなった
- ⑥授業が楽しくなった
- ⑦人数が増えて自分の考えを言いにくくなった
- ⑧学校での出来事について家族と話す機会・時間が増えた

問 14 学校が統合したことについて、どのように感じましたか。

問 15 他の学校との交流事業があったことで、他の学校と一緒にすることに対する不安は少なくなりましたか。

問 16 先生が増えたことで変わったことはありますか。(いくつでも)

- ☐たくさんの先生とお話できる
- ☐いろいろな先生から教えてもらえる
- ☐先生の名前を覚えるのが大変
- ☐自分のことを見てくれる先生が減った
- ☐今までと変わらない
- ☐その他()

■ 保護者（小学校）

問1 お子さんが通っている小学校を選択してください。

問2 お子さんの学年を選択してください。

※小学生の兄弟姉妹がいる場合は一番上のお子さんの学年を選択し、以降のお子さんに関する質問は、選択された学年のお子さんについてご回答ください。

問3 今の学校について、下の項目に答えてください。

- ①今の学年の学級数・人数で、たくさんの友達と話をしたり、知り合いになれている
- ②今の学年の学級数・人数で、勉強や運動で頑張り合い、高め合える友達ができている
- ②今の学年の学級数・人数で、運動会や発表会などの学校行事の内容は、充実している

問4 お子さんはキッズ・プラザを利用したことはありますか。

問5 （問4で「いいえ」を答えたひとのみ）遊んだことはない理由は何ですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐キッズ・プラザを知らない ☐キッズ・プラザで遊ぶことに興味がない
- ☐一緒に利用する友達がいらない ☐習い事などほかにすることがある
- ☐近くにキッズ・プラザがない ☐学童クラブなどキッズ・プラザ以外の場所で過ごしている
- ☐特に理由はない

問6 将来、お子さんが中学校に進学するときには、今の学校の友だちと同じ中学校に進学してほしいと思いますか。

問7 お子さんの通学について、下の項目に答えてください。

- ①通学中、PTA や地域の方、通学指導員など大人が見守ってくれる
- ②歩道やガードレールなど整備された道が多い
- ③暗かったり、住宅や人が少なく不安になる道が多い
- ④幹線道路や踏切など危険と感じる場所が多い
- ⑤家から学校までの距離について感じていること
- ⑥家から学校までの時間

問8 問7の各項目を踏まえ、お子さんは毎日、学校まで安心して通学できていると思いますか。

問9 それぞれの場所について、施設の広さや快適さ（使いやすさ）の満足度を選んでください。

教室／校庭／体育館／プール／そのほかの部屋（音楽室、図工室など）／トイレ

問10 お子さんは学校の統合を経験したことがありますか。

ある・・・(11) / ない・・・(終了)

問11 統合前のお子さんの通学先を教えてください。

問 12 学校が統合した後のお子さんの様子などについて、下の項目に答えてください。

- ①子どもに新しい友だちができたと思う
- ②同じ学年の人数が増えて子どもにとって良い刺激となった
- ③運動会や校外学習などが、より活性化した
- ④子どもがたくさんの友だちからいろいろな考えを聞けるようになった
- ⑤人数が増えてクラス内で意見がまとまりにくくなったようだ
- ⑥子どもにとって、より授業が楽しくなったようだ
- ⑦人数が増えて学校で子どもが自分の考えを言いにくくなったようだ
- ⑧学校での出来事について家で話す機会・時間が増えた

問 13 問 12 の各項目を踏まえ、学校が統合したことについてどのように感じていますか。

問 14 学校が統合した後の、ご自身と学校との関わりについて、下の項目に答えてください。

- ①教員と関わる機会が増えた
- ②学校と保護者の連携が強くなった
- ③一緒に活動する保護者が増えた
- ④保護者の活動の範囲が広がった
- ⑤保護者の活動の頻度が増えた

問 15 問 14 の各項目を踏まえ、学校が統合したことで保護者の活動は良くなりましたか。

問 16 新築された学校施設について、下の項目に答えてください。

- ①廊下が広くなるなど全体的にスペースに余裕ができた
- ②靴を履き替えずに学校に入れるようになって良かった
- ③校庭が人工芝になって、運動や遊びがしやすくなった
- ④学校にキッズ・プラザや学童クラブができるなど、子どもの放課後の環境が良くなった
- ⑤多目的トイレやエレベーターなどユニバーサルデザインが向上した
- ⑥地域連携室など保護者や地域住民が関わるためのスペースが整備された
- ⑦スポーツなどの地域開放において出入りがしやすくなった
- ⑧体育館や校庭などが使いやすくなった
- ⑨机や棚などの使いやすさも含め、学校施設全体の機能が向上した
- ⑩災害時の避難所として利用しやすくなった

問 17 問 16 の各項目を踏まえ、学校施設は良くなりましたか。

■ 保護者（中学校）

問1 お子さんが通っている中学校を選択してください。

問2 中学生のお子さんの学年を選択してください。

※中学生の兄弟姉妹がいる場合は一番上のお子さんの学年を選択し、以降のお子さんに関する質問は、選択された学年のお子さんについてご回答ください。

問3 今の学校について、下の質問に答えてください。

- ①今の学年の学級数・人数で、子どもはたくさんの友達と話をしたり、知り合いになれている
- ②今の学年の学級数・人数で、勉強や運動で頑張り合い、高め合える友達ができている
- ③今の学年の学級数・人数で、運動会や発表会などの学校行事の内容は、充実している
- ④今の部活動の人数で、活動は活発に行われている

問4 お子さんが小学校の友だちと同じ中学校に進学できてよかったですか。

問5 自宅から学校への通学について、あてはまるものを選んでください。

- ①歩道やガードレールなど整備された道が多い
- ②暗かったり、住宅や人が少なく不安になる道が多い
- ③大きな道路や踏切など危険と感じる場所が多い
- ④家から学校までの距離について感じていること
- ⑤家から学校までの時間

問6 問5の各項目を踏まえ、お子さんは毎日、学校まで安心して通学できていると思いますか。

問7 それぞれの場所について、施設の広さや快適さ（使いやすさ）の満足度を選んでください。

教室／校庭／体育館／プール／そのほかの部屋（音楽室、図工室など）／トイレ

問8 お子さんは、小学生の時に、中野区立小学校の統合を経験したことがありますか。

ある・・・(9) / ない・・・(終了)

問9 学校が統合する前のお子さんの通学先をお答えください。

問10 学校が統合した後のお子さんの様子などについて、あてはまるものを選んでください。

- ①子どもに新しい友だちができたと思う
- ②同じ学年の人数が増えて子どもにとって良い刺激となった
- ③運動会や校外学習などが、より活性化した
- ④子どもがたくさんの友だちからいろいろな考えを聞けるようになった
- ⑤人数が増えてクラス内で意見がまとまりにくくなったようだ
- ⑥子どもにとって、より授業が楽しくなったようだ
- ⑦人数が増えて学校で子どもが自分の考えを言いにくくなったようだ
- ⑧学校での出来事について家で話す機会・時間が増えた

問 11 問 10 の各項目を踏まえ、学校が統合したことについてどのように感じていますか。

問 12 学校が統合した後のご自身と学校との関わりについて、あてはまるものを選んでください。

- ①教員と関わる機会が増えた
- ②学校と保護者の連携が強くなった
- ③一緒に活動する保護者が増えた
- ④保護者の活動の範囲が広がった
- ⑤保護者の活動の頻度が増えた

問 13 問 12 の各項目を踏まえ、学校が統合したことで保護者の活動は良くなりましたか。

問 14 お子さんは、新築された学校に通ったことがありますか。

ある・・・(15) / ない・・・(終了)

問 15 新築された学校施設について、あてはまるものを選んでください。

- ①廊下が広くなるなど全体的にスペースに余裕ができた
- ②靴を履き替えずに学校に入れるようになって良かった
- ③校庭が人工芝になって、子どもにとって運動や遊びがしやすくなった
- ④学校にキッズ・プラザや学童クラブができるなど、子どもの放課後の環境が良くなった
- ⑤多目的トイレやエレベーターなどユニバーサルデザインが向上した
- ⑥地域連携室など保護者や地域住民が関わるためのスペースが整備された
- ⑦スポーツなどの地域開放において出入りがしやすくなった
- ⑧体育館や校庭などが使いやすくなった
- ⑨机や棚などの使いやすさも含め、学校施設全体の機能が向上した
- ⑩災害時の避難所として利用しやすくなった

問 16 問 15 の各項目を踏まえ、新築された学校施設は良くなりましたか。

■ 教員

問1 あなたが勤務している校種を選択してください。(小学校／中学校)

問2 あなたが勤務している学校を選んでください。

問3 今の学校について、下の質問に答えてください。

- ①今の学年の学級数・人数で、子どもはたくさんの友達と話をしたり、知り合いになれている
- ②今の学年の学級数・人数で、勉強や運動で頑張り合い、高め合える友達ができている
- ③今の学年の学級数・人数で、運動会や発表会などの学校行事の内容は、充実している

問4 小学校の通学区域は2つの中学校の通学区域にまたがらない方が良いと思いますか。

問5 子どもたちの通学について、あてはまるものを選んでください。

- ①通学中、PTAや地域の方、通学指導員など大人が見守ってくれる
- ②歩道やガードレールなど整備された道が多い
- ③暗かったり、住宅や人が少なく不安になる道が多い
- ④幹線道路や踏切など危険と感じる場所が多い

問6 問5の各項目を踏まえ、子どもたちは毎日、学校まで安心して通学できていると思いますか。

問7 それぞれの場所について、施設の広さや快適さ（使いやすさ）の満足度を選んでください。

教室／校庭／体育館／プール／そのほかの部屋（音楽室、図工室など）／トイレ

問8 中野区立小中学校の統合を経験したことがありますか。

ある・・・(9) / ない・・・(終了)

問9 直近で統合を経験した時の、統合前の校種をお答えください（小学校／中学校）

問10 統合前の勤務先をお答えください。

問11 学校が統合した後の子どもの様子について、あてはまるものを選んでください。

- ①子ども達同士の交流が以前より多くなった
- ②学級数やクラスの人数が増えて、授業が活性化した
- ③運動会や校外学習などがより活性化した
- ④たくさんの子ども達からいろいろな考えを聞けるようになった
- ⑤子ども同士のトラブルが増えた
- ⑥自分の考えを言わない子どもが増えた

問12 問11の各項目を踏まえ、学校が統合したことについてどのように感じていますか。

問13 学校の統合により、学校と保護者の連携が強くなったと感じましたか。

問 14 統合による学校運営・指導方法等の変化について、良かったことを選んでください。(複数選択可)

- ①新しい設備が整備されたことで、指導方法の改善につながった
- ②人間関係や児童生徒の特性等に配慮した学級編制ができるようになった。
- ③グループ別指導、習熟度別指導等の多様な指導方法をとることができるようになった。
- ④教職員一人当たりの校務負担や行事に関わる負担が軽くなった。
- ⑤研修など自己研鑽の時間が確保できるようになった。
- ⑥教員同士が切磋琢磨する環境を作ることができ、指導技術の相互伝達ができるようになった。
- ⑦学校が直面する様々な課題に組織的に対応することができるようになった。
- ⑧免許外指導の教科が減少した。
- ⑨クラブ活動や部活動の指導者確保ができた。
- ⑩該当なし
- ⑪その他 ()

問 15 統合による学校運営・指導方法等の変化について、悪くなったことを選んでください。(複数選択可)

- ①新しい設備が使いづらく、指導しにくくなった。
- ②児童生徒数が増え、より人間関係や児童生徒の特性等に配慮する必要が生じ、学級編制が難しくなった。
- ③児童生徒数が増え、個々の生徒に対する指導やサポートが難しくなった。
- ④教職員一人当たりの校務負担や行事に関わる負担が重くなった。
- ⑤同僚が増えたことで、職場の人間関係にストレスを感じる。
- ⑥異なる学校の教育方針や文化を統一するための調整が難しい。
- ⑦通学区域が広がり、児童の通学時における対応が増えた。
- ⑧該当なし
- ⑨その他 ()

問 16 統合前に、他校との交流事業があったことで、児童生徒の不安は少なくなったと感じますか。

問 17 新築された学校で勤務した経験がありますか。ある・・・(問 18 へ) ない・・・(終了)

問 18 新築された学校の施設について、あてはまるものを選んでください。

- ①廊下が広くなるなど全体的にスペースに余裕ができた
- ②靴を履き替えずに学校に入れるようになって良かった
- ③校庭が人工芝になって、運動や遊びがしやすくなった
- ④学校にキッズ・プラザや学童クラブができるなど、子どもの放課後の環境が良くなった
- ⑤多目的トイレやエレベーターなどユニバーサルデザインが向上した
- ⑥地域連携室など保護者や地域住民が関わるためのスペースが整備された
- ⑦体育館や校庭などが使いやすくなった
- ⑧机や棚などの使いやすさも含め、学校施設全体の機能が向上した

問 19 問 18 の各項目を踏まえ、新築された学校の施設は良くなりましたか。

問1 あなたの年代を選んでください。

問 2 これまで統合した学校で、あなたが、関わりのある（あった）学校、または卒業した学校を選んでください。

問3 問2で選択した学校とどのような関わりがある（あった）か教えてください。

- ①学校統合委員会委員
- ②学校に関する会議・協議会等の委員（統合委員会委員以外）
- ③授業における学習、体験活動の支援
- ④課外活動や運動会など学校行事の補助
- ⑤クラブ・部活動の指導補助
- ⑥放課後の居場所づくりに関する活動
- ⑦学校環境の整備、美化活動
- ⑧子どもの悩み相談
- ⑨特別な支援が必要な子のサポート
- ⑩地域と学校の連携全般のコーディネート
- ⑪登下校などの通学の見守り
- ⑫学校開放などにおける施設利用
- ⑬防災訓練などの防災活動
- ⑭まつりなどの地域行事
- ⑮卒業生
- ⑯その他（ ）

問4 学校が統合した後の、学校との関わりについて、あてはまるものを選んでください。

- ①教員と関わる機会が増えた
- ②学校と地域との連携が強くなった
- ③学校に関する活動について、一緒に活動する仲間が増えた
- ④学校に関する活動について、範囲が広がった
- ⑤学校に関する活動について、頻度が増えた

問5 問4の各項目を踏まえ、学校が統合したことで、学校と地域との関わりは良くなりましたか。

問6 あなたが関わりのある学校の現校舎は、統合により新築された校舎ですか。

問7 新築された学校施設について、あてはまるものを選んでください。

- ①廊下が広くなるなど全体的にスペースに余裕ができた
- ②靴を履き替えずに学校に入れるようになって良かった（一足制）
- ③校庭が人工芝になって、子どもにとって運動や遊びがしやすくなった
- ④多目的トイレやエレベーターなどユニバーサルデザインが向上した
- ⑤地域連携室など保護者や地域住民が関わるためのスペースが整備された
- ⑥スポーツなどの地域開放において出入りがしやすくなった

- ⑦体育館や校庭などが使いやすくなった
- ⑧机や棚などの使いやすさも含め、学校施設全体の機能が向上した
- ⑨災害時の避難所として利用しやすくなった
- ⑩学校にキッズ・プラザや学童クラブができるなど、子どもの放課後の環境が良くなった

問 8 問 7 の各項目を踏まえ、新築された学校施設は良くなりましたか。

問 9 ご自身が小中学生の頃に、中野区立小中学校の統合を経験したことがありますか。

はい・・・(10) / いいえ・・・(終了)

問 10 統合を経験したのはいつですか。(小学校／中学校)

問 11 学校が統合する前の通学先を選んでください。

問 12 統合して変わったことについて、教えてください。

- ①新しい友人ができた
- ②同じ学年の人数が増えて楽しくなった
- ③運動会や校外学習などがもっと盛り上がって楽しくなった
- ④たくさんの友人からいろいろな考えを聞けるようになった
- ⑤人数が増えて意見がまとまりにくくなった
- ⑥授業が楽しくなった
- ⑦人数が増えて自分の考えを言いにくくなった
- ⑧学校での出来事について家族と話す機会・時間が増えた

問 13 学校が統合したことについて、どのように感じましたか。

問 14 先生が増えたことで変わったことはありましたか。

- ☐ たくさんの先生とお話できるようになった
- ☐ いろいろな先生から教えてもらえるようになった
- ☐ 先生の名前を覚えるのが大変だった
- ☐ 自分のことを見てくれる先生が減った
- ☐ 統合前と変わらなかった
- ☐ その他 ()

問 15 そのほか、学校の統合（再編）に関してご意見などありましたらご記入ください。